

四国社会科教育研究大会

令和6年度香川県中学校教育研究会社会科部会研究大会

坂出・綾歌大会

実践事例集

未来社会につなぐ社会認識の構築

～授業力の継承、そして創造～



香川県中学校教育研究会社会科部会

目次

実践事例集の見方 . . . 1～4

実践事例

坂出・綾歌 . . . 5～36

高松・木田・香川 . . . 37～60

丸亀 . . . 61～72

小豆 . . . 73～78

さぬき・東かがわ . . . 79～84

仲多度・善通寺 . . . 85～90

三豊・観音寺 . . . 91～96

実践事例集の見方

単元構造図のデザインについて

生徒が単元を通じて社会認識を深め、授業者が求める目指す生徒の姿となるためには、まずそのデザインについて、盛り込む内容に教師がこだわることが重要であると考えた。支部で考えた盛り込む内容として、次の5点を挙げる。

1 単元の内容項目

学習指導要領に従って「単元の内容項目」を記し、学習指導要領上のどの単元にあたるかを示した。

2 中心概念

授業者が単元で獲得させたい社会認識である「中心概念」を短文で表記した。こうすることで、授業者が単元を捉え直すきっかけとするとともに、授業者の単元観（その単元の捉え）を端的に示した。

3 単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例

単元の学習を通して生徒に身に付けさせたい社会認識を含めた生徒の振り返りを「単元の学習を終えた時の生徒の振り返りの例」と表記して、単元のゴールとなる目標を示した。また、文章表記について、単元を通して「社会的な見方・考え方」を働かせ、社会認識が事実認識から関係認識、関係認識から主体認識へと高まった生徒の予想される振り返りの言葉で記すことで、授業者が目指す生徒の姿の具体を示した。

4 単元を貫く問い

単元を通して追究させたい問いである。生徒が単元のゴールである上記の3に到達するには、これに迫ることのできる《単元を貫く問い》を作成することが重要であると考えた。

5 一単位時間の授業について

上記の4に迫るため、1時間ごとの授業について、その内容とのつながりが分かるよう、単元の第何時に行うか、一単位時間毎の学習課題は何か、主な学習内容は何か、その時間で扱う主たる資料はどのようなものかを記した。主な学習内容については、今年度、県の研究委員会で出た意見を参考にして、短文で表記することで、生徒の単元途中の時点での社会認識を具体化し、その時点で生徒にどこまで身に付けさせておこうとしているかを表そうと試みた。

また、1単位時間毎で生徒に獲得させたい資質・能力について、知識・技能、思考・判断・表現力、主体的に学習に取り組む態度の3つのうちの主にどれかを考え、記載した。また、1時間ごとの授業を線で結んだり、各時間の配置を工夫したりして、各時間のつながりや単元の組み立てを表した。こうすることで、単元の学習内容を構造的に具体化し、単元のどの時間で、生徒にどのような概念を習得させ、思考力・判断力・表現力を養い、主体的に学習に取り組む態度を育むか、その際、どのような資料を用いて、どう問い、本時や単元のゴールに向かうのかという単元の学習計画を図式化して表した。さらに、生徒の深い学びを実現するために、一単位時間毎の授業で働かせる「社会的な見方・考え方」を表記した。地理的分野については、分野の特性を踏まえ、見方・考え方を働かせる問いまで表記している。

次が上記の5点を踏まえて支部で作成した単元構造図のデザイン及びその構想図の一例である。例は公民的分野「C 私たちと政治 (1)人間の尊重と日本国憲法の基本原則」の単元のものである。

《單元構造図の具体例》

公民的分野

私たちと政治

—人間の尊重と日本国憲法の基本的原則—

I 単元の構造図

C 私たちと政治

(1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則

日本国憲法は、立憲主義と法の支配に基づいて、基本的人権を保障し、私たちのよりよい社会生活や民主政治を実現する大切なきまりとなっている。

《單元を貫く問い》私たちの暮らしと日本国憲法とは、どのような関係にあるのだろうか？

①② 日本国憲法は、どのような考えの下、成立したのだろうか？ 【知】

《見方・考え方》個人の尊重と法の支配

《学習内容》人権は長い歴史の中で獲得されてきた。現代には、権力を抑え、個人の自由や権利を守る憲法や法の支配がある。最高法規である日本国憲法は国民主義、平和主義、基本的人権の尊重を基本的原則としている。

《資料》○啓蒙思想 ○権利章典 ○独立宣言 ○人権宣言 ○ワイマール憲法

③ 国民主義とは何か？ 【知】

《見方・考え方》民主主義

《学習内容》国の政治を最終的に決定する権力が国民にあると定め、天皇は国及び国民の象徴としている。

《資料》

○憲法改正の手続き

④ なぜ戦後、日本では戦争が起こらなかったのだろうか？ 【知】 【思】

《見方・考え方》民主主義、個人の尊重と法の支配

《学習内容》憲法9条で平和主義を明記し、被爆国として非核三原則を掲げている。

⑤ 日本国憲法の下で、集団的自衛権を認めるべきだろうか？ 【主】

《見方・考え方》民主主義、個人の尊重と法の支配

《学習内容》憲法9条と国連憲章とを多面的・多角的に考える。

《資料》○安保関連法案

⑥ 基本的人権は憲法でどう保障されているのか？ 【知】

《見方・考え方》

個人の尊重と法の支配
《学習内容》人はみな個人として尊重され、法の下に平等とされている。

《資料》

○日本国憲法条文

⑦⑧ 日本では差別解消の為にどのような取組がされているか？ 【知】

《見方・考え方》

個人の尊重と法の支配

《学習内容》

人権諸課題に対し様々な法律が作られている。

《資料》

○人権解消に関わる法律制度や取組

⑨ 自由権とは、どのような権利を保障しているのか？ 【知】

《見方・考え方》

個人の尊重と法の支配

《学習内容》

個人が自由に考え、行動し、理由なく縛られないことを保障する自由権。

《資料》

○憲法条文等

⑩ 最低限度の生活とはどのようなものか？ 【知】 【思】

《見方・考え方》

個人の尊重と法の支配

《学習内容》

人間らしく生活することを保障する社会権。

《資料》

○桶川事件

⑪ 刑事補償請求権の役割とは？ 【知】 【思】

《見方・考え方》

個人の尊重と法の支配

《学習内容》

困った人を救う請求権や請願権。

《資料》

○足利事件

⑫ 道路工事のために、Aさんは立ち退くべきか？ 【知】 【思】

《見方・考え方》

個人の尊重と法の支配

《学習内容》

効率と公正
社会全体と個人の権利との対立を合意形成する公共の福祉。

《資料》

○憲法29条

⑬⑭ 新しい人権とはどのようなものか？ 【知】

《見方・考え方》

個人の尊重と法の支配

《学習内容》

社会の変化に応じて憲法13条を根拠に、自己決定権等が認められている。

《資料》

○改正臓器移植法

⑮ 《本時》

憲法36条において「絶対に」という言葉は必要か？必要でないか？ 【思】 【主】

《見方・考え方》個人の尊重と法の支配 効率と公正

《学習内容》

これまで学習した権利を活用して、幸福を獲得するための方策を考える。

《資料》○憲法36条 ○ある政党の憲法改正案 ○拷問等禁止条約第1条 ○世界人権宣言第5条 ○ラムズフェルド元米国国防長官の発言 ○ドイツのW=ブルガー教授の発言 ○財田川事件

⑯ 現在だけでなく、将来も、人権が保障されるために必要なことは何か？ 【思】 【主】

《見方・考え方》個人の尊重と法の支配 民主主義

《学習内容》誰もが幸せに生きるための権利が必要である。

《資料》○人権にかかわる国際条約等

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》 ※⑯で記入

日本国憲法は、国民主義、平和主義、基本的人権の尊重という三つの基本的原則の考えでつくられており、自由権などの様々な権利を保障している。権利があることで私たちは自由で平等な生活が送られており、この憲法を最高法規としてこれに基づいて政治を行うことは、私たちの平和で自由な生活や民主政治を実現するものである。憲法を改正する際にも、この考え方を大切に、すべての人がより幸せに生きるためにはどうすればいいのかを考えることができた。

実践事例

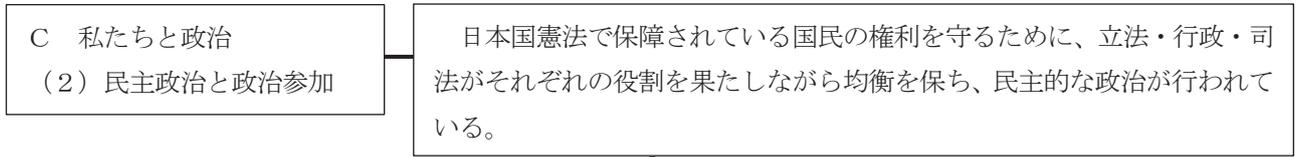
坂出・綾歌

私たちと政治

—民主政治と政治参加—

坂出市立坂出中学校 指導者 小亀 新太郎

I 単元の構造図



《単元を貫く問い》日本国憲法で保障された権利はどのように守られているのだろうか。
 《見方・考え方》民主主義、個人の尊重と法の支配

① 法律の改正、衆議院の3分の2とはどういうこと？【知】【思】
 《学習内容》
 ○国権の最高機関である国会によって我々の権利がどのように守られているか、またなぜ衆議院の優越が認められているかについて考える。
 《資料》
 ○日本国憲法に定められた国会の主な仕事
 ○衆議院と参議院の比較 ○衆議院の優越

③ もし人権侵害が起きたら？
 ～人権を守るための工夫とは～【知】【思】
 《学習内容》
 ○我々の権利を守るための憲法の番人である司法の仕組みや働きについて学習する。
 《資料》○裁判所の種類 ○三審制の仕組み
 ○裁判の手続き

② 内閣とは何？【知】【思】
 《学習内容》
 ○行政のはたらきについて学習し、自分たちにできることや今後の課題を考える。
 《資料》○「小さな政府」と「大きな政府」
 ○日本国憲法に定められた内閣の主な仕事
 ○幼稚園と保育所の比較

④ 裁判員として判決を考えよう【知】【思】【主】
 《本時》
 《学習内容》
 ○裁判員制度について学習するとともに、模擬裁判を行うことで司法の役割や、冤罪によって重大な人権侵害がおきないようにどうすればよいかを考える。
 《資料》○裁判員制度による裁判の流れ
 ○模擬裁判をやってみよう
 ○冤罪を報じる新聞記事

⑤ 日本の国家権力はどのようにバランスが保たれているのか？【知】【思】【主】
 《学習内容》○立法、行政、司法がどのようにバランスを保っているのか、またそれによって我々の生活や権利がどのように保障されているのかを考える。
 《資料》○三権に関する新聞記事 ○三権の抑制と均衡の関係 ○最高裁判所の違憲判断の例

《単元の学習を終えたときの振り返りの例》
 ○ 日本国憲法で保障された権利を守るために国会で法律が作られる。また、国会は国民が選挙で選ぶため、国権の最高機関となっている。具体的な政治は、内閣が、国会で審理された法律や予算を使って行っている。日本の場合、議院内閣制がとられており、国会と内閣はお互いが連帯して責任を負っている。裁判所は国民の権利を守るための「憲法の番人」であり、国会や内閣が憲法を違反しないように違憲審査権をもち、司法権の独立が保たれている。私も3年後には18歳になるので、私が選んだ人が法律を作るし、私が裁判員として誰かを裁くことになるかもしれない。自分たちの権利を守るため、学校での勉強だけでなく、テレビや新聞、インターネットなどのニュースをよく見て、しっかりと考えていかなければならないと思った。

II 学習指導課程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 []評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 裁判員制度の仕組みと実際の事例について知る。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: fit-content;">裁判員として判決を考えよう。</div> <p>3 事件の判決について考える。</p> <p>(1) 個人で教科書の事例を読み、有罪か無罪か、また有罪の場合の量刑について考える。</p> <p>(2) 班で話し合い、話し合った結果の判決をホワイトボードに書く。</p> <p>(3) 全体で発表し、他の班との共通点や相違点をお互いに質問したり話し合ったりする。</p> <p>4 自分の判決について再考する。</p> <p>5 本時を振り返り、まとめる。 〈見方・考え方を働かせる問い〉 「実際に起きてしまった過去の冤罪の事件は、何がいけなかったのだろうか。」</p> <p>(1) ワークシートにまとめる。</p> <p>(2) 自分の振り返りをタブレットで撮影しロイロノートで提出する。</p> <p>(3) 友だちの考えと自分の考えを比較し、考えを深める。</p>	<p>○ 裁判員裁判の事例を紹介し、自分事になる可能性があることを実感させる。</p> <p>● 将来私たちも選ばれるのかもしれないな。</p> <p>● 裁判員裁判で死刑になった事例もあるんだな。</p> <p>○ タブレットを利用して証拠や証言などをまとめた資料を全体で共有して状況を整理し、判決をする際の視点をはっきりとさせる。</p> <p>○ この容疑者は証拠や証言が一致していて明らかに怪しいな。有罪で間違いないだろう。</p> <p>○ 机間指導をし、各班内でそれぞれの考えの共通点や相違点を話し合えるように助言をする。</p> <p>● 怪しいけど確かな証拠がないんじゃないかな。もし無実で逮捕されていたのならこの人の人生はどうなるのだろう。</p> <p>○ ホワイトボードで示された各班の判決の共通点や相違点をまとめ、互いに質問したり、意見をいったりできるように、助言をする。</p> <p>● ○○班はなぜ有罪の判決になったんだろう。何が決め手になったのかな。</p> <p>● やっぱり確かな証拠がないのに有罪にはできないな。</p> <p>○ 冤罪による人権侵害の事例をいくつか紹介し、裁判による判決の重みについて考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: fit-content;">思考・判断・表現</div> <p>● 「推定無罪の原則」によって冤罪による人権侵害が抑えられているんだな。でも、犯人が野放しにされるのも怖いことだな。もし裁判員に選ばれたらいろんな人の人権に関わる判断をしなければいけないんだな。[ワークシート・ロイロノート]</p> <p>○ ワークシートに記入した振り返りをロイロノートで提出させ、友だちの考えを共有させるとともに、記述が難しい生徒の参考にさせる。</p> <p>○ 友だちの意見を聞いたり、自分の意見を考え直したりして、考えが深まった生徒の振り返りを称賛する。</p>

日本の地域的特色

綾川町立綾川中学校 指導者 藤川 晋

I 単元の構造図 (全 12 時間)

<p>C 日本の様々な地域 (2) 日本の地域的特色と地域区分</p>	<p>日本は4つのプレートの境目に位置しており、山がちな川は短く流りが急であることから、自然災害が多い。また、日本は世界的に見れば人口の多い国であるが、総人口は減少しており少子高齢化も進展している。産業では、自然及び社会的条件によって産業の地域的分業が発展している。さらに、国内外では様々な形態の交通網や通信網の整備が進んでいる。</p>
<p>〈単元を貫く問い〉 これからの日本の課題は何だろうか？</p>	
<p>① (学習課題) 日本までのような場所はあるのだろうか？ 【知】 (学習内容) 日本は環太平洋造山帯に属しており、4つのプレートの境目に位置する。 (資料) 世界の主な火山と地震の分布 (見・考) 位置や分布 場所 (問) 「造山帯どのように分布しているのだろうか？」</p>	
<p>② (学習課題) 日本の平野や海岸、日本を取りまく海は、どのような特色があるのだろうか？ 【知】 (学習内容) 日本は海に囲まれ、規模の小さな地帯性平野と、多様な景観の海岸線が見られる。 (資料) 日本周辺の海流 川の上流から下流にみられる地形 (見・考) 位置や分布 場所 (問) 「平野とは、どのような場所が広がっているのか？」</p>	
<p>③ (学習課題) なぜ、日本の気候が地域によって違ってくるのだろうか？ 【思】 (学習内容) 季節風や地形により地域によって降水量や気温の違いが見られ、いくつか気候区分できる。 (資料) 日本の気候区分と各地の雨量図 降水量の季節変化が起こるしくみ (見・考) 位置や分布 地域 (問) 「なぜ、高温多湿な降水量が少ないのだろうか？」</p>	
<p>④ (学習課題) 自然災害が起こったとき、私たちはどのような行動をとればよいのだろうか？ 【主】 (学習内容) 日本はさまざまな自然災害が発生するため、防災対策をこまめに、普段から災害が起こった後の行動について意識しておく必要がある。 (資料) 災害が発生した際に被災地を支援するしくみ 綾川町ハートマップ (見・考) 人間と自然環境との相互依存関係 (問) 「自然災害が起こったとき、どのような行動をとればよいのだろうか？」</p>	
<p>⑤ (学習課題) 日本では、どのような人口問題があるのだろうか？ 【知】 (学習内容) 三大都市圏を中心とする都市部では人口が集中し過密、山間部や離島では人口が流出し過疎が問題となっており、少子高齢化が進み労働力の不足など、新たな問題が表出している。 (資料) 世界の人口の推移 日本の人口分布 日本の人口ピラミッドの変化 (見・考) 地域 場所 (問) 「日本のどのような場所で、どのような人口問題があるのだろうか？」</p>	
<p>⑥ (学習課題) 日本に住む私たちは、今後、どのような発電方法をとるべきなのか？ 【主】 (学習内容) 日本は発電のためのエネルギー資源を外国からの輸出に頼っており、再生可能エネルギーの活用や省エネルギーなどの環境対策を行い、持続可能な社会の実現を目指している。 (資料) 日本で消費している資源の輸入先 発電所の分布 主な国の発電量の内訳 (見・考) 位置や分布 (問) 「それぞれの発電所は、どのような場所に分布しているのか？」</p>	
<p>⑦ (学習課題) 日本の第1次産業では、どのような特色や課題があるのだろうか？ 【知】 (学習内容) 大都市圏ではおとろ農業が行われ、促成栽培や制御栽培など気候を生かして農業を行う地域も見られるが、多くの農作物において、食料自給率が低いという課題がある。 (資料) 日本の漁業や水産物の輸出入量の変化 主な農業地域の農業産出額の内訳 (見・考) 人間と自然環境との相互依存関係 (問) 「農家の人たちは、どんな工夫をしているのか？」</p>	
<p>⑧ (学習課題) 日本の第2次産業では、どのような特色や課題があるのだろうか？ 【知】 (学習内容) 明治時代より、京浜・中京・阪神など臨海部を中心に、太平洋ベルトと呼ばれる工業地域が発達し、交通網の発達に伴い工業地域も内陸に発展している。一方で、外国に輸出する企業も多く、産業の空洞化などの課題もみられる。 (資料) 主な工業地域の工業出荷額の内訳 日本の貿易品目の変化 (見・考) 空間的相互依存作用 (問) 「工場の海外に輸出することで、どんな問題が生じるのか？」</p>	
<p>⑨ (学習課題) 第3次産業のうち、どの仕事が今後成長していくと考えられるだろうか？ (本時) 【主】 (学習内容) 日本で働く人のうち、7割以上が第3次産業で働いている。今後、ICTの発達や生活空間が多様化することで、新たにできる仕事や無くなっていく仕事がある。 (資料) 産業別人口に占める第3次産業の割合 小売店での販売額と電子商取引額の変化 (見・考) 位置や分布 (問) 「第3次産業の割合が高い都道府県は、どんな地域なのか？」</p>	
<p>⑩ (学習課題) 交通網や通信網が発達したことで、地域間の結びつきはどのように変化したのだろうか？ 【思】 (学習内容) 交通網や通信網の発達により、物流や人の往来が活発になるなど、地域間の結びつきは絶えず変化している。 (資料) 成田空港と世界各地を結ぶ航空路線 国内輸送の内訳の変化 (見・考) 空間的相互依存作用 (問) 「なぜ成田空港と各地が資料のように結びついているのか？」</p>	
<p>⑪ (学習課題) いくつかの視点に基づいて日本を区分すると、どのような特色がみえてくるのか？ 【思】 (学習内容) 日本は自然環境や産業などさまざまな区分の仕方がある。 (資料) いろいろな日本地図 (見・考) 位置や分布 (問) 「この地図は何を基準で区分されたものなのか？」</p>	<p>⑫ (学習課題) 「日本」とは、どんなところなのか？ 【思】 (学習内容) 単元のまとめを行う (資料) ①～⑩のワークシートや資料 (見・考) 5つすべての視点 (問) 「日本の諸課題の中で何が一番の課題なのだろうか？」</p>
<p>〈単元を学び終えたときの振り返りの例〉</p> <p>日本は自然環境や産業などで、様々な特色がみられ、多くの課題を抱えている。解決のために手立てを考えていかなければいけないと思う。そんな中で、特に課題だと感じることが、都市部への人口集中による過密と人口流出がすすむ過疎といった人口問題だ。人々は、就職や進学を機に東京や大阪といった都市圏へ集まり、東京への一極集中と、地方の人口減少が問題となっている。人口減少によって、自治体の税収も減少し、地域社会の維持が困難となっている地域も多くなっている。私は、地方へのUターン・Iターンを促すための取組が大事だと思う。地域おこし協力隊というものがあることを知った。定住してもらうためには、インフラだけでなくお給料も思うけど、今は良いアイデアが思い浮かばない。</p>	

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時の復習を行い、第3次産業の概要を確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時で学習する第3次産業の概要を理解させるために、第1次産業と第2次産業が、目に見える「もの」を扱う産業であることを説明する。 ・ 世の中には、どのような職業があるのかを挙げさせた後、他の先進国と同じように第3次産業の割合が最も高いことに着目できるように、第3次産業に当てはまる仕事の一覧を提示する。 ・ 学習課題につなげるために、日本の産業別人口の割合を予想させた後、第3次産業に従事する人が多いことを確認させるために、1970年と2015年のグラフを提示する。
<p>【学習課題】 第3次産業のうち、どの仕事が今後成長していくと考えられるだろうか？</p>	
<p>3 学習課題について考える。</p> <p>(1) 個人で考える。</p> <p>(2) タブレットを用いて、班の意見を検証する。</p> <p>(3) 4人班になり、意見をホワイトボードにまとめ、班ごとに発表する。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机間指導を行い、考えがまとまらない生徒に対しては、まずは成長しない、あるいは大きな成長が見込めない仕事とその理由について考えさせ、まとめる際のヒントにするように助言する。 ○ 生徒の考えをゆさぶるために、約半数程度の生徒が考えを書けたタイミングで、AIの登場や発展を考慮するように伝える。 ・ 意見に妥当性と明確な根拠を持たせるために、タブレット端末を用いて資料やデータを調査し、各自の意見を検証するように促す。 ○ ワークシートに書いた自分の意見を一方的に読み上げるのではなく、図を使って説明したり、班員に問い掛け反応を確認したりしながら、双方向のやり取りをしてから、意見を共有するよう助言する。 ・ 活動が滞っている班に対しては、経済産業省が発表している第3次産業の活動指数についての資料を例として提示し、活動を促進する。 ○ 班員の意見に同意するだけでなく批評を述べてもよいが、人格を否定するような言い方をしないように周知する。 ・ 検証した根拠に基づき、学習課題の答えとなる意見を班内で1つに絞って、ホワイトボードにまとめるように指示する。 ○ 他の班の発表の際は、「きく」ことを意識させるとともに、発表者を受け入れる雰囲気を作るために、発表者の方を向くように指示する。 ・ すべての班の発表後、更に生徒をゆさぶるために、各班の意見の是非について考える時間をとる。 ・ 社会の現状とこれからの展望をふまえ、日本の第3次産業の特色についてまとめるように指示する。 ・ 振り返りの視点として、これまで学習してきた日本の課題を踏まえ、「今後成長していくと考えられる産業」について意識するように促す。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本の第3次産業の特色と現状を理解し、今後の日本で成長する産業について、自分の考えをまとめることができる。[ワークシート]

新たな時代の日本と世界

坂田市立瀬居中学校 指導者 宮武 朋宏

I 単元の構造図

C 近現代の世界と日本 (2) 現代の日本と世界 (イ) 日本の経済の発展とグローバル化する世界	冷戦終結後の世界では、グローバル化が進展し、国際協調への動きや市場の拡大が加速した。また、日本の経済や科学技術の発展は目覚ましく、国際社会における日本の役割が大きくなった。しかし、地域紛争や貧困、地球環境問題など、地球規模の課題は山積している。
--	--

《単元を貫く問い》平成時代に入り（冷戦後）、世界や日本はどのように変化したのだろうか？

学習課題	① 冷戦は、どのように終結したのだろうか。【知】
見方・考え方	時代や年代 推移、比較
学習内容	ソ連は、政治と経済の立て直しを図ったが上手くいかなかった。また、東欧諸国の民主化運動が高まった。冷戦の象徴であったベルリンの壁も取り壊され、米ソの首脳により連戦の終結が宣言された。
資料	ゴルバチョフの改革、マルタ会談、ベルリンの壁の崩壊

学習課題	② 国連は、なぜこれまで機能していなかったのだろうか。【知】【思】
見方・考え方	推移、比較
学習内容	冷戦の終結により、国際連合が機能し始め、その役割が高まった。また、世界各地で地域統合も進んだ。
資料	安保理拒否権行使の回数、地域統合の利点と欠点 等

学習課題	④ なぜ日本だけ、クウェートに感謝されなかったのだろうか？【知】【思】
見方・考え方	相互の関連、現在とのつながり
学習内容	経済援助だけでなく、世界平和の面でも国際貢献を求められた日本は、自衛隊を国連の平和維持活動に派遣した。
資料	湾岸戦争後の新聞記事、国連平和維持活動への自衛隊の派遣

学習課題	③ ブッシュやゴルバチョフに、冷戦後の世界の様子を伝えよう【思】【主】
見方・考え方	推移、比較 相互の関連(問い)「紛争の原因は何だろう？」
学習内容	冷戦中に米ソが抑えていた対立が、冷戦終結後に表面化して、世界各地で紛争やテロリズムが増加した。
資料	地域紛争の地図、テロリズムの発生数 等

学習課題	⑤ 日本は、なぜ平成不況から抜け出せないのだろうか。【知】【思】
見方・考え方	推移、比較
学習内容	日本は、バブル経済の崩壊をきっかけに平成不況に突入した。政府は景気対策をしているが、財政赤字など課題が残る。
資料	バブル経済の崩壊、世界金融危機、日本の財政の変化

学習課題	⑥ 持続可能な社会を実現するために、自分たちができることを考えよう。【思】【主】
見方・考え方	現在とのつながり
学習内容	日本の経済や科学技術の発展により、国際社会における日本の役割は大きくなってきた。地球規模の課題である環境保全や平和などについて、一人ひとりが考え行動していく必要がある。
資料	持続可能な開発目標(SDGs)、COP 資料 等

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

私は、アメリカとソ連のリーダーによって冷戦の終結が決められたことにより、国際協調への動きが進み、世界はやっと平和になると考えていました。しかし、ソ連・アメリカという大国の抑えがなくなったことで、地域紛争やテロリズムが世界各地で増加したことに驚きました。平成の時代を迎えた日本では、東アジア諸国との領土をめぐる問題やアメリカ軍の基地をめぐる意見の対立、バブル経済の崩壊から続く平成不況など、新たな課題に直面しました。そのような状況の中でも、国際協力が進んでいる現実もあるので、持続可能な開発目標を意識して、環境保全など身近なところから行動を起こしていきたいと思います。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時に学習した冷戦の終結の過程を振り返り、学習課題を設定する。</p>	<p>○ マルタ会談の中で、米ソ両国の首脳が平和な世の中にしていくことを誓い合ったことを思い返させる。</p> <p>○ 世界の紛争地の地図を見せ、冷戦終結後に起こった紛争が多いことに気付かせる。</p>
<p>ブッシュやゴルバチョフに、冷戦後の世界の様子を伝えよう</p>	
<p>2 課題について予想する。</p> <p>3 資料や主題図を読み取り、冷戦後の世界の様子を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争の地図 ・テロリズムの発生数の表 ・アメリカ同時多発テロの資料 <p>4 湾岸戦争の資料から、冷戦の終結後に、イラクがクウェートに侵攻したことを知る。</p> <p>5 世界平和を願って冷戦の終結を決めた二国の代表者に、冷戦後の世界の様子を知らせるメッセージを書き、発表する。</p>	<p>○ 漠然とした予想にならないように、何を根拠として自分の予想を立てたかを問う。</p> <p>○ 予想することが難しい生徒には、戦争の原因になる事象を考えてみると良いことを助言する。</p> <p>○ 二人で協働して紛争の理由について考えさせる。</p> <p>○ テロリズムが多発している地域に着眼させ、その理由も考えさせる。</p> <p>○ 対立の原因は多様であり、民族や宗教の違い、テロリズムが紛争につながることを気付かせる。</p> <p>○ 調べたことをロイロノートのスライドにまとめて、発表させる。</p> <p>○ 湾岸戦争のきっかけを説明し、冷戦中の世界の均衡が崩れたことに気付かせる。</p> <p>○ まとめた文章を発表させ合い、お互いの意見の共通点や相違点を考えさせる。</p> <p>○ 4、5の活動で分かったことが具体的に含まれていなければ、二人で話し合って再考させる。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 二つの超大国が保っていたバランスが崩れたことを踏まえながら、冷戦後の世界の様子について、まとめることができる。 [ワークシート]</p>

第3学年1組 社会科学学習指導案

坂出市立坂出東部中学校 指導者 藤本 達哉

1 単元名 現代社会の見方や考え方

2 単元について

(1) 本単元は、学習指導要領の公民的分野の内容の大項目「A私たちと現代社会」の中項目「(2)現代社会を捉える枠組み」にあたり、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、概念的な枠組みの基礎となる対立と合意、効率と公正、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させることをねらいとしている。

人間は家族や地域社会等の複数の社会集団に属して生活しており、個性や価値観、また利害の違いがあるため、集団の内部では「対立」(問題(トラブル)や紛争)が生じる。その場合、多様な考え方をもつ人が社会集団の中で共に成り立ちうるように、また、互いの利益が得られるように、「合意」に至る努力をした上で、何らかの決定を行っている。その際、社会全体で「無駄を省く」という「効率」や「不当に不利益を被ってはいないか」という「公正」等の考え方が判断の基準となる。本単元の学習を通して、これらの見方や考え方を、日常の身の回りで起こりうる具体的事例から考えることによって、現代社会への関心を高め、理解を深めることができると考えている。また、ここで学習した見方や考え方は、以降の学習にも生かされ、現代の社会的事象の課題を意欲的に追究する態度の育成につながることから大変重要である。

(2) 事前アンケートでは、政治や経済の分野に対して興味・関心を持っている生徒が多く、その理由は「自分の身の回りで起きている出来事の原因を知りたい」が最も多かった。これは、これまでの地理的分野や歴史的分野の学習を通して、出来事の原因を考えさせたり、時事ニュースを紹介したりする活動を行ってきた成果であると考えている。また、授業において、ペアやグループでの活動では、積極的に意見交換できている一方で、全体の場では、自分の意見を発表する生徒が少なかったり、発表者の固定化が見られたりしている。

(3) 本単元を指導するにあたり、次の点に留意する。

- ・ 身近な具体的事例や時事ニュースを取り上げることで、興味・関心を高め、課題解決への意欲化を図り、「効率」と「公正」という概念を理解させる。
- ・ ペアやグループ活動において、自由に意見交換する中で、他者の考えや意見を聞き、社会的事象を多面的・多角的に考察し、学びを深めさせる。
- ・ 生徒に意見を求めたり、挙手を求めたりして生徒全員が参加する活動を様々な場面で設定し、級友の意見を知り、一人ひとりが自信を高めながら意見を形成できるようにする。

3 目標

(1) 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解することができる。

(2) 対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現することができる。

(3) 現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自ら学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとすることができる。

観 点		診 断 内 容
授業開発力 (単元計画)	①中心概念	<p>○中心概念（目標）</p> <p>現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、「対立と合意」「効率と公正」の概念を獲得させ、具体的事例を通して多面的・多角的に考える中で、みんなが納得できる解決策に近づくことができるという民主主義の理念につなげることができる。</p> <p>○単元をつらぬく問い</p> <p>＝一律10万円の給付金政策は有効だったのか？～効率と公正で考えよう～</p>
	②構造化	<p>○ 「対立と合意」「効率と公正」の概念を系統的に獲得させた上で、意思決定の授業を行い、各自が選択した政策が、「効率と公正」の面から見てどう判断されるかを考えさせる。</p>
	③教材の 発掘・開発	<p>○ 時事ニュースから題材を設定することで生徒に社会的事象に対して関心を高めさせ、自分事として考えさせる。また、政治と経済の内容が未習であっても活用できる資料を使用することで、理解を深めさせる。</p>

4 単元の学習内容構造図(全5時間)

A 私たちと現代社会
(2) 現代社会を捉える枠組み

私たちは複数の社会集団に属して生活しているが、個性や価値観、また利害の違いがあるため、「対立」が生じる。その場合、「合意」に至る努力をした上で、何らかの決定を行っている。その際、現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、効率と公正という概念を働かせて判断することで、みんなが納得できる結論を導くことができる。

学習課題	①なぜきまりを守らなくてはいけないのだろうか？【知】【主】	学習課題	②③対立を解消するには？【知】【思】
学習内容	私たちはどこかの集団に属して、そこで生活し、成長している。それが社会的存在と言われるゆえんである。そして、社会集団の秩序を維持するために「きまり」が存在している。きまりが私たちの権利を守っているからこそ、私たちにはその決まりを守る責任や義務がある。	学習内容	「きまり」によって私たちの生活がコントロールされているにも関わらず、私たちの周りには絶えず対立が起こっている。それは、人間には個性があり、考え方や求めるものが違うからである。より良い生活を送っていくためには自分の意見を主張するだけでなく、相手の話をよく聞き、たがいが受け入れられる解決策を話し合い、合意に導く必要がある。その際、みんなが納得する解決策を導くには、「効率」と「公正」という考え方が重要である。
資料	学校生活の様子(合唱練習、部活動など) 憲法 法律 校則	資料	国会での対立の様子 学校でのトラブル

<本時>

<単元を貫く問い>一律10万円の給付金政策は有効だったのだろうか？

【現代社会の見方・考え方】対立と合意、効率と公正、権利、責任・義務

学習課題	③一律10万円の給付金政策は有効だったのだろうか？～効率と公正で考えよう～【思】【主】
学習内容	みんなが納得する解決策を導くには、社会全体で「無駄を省く」という意味で「効率」という考え方や一人ひとりを尊重し、不当にあつかわないという意味で「公正」という考え方が重要である。
資料	新聞記事 10万円給付による経済効果 コロナ禍の失業率 政府の給付金の財源
見方・考え方	効率と公正 (問い) 効率と公正の視点から考えてみよう

学習課題	④あの政策を修正してみよう【思】
学習内容	納得して作った決まりであっても、実態に合わなくなったり、私たちの権利を侵害したりしたときは見直しが必要である。共生社会の実現のためには、状況に応じて合意を作りだしながら、ともに生きる努力を続けなければならない。
資料	コロナ政策の振り返り

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

10万円給付の政策は、初めはただお金がもらえるからいいことだと思っていたけれど、社会全体のことを考えると消費に回した割合が少なく効率的ではないなと思ったし、コロナ禍でも収入が変わらない人がもらえたのは公正ではなかったのかもしれない。効率と公正の視点で考えると物事を深く考えることができた。私たちの生活は絶えず対立の状態が生まれる。私たちの生活をより良くするためには、決まりを作ったり、決め方を工夫したりして合意に導くことが必要である。その際、全員が納得できる解決策に導くために効率と公正の観点が大切であることが分かった。これからもこの視点を大切にして社会の出来事や身近なことを見ていきたいと思う。

5 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 本時の事例の課題解決過程において、「効率」「公正」の概念を理解するとともに、多面的・多角的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	指導・支援と留意点
1 前時の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「効率」と「公正」にはそんな意味があるんだっただな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に考えた部活動の体育館割や身近な事例から「対立」から「合意」に至るまでには「効率」と「公正」の観点が重要であることを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">一律10万円の給付金政策は有効だったのか？～効率と公正で考えよう～</div>		
3 学習課題について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ タダでお金がもらえるんだから困る人はいないだろう。 ・ お金をもらっても無駄にしてしまう人もいるんじゃないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時に個人で立てた現時点での考えを座席周辺の生徒と共有する。 ・ 当時のニュースや新聞記事を提示し、実際に10万円が給付された人たちの考えを知ったり、給付金の本来の意味を確認したりすることで、多角的に物事を考えるようにする。
4 「効率」と「公正」の観点から有効性を考える。 (1)個人で考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本来の目的である消費に回した割合は少なかったから効率的ではなかったのかな。 ・ 収入が多い人や変わらない人も給付金がもらえたのは公正ではなかったのではないかな。 ・ 何を大切にするかによって社会全体での成果は変わってくるな。 ・ 公正という考え方は立場を変えると考え方も変わってくるんだな。 ・ 一律だと、困っている人を助けるという面でダメだし、国の財政も悪化する。子どもの有無で判断するのも公正ではない減収世帯に給付することが効率と公正の観点から見ても良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考えを深めさせるために、4つの資料(①給付金の使い道②預金の推移③日本の国債残高④政府の給付金案)を配布し、その資料をもとに、家計や財政にどのような影響を与えたかについて、意見を構築させる。 ・ 一人ひとりが考えやすくするために、3つの視点を提示する。 ・ 現代社会の見方・考え方を働かせるために「効率と公正の観点から考えてみよう」という問いかけを行う。
(2)グループで考えの共有を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公正という考え方は立場を変えると考え方も変わってくるんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 話し合いが停滞している班のために、様々な立場の人がいることに触れ、多角的に考えるように助言する。
(3)3つの視点から最も良いと思う案を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一律だと、困っている人を助けるという面でダメだし、国の財政も悪化する。子どもの有無で判断するのも公正ではない減収世帯に給付することが効率と公正の観点から見ても良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この政策の後に18歳以下に10万円の給付があったことを紹介し、考えさせることを通して、常に対立と合意の観点を持っておく重要性を指摘する。 ・ 安易な多数決で決定するよりもみんなで対話して決定していくほうが、全員が納得できる案が生まれる可能性が高いことに気付かせる。
5 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率と公正の観点から物事を考えることで、みんなが最低限納得できる答えが導き出せるんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政治の場では、対立と合意の繰り返しであることを認識するために、給付金決定にいたる実際の政治のやり取りを紹介する。 ・ 公民的分野の授業において、今後もこの観点から物事を考えていくことを伝える。

(3) 評価

- ・ 本時の事例に対して、効率と公正の観点から多面的・多角的に考察し、自分の考えをまとめることができたか。

社会科学学習指導案

坂出市立白峰中学校 指導者 伊井 大輔

1 単元名 地方自治と私たち

2 単元について

- (1) 本単元は、中学校学習指導要領の(3)公民的分野のC「私たちの政治」の(2)「民主政治と政治参加」にあたり、地方公共団体の基本的な考え方について理解させ、民主政治の推進と公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連を通じ多面的・多角的に考察、表現させることをねらいとしている。現在、地方自治を取り巻く状況は、少子高齢化、過疎化、情報化、グローバル化、経済の変動などにより急速に変化し、地方公共団体間での格差が生じている。また、地方公共団体は住民サービスの維持・向上に向け、財政の健全化や魅力ある街づくりに取り組んでいる。また、育児や福祉、教育の充実等、多岐にわたる課題について対応するため、住民主体で地域づくりを行う必要性が高まっている。このような時代を生きる生徒にとって、地域社会における住民の福祉は住民の自発的努力によって実現するものであり、住民参加による住民自治に基づくものであること、そして、このような住民自治を基本とする地方自治の考え方が地方公共団体の仕組みや働きを貫いている基本的な考え方であると理解できる本単元を学ぶ意義は大きい。
- (2) 本学級の生徒は社会科に関わらず、どの教科の授業にも意欲的に取り組む学級である。また、教師の問い返しや思考力を働かせる発問に対しても多角的に意見を述べる生徒が多く、社会的な見方・考え方が身につけていることが実感できる。地方自治の授業にあたり、「将来坂出市に住みたいか」というアンケートを取った。学級のほとんどの生徒が「都会で生活したい」「都会で働きたい」と回答しており、自己実現のために能動的に行動しようとする姿がうかがえたと同時に、坂出市に対するマイナスイメージをくみ取ることができた。
- (3) 指導に当たっては、以下の点に留意したい。
 - ・ 生徒の関心を高めるため、主体的に考えをもてるように、生徒を揺さぶる質問を仕組んだり、生徒の意見をつなぐ発問をしたりするなど、教師の働きかけを重視する。
 - ・ 現代社会における課題を自分事として感じ、考えさせるために身近な事象を授業では取りあげ、その課題解決に向けて主体的に授業に参加できるような手立てとする。
 - ・ 生徒が地方自治の仕組みを理解し、住民参加の重要性を認識できるよう振り返りの場を重視し、多様な意見に触れる場を確保する。

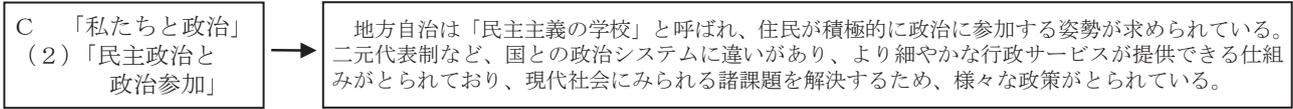
3 目標

- (1) 地方公共団体の政治の仕組みや住民の権利や義務について考えることで、地方自治の基本的な考え方について理解する。
- (2) 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、表現できる。
- (3) 民主政治と政治参加について、現代社会の課題の解決に向けて主体的に学習に取り組み、社会に関わろうとする。

観 点	診断内容	メモ
授業開発力 (単元計画)	<p>① 中心概念</p> <p>○中心概念 地方自治は「民主主義の学校」と呼ばれ、住民が積極的に政治に参加する姿勢が求められている。二元代表制など、国との政治システムに違いがあり、より細やかな行政サービスが提供できる仕組みがとられており、現代社会にみられる諸課題を解決するため、様々な政策がとられている。</p> <p>○単元を貫く問い どのように「住みたい街 坂出」を実現すればよいだろう。</p>	
	<p>② 構造化</p> <p>○地方自治の学習において、生徒の住む坂出市の政策を例に地方自治の仕組みや財政、その課題等について考えられるよう構造化した。現在の坂出市が抱えている課題をもとに生徒が主体認識へと迫れるよう意思決定過程を重視した。</p> <p>○ふるさと納税制度の改訂をもとに、多面的・多角的に考察し、生徒が自分の意見を主体的にもてるようにした。</p>	
	<p>③ 教材の 発掘・開発</p> <p>○ふるさと納税制度を生徒が理解しやすいよう仕組みや導入された経緯について学習する時間を設け、今回の改訂による問題点等を把握しやすいようにした。</p> <p>○様々な地域のふるさと納税に関する資料や、アンケート結果などを用意し、生徒が多様な視点で思考判断できるようにした。</p>	

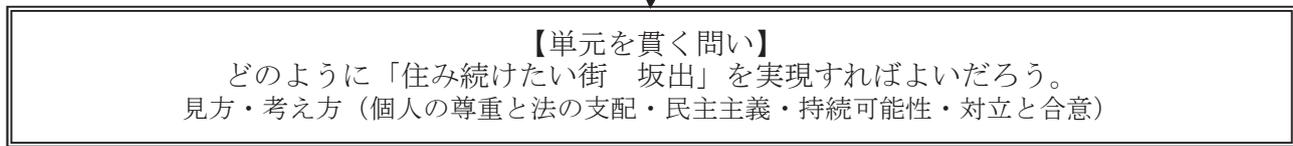
現代の民主政治と社会 —地方自治と私たち—

4 単元の構造図



○私たちの生活と地方自治

① 学習課題	どのような街であれば「住み続けたい街坂出」となるのだろうか。【主】【思】
学習内容	坂出市は出生率の減少や、人口流出等により、人口減少が進み、空き家の増加や少子高齢化が進み、人口は5万人を切っている。坂出市は「子育てのしやすい街づくり」を掲げ、人口流入に努力しているが、市民の求める住民サービスを細やかに提供するためには税収の増加が必要となってくる。また、地方自治の考えのもと、直接請求権が認められており、住民投票などの仕組みもある。
資料	坂出市の取組についての資料 坂出市の人口推移についての資料 坂出市の財政に関する資料



○私たちの生活と地方自治

② 学習課題	坂出市の政治はどのようなしくみで行われているのだろうか。【知】
学習内容	国では、地域によって異なる細かな課題に対して対応することは困難である。そのため、地方分権が進められ、住民の細かなニーズに基づいて地方自治を進められるような仕組みをとっている。
資料	坂出市の取組についての資料 近隣市町村や他府県の取組に関する資料

○地方自治の仕組み

③ 学習課題	坂出市の財政はどのような状況なのだろうか。【知】
学習内容	地方公共団体の財政収入には、自主財源や依存財源、地方債などがある。人口減少に悩む坂出市では「子育てのしやすい街づくり」を掲げ、給食費無償化に取り組み、人口増加を目標としている。その他医療や街づくりなど細やかな住民サービスを提供するための課題として税収減がある。
資料	坂出市の歳入・歳出に関する資料

○地方公共団体の課題

④ 学習課題	ふるさと納税のしくみはどうなっているのだろうか。【知】
学習内容	都市部への人口移動などによる地方の財政危機解消のため、制度化されたのが「ふるさと納税」である。各地方公共団体は魅力的な返礼品を用意し、人口減による自主財源減少をカバーしようと様々な工夫を凝らし、歳入の増加のために工夫している。
資料	ふるさと納税の仕組み 返礼品の例 ふるさと納税制度導入前後の歳入の推移

○地方公共団体の課題（本時）

⑤ 学習課題	ふるさと納税の返礼品を国が規制することに賛成？反対？【思】【主】
学習内容	地方の自主財源の増加をめざした「ふるさと納税」であったが、返礼品競争の加熱等により、2023年10月より返礼品に関するルールが変更された。手数料等を含めた返礼品に関する還元率は50%未満となり、その自治体の地場産物であることが定められ、各地の自治体は返礼品の見直し、変更などを行った。人口が多く、地場産業も盛んで魅力的な返礼品を用意できる自治体に寄付が集中することが予想される。全国一律に基準を定めることは果たして地方と都市が共存できる仕組みなのだろうか。
資料	ふるさと納税改正の資料 返礼品変更の例 ふるさと納税寄付額の推移

○住民参加の拡大と私たち

⑥ 学習課題	坂出市のふるさと納税はどうあるべきだろうか。【主】【思】
学習内容	ふるさと納税は歳入増を図るとともに、坂出市をアピールし、経済活性化につなげるために重要な手段である。そのために、坂出市の企業や店舗、地場産業などを生かした魅力的な返礼品を生み出すなど、より一層の工夫が必要とされる。経済活動が活発になれば人口は回復し、税収の増加も見込める。経済を活性化させ、「住み続けたい街坂出」実現ための施策を進めることが重要である。
資料	坂出市のふるさと納税の資料 坂出市のまちづくり施策に関する資料

【単元を学び終えたときの生徒の振り返りの例】

より細やかな住民サービスを抵抗するために地方分権のもと、地方自治の仕組みをとっている。各地方公共団体は、魅力ある地域づくりを独自に行い、人口増加、財源確保に努力している。人口減少に悩む地方公共団体は、人口流出などの課題がみられ、自主財源の確保が大きな課題となっており、都市部との格差は拡大している。そこで、「ふるさと納税」制度が導入され、自主財源増加のための枠組みが整えられたが、2023年10月の改正により、都市部との格差が拡大する懸念が生じている。国内の人口が減少するなか、地方の行政システムを維持するために、私たちはどのような政治参加が求められているのか、「民主主義の学校」と呼ばれる地方自治を通して考えていかなければならない。

5 本時の学習指導

(1) 目標

- ・ 自分が住む地方公共団体の課題を把握し、その解決に向けて自分にできることを考察、表現することができる。

(2) 学習指導過程

活動内容	指導・支援と評価
<p>1 ふるさと納税制度について振り返り、改正のポイントを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税制度の問題点について確認し、「競争の現原理」が制度上含まれているが問題であることを認識させる。 ・ ふるさと納税が改正されるにいたる経緯を資料をもとに確認させ、改正後に懸念されていることについて確認する。
<p>ふるさと納税の基準を一律に定めることに賛成？反対？</p>	
<p>2 学習課題についての自分の考えを全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板にネームプレートを貼らせ、全体で意見交流させる。 ・ 立場を定めることを迷った生徒の意見を取りあげることで、多角的に学習課題を考える手立てとする。
<p>3 学習課題について地方公共団体が共存するために必要なことは何かを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと納税に関する資料の内容を効率と公正の視点で考え、地方公共団体が持続可能な仕組みはないか考えるよう指示する。
<p>(1) 資料をもとに4人班で話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立場の違う多様な意見に触れることで、多角的に考察させ、より良い社会を実現するための意見を班で集約させる。
<p>(2) 話し合いをもとにロイロノートに意見を集約し、全体で共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班で集約した意見を発表させ、なぜそのような意見になったのか理由を聞きだしながら教師がロイロノートを活用してまとめる。 ・ 発表された班の意見について質問等がないかと問いかけ、生徒間の対話を促す。 ・ 多角的な思考を促すために、出された意見の問題点についても全体で考えさせ、より良い解決策はないかと教師が問いかける。 ・ 「人口の少ない地方の発展のためなら都市に不利なルールをつくってもよいのか。」と問いかけ、多面的な思考を促す手立てとする。
<p>4 学習課題について自分の意見をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題に対する自分の考えとその理由をワークシートに記入させる。その際、意見の変容がある生徒はネームプレートを移動させ、その理由を数名に発表させる。
<p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習を通じた自己の変容やその理由、参考になった級友の考え等について振り返りシートに記入させる。

第2学年1組 社会科学学習指導案

坂出市立坂出中学校 指導者 池下 侑

1 単元名 日本の諸地域 九州地方

2 単元について

(1) 本単元は、学習指導要領[地理的分野]内容C「日本の様々な地域」(3)「日本の諸地域」について「自然環境」を中核とした考察の仕方を基にして、「人間と自然との相互依存関係」と「地域」に関わる視点に着目して九州地方を扱う。

九州地方は、日本の南西部に位置し、ユーラシア大陸に最も近い地域である。地形を見ると平地が少なく、ほとんどが山地であり、火山が多く分布している。九州南部には火山の噴出物によってできたシラス台地が広がっている。気候は温帯に属し、年間を通じて温暖である。これらの自然環境は、九州地方の人々の生活や様々な産業と結び付きが強く、多くの火山や周辺の温泉を生かした観光産業や、地形や気候を生かした農業は全国的に知られている。このように九州地方では、人々の生活や経済活動が自然環境からさまざまな影響を受けており、地域の環境問題や環境保全といった環境と人々の関わり中心として地域的特色をとらえさせることができる重要な単元であると考えられる。

(2) 本学級は、事前に行ったアンケートでは、「社会科が好きか」という質問に対して、28人(約88%)の生徒が肯定的に回答している。また、「九州地方に行ったことがあるか?」という質問に対しては、13人(約40%)の生徒が「ない」と回答したことから、九州地方にあまり馴染みがない生徒が一定数いることが分かる。そのため、単元の導入では九州地方で有名な観光名所の写真を見せたり、桜島や阿蘇山などの紹介をしたりすることで、九州地方への興味を引き出し、豊かな自然とともに暮らす人々の生活や、そこで根付いた産業について考える動機付けにする。さらに、複数の資料を読み取りながら、自分の意見の根拠とすることが苦手な生徒が多く見られるため、意思決定過程を授業のなかに取り入れ、単元を通して事実認識から社会認識、社会認識から主体認識へと変化する深い学びができる授業を行う。

(3) 本単元の指導にあたっては、以下の点に留意する。

- ・ 主体的な学びにするために、生徒から出てくる疑問や意見をつなぎ、そこから生徒の知的好奇心を揺さぶるような学習課題を設定する。
- ・ 「九州地方の人々は、豊かな自然環境とどのように共存しているのだろう」という単元課題のもと、九州地方の自然環境と人々の生活を結び付けながら、単元を通して学びが深められるに、単元を構造化して授業を行う。
- ・ タブレットPCのロイロノートを活用し、様々な資料を効果的に提示することで生徒が興味や関心をもって学習に取り組めるようにする。
- ・ 課題を解決する手立てとなるような資料を基に、多面的・多角的に物事を捉えることができるように、グループでの学び合いの場を設定する。

3 学習指導目標

(1) 九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解できるようにする。

(2) 九州地方の地域的特色を、自然環境を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する力を育成する。

(3) 屋久島での事例を通して、九州地方で見られる自然環境の保全と利用の両立に関する課題を、主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。

観 点		診 断 内 容
授業開発力 (単元計画)	①中心概念	<p>○中心概念（目標）</p> <p>九州地方は、人々の生活や経済活動が自然環境からさまざまな影響を受けていることを理解させるとともに、九州地方で見られる自然環境の保全と利用の両立に関する課題について単元を通してとらえさせる。</p> <p>○単元を貫く問い</p> <p>＝九州地方の人々は、豊かな自然環境とどのように共存しているのだろうか？</p>
	②構造化	<p>「地理的な見方・考え方」の定着を図るために、毎時間「地理的な見方・考え方」を働かせる問いをあらかじめ用意し、単元を通して、生徒の「見方・考え方」が確立されるようにした。</p> <p>また、単元のまとめの時間には、生徒の「見方・考え方」を揺さぶる問いを用意し、単元を通じた深い学びが到達されるように工夫した。</p>
	③教材の 発掘・開発	<p>○ 屋久島の縄文杉への興味・関心を高めるために、縄文杉の大きさを体感できる活動を取り入れた。</p> <p>○ 屋久島の観光案内所、現地ツアーガイドの話聞き、現地の生の声を活用した。</p>

4 単元の学習内容構造図及び学習指導計画（全6時間）

C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域 九州地方	九州地方は、海に囲まれ、火山が多くあり、気候も温暖である。その豊かな自然環境を産業と結び付けながら、生活をしてきた。しかし、持続可能な社会に向けて、自然環境の保全と利用の在り方を模索している。
----------------------------------	--

【単元を貫く問い】 九州地方の人々は、豊かな自然環境とどのように共存しているのだろうか	○九州地方の自然環境	
	学習課題	九州地方の地形や気候には、どのような特色があるのか？ 【知】
	学習内容	九州地方には現在も活発に活動する火山がある。近海には暖流が流れていて、冬でも比較的温暖である。夏から秋にかけては、季節風や台風の影響で多くの雨が降る。
	資料	九州地方の地図、雨温図
	見方・考え方	位置や分布、場所
	○火山と共に暮らす人々の生活	
	学習課題	火山は人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか？ 【知】【思】
	学習内容	火山が多い九州地方では、火山の噴火による火山灰や火砕流による自然災害の危険と常に隣り合わせだが、温泉を生かした観光開発や地熱発電など、火山の恵みも受けながら生活をしている。
	資料	九州地方の火山の地図、降灰予報、噴火の様子、温泉地と宿泊者数、地熱発電所の場所
	見方・考え方	人間と自然の相互依存関係
	○自然を生かした農業	
	学習課題	九州地方では農業を行ううえで、どのような工夫をしているのだろうか？ 【思】【主】
	学習内容	九州地方の南部には、シラス台地が広がっており、保水力が悪く、農業には適さない土壌だが、ダムや農業用水を整備することで、畑作や畜産が盛んに行われている。また、温暖な気候を生かして北部では二毛作、南部では促成栽培を行っている。
	資料	シラスの分布、鹿児島県の農業産出額の内訳、畜産の円グラフ
	見方・考え方	地域
	○自然と産業の関わり	
	学習課題	九州地方ではどのように工業が発展してきたのだろうか？ 【知】
	学習内容	九州地方はアジアとの距離が近く、福岡市は博多湾のある港町として昔から栄えた。北九州市は明治時代から中国の鉄鉱石を輸入して鉄鋼業が発展した。九州北部の臨海部はアジアへの輸出に有利なため、自動車関連工業が進出している。
	資料	福岡空港の訪日外国人の国・地域別割合、九州の工業出荷額の内訳
	見方・考え方	地域
◎自然環境の保全と利用の両立をめざして（本時）		
学習課題	縄文杉への立ち入り人数を制限するべきか？制限しないべきか？ 【思】【主】	
学習内容	屋久島は1993年に日本で初めて世界自然遺産に登録され、国内外から多くの人々が屋久島を訪れている。しかし、見どころの1つである縄文杉へ観光客が集中しすぎることによって、縄文杉が傷ついてしまい、立ち入り人数を制限するか議論が行われている。	
資料	屋久島の動画、観光客の推移、観光客の様子、新聞記事	
見方・考え方	人間と自然の相互依存関係	
学習課題	屋久島の自然を守り続けるために、何ができるのだろうか？ 【思】【主】	
学習内容	屋久島では2011年に縄文杉への立ち入り人数を制限する条例の議案が否決された。制限しないで屋久島の自然を守り続けるために、マナービデオを作成したり、観光保全協力金を集ったりと、自然環境の保全と利用の両立をめざして工夫をしている。また、エコツーリズムを推進し、自然を知ってもらうことで自然を守りたいと思えるように活動を行っている。	
資料	マナービデオ、環境保全協力金のチラシ、Facebookの投稿	
見方・考え方	地域	

【単元を学び終えたときの振り返りの例】

九州地方は、活火山をはじめとする山が多くあり、年間を通して温暖な気候で、人々は豊かな自然とともに生活をしている。火山は危険も多いが、温泉や地熱発電など、九州地方ならではの自然条件を生かした産業が発達しており、生活の工夫を知ることが出来た。しかし、屋久島の事例を見て、豊かな自然をこれから先も守り続けていくためには、利用するだけでなく、保全と利用を両立することが大切だが、そのバランスを取ることはとても難しいと感じた。持続可能な社会に向けて、今、私たちにできることをこれからも考えていきたいと思う。

5 本時の学習指導

(1) 本時の目標

- ・ 縄文杉への立ち入り人数を制限するか、制限しないかを、屋久島の観光産業についての資料をもとに考え、自らの意見を構築することができる。

(2) 学習指導過程

	学習内容および学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点および支援
見直し (10分)	1 屋久島の魅力を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋久島は日本で初めて世界自然遺産に登録されたんだな。 ・ 日本だけでなく、海外からもたくさんの観光客が訪れるんだ。 ・ 縄文杉は最大の屋久杉で、縄文時代からあるなんて驚いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋久島世界遺産登録 30 周年記念映像を見せ、屋久島への興味を高めると同時に、動画が英語であることに触れ、屋久島は世界中で知られていることを伝える。 ・ 縄文杉と同じ大きさのロープを用意し、大きさを体感させる。
探究 (30分)	2 屋久島の自然環境と観光産業が抱えている問題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界遺産登録後、観光客が増え続けて、2007 年には 40 万人を超えたんだ。 ・ 人が通ることで植物が踏み荒らされ、自然への悪影響が出ているんだな。 ・ 観光客が増えた一方で、縄文杉に人が集中してしまい、縄文杉が傷ついてしまっているんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋久島への観光客数の推移のグラフを示し、世界自然遺産に登録されたあと、屋久島への観光客が急増していったことを読み取らせ、観光客が増えると起こる問題について説明することで、学習課題へとつなげる。
	縄文杉への立ち入り人数を制限するべきか？制限しないべきか？		
	3 観光客が集中する縄文杉への立ち入り人数を制限すべきか考える。 (1) 個人で考える。 (2) 班で考える。 (3) 全体で考える。	【制限する】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 縄文杉を見るために、たくさんの観光客が屋久島を訪れているが、その影響で環境が破壊されているなら、制限をかけるべきだ。 【制限しない】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 制限すると観光客も減ってしまい、環境保護に使う資金が足りなくなるため、制限をかけるべきではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料の中で、自分の意思を決定した決め手となる部分に赤線を書き入れ、根拠に基づいた話し合いができるように促す。 ・ 生徒がどちらを選択したかが一目で分かるように、「制限する」「制限しない」のカードを首から吊り下げ、議論が活発に行えるようにする。
	4 過去に屋久島で縄文杉への立ち入りを事前承認制とする条約が町議会で否決されたことを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に否決されているとは驚いた。 ・ なぜ否決されたんだろう。 ・ 屋久島では「制限しない」という選択をしたんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に屋久島で条約が否決された事実を伝え、次時に生徒に深く考えさせるきっかけとする。
振り返り (10分)	5 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美しい屋久島の自然を、これから先何十年も守っていくためには、観光を制限することも必要だと思ったが、観光客が減少すると観光産業が衰退してしまうことを知り、どちらかを選ぶのは難しいと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習で、考えたことをワークシートに記入させ、授業への取組を評価する。

(4) 評価

- ・ 縄文杉への立ち入り人数を制限するか、制限しないかを、屋久島の観光産業についての資料を根拠として、他者の意見をふまえながら自らの考えを構築し、ワークシートに自分の言葉で書くことができる。

第2学年2組 社会科学学習指導案

坂出市立坂出中学校 指導者 池下 侑

1 単元名 日本の諸地域 中国・四国地方

2 単元について

(1) 本単元は、学習指導要領[地理的分野]内容C「日本の様々な地域」(3)「日本の諸地域」について「交通や通信」を中核とした考察の仕方を基に、地域の広がりや地域内の結び付き、他地域との関係といった、地域や空間的相互依存作用などに着目して中国・四国地方を扱う。

中国・四国地方は、日本海、瀬戸内海、太平洋という3つの海に面していることに加え、中国山地や四国山地があることから、山陰、瀬戸内、南四国の3つの地域に分かれ、地域の特色を生かしながら生活が営まれてきた。その中国・四国地方の地域間の結び付きを活性化させた理由の一つに、交通網の発達が挙げられる。海に囲まれている四国地方は、瀬戸大橋、明石海峡大橋、しまなみ海道という3つのルートでそれぞれ本州と繋がっており、高速交通網の整備も進んでいるため、香川県坂出市からは中国・四国地方のすべての県に自動車ですべての県に3時間以内に行くことができる。また、本州四国連絡橋が作られたことで、四国内のコンビニエンスストアが約8倍になるなど、四国地方の産業を支える大切な交通網となっている。このように、中国・四国地方では、人々の生活や経済活動が交通網の発達からさまざまな影響を受けており、他の地域の学習を進めていくうえで必要とされる、他地域と共通していることを見つける力や、その土地ならではの価値を発見する力を伸ばすために重要な単元であると考えられる。

(2) 本学級の生徒は、日本の諸地域の学習として、九州地方では自然環境、近畿地方では環境保全、中部地方では産業を中核として考察し、それぞれの地域の特色をとらえている。今回学習する中国・四国地方は、香川県で生活をする生徒にとって最も身近な地域であり、四国地方だけでなく、中国地方の各都道府県を訪れたことがある生徒も多い。また、中国・四国地方を繋ぐ、本州四国連絡橋のうち、香川県坂出市にある瀬戸大橋は、生徒全員が利用した経験があると答えた。しかし、瀬戸大橋は今年開通35周年を迎え、生まれたときから当たり前のように瀬戸大橋がある生徒にとっては、私たちの生活が瀬戸大橋によってどれだけ豊かになっているのか考える機会も少ない。そのため、単元を通して交通網の発達によってどのような変化があったのかを学び、後半部分において瀬戸大橋の通行料金について多面的・多角的に考える活動を通して、瀬戸大橋を使い続けながら香川県をより豊かな場所にしていきたいという態度を育てる。

さらに、九州地方の学習で屋久島について考えた際、複数の資料を読み取りながら、自分の意見の根拠とすることが苦手と感じた生徒がクラスの半数いたことから、資料から課題に対する解決策を見出す力が不十分であるので伸ばす必要があると考えられるため、授業で資料を多く活用し、資料から課題の解決策を見出す力を身に付けさせる。

(3) 本単元の指導にあたっては、以下の点に留意する。

- ・ 主体的な学びにするために、授業の導入時に生徒から出てきた疑問や意見を繋ぎ、生徒の知的好奇心を揺さぶるような学習課題を設定する。
- ・ 「中国・四国地方は、交通網が発達したことによって、どのように変化したのだろうか。」という単元を貫く問いのもと、中国・四国地方の交通網の発達と人々の生活の変化や産業への影響を結び付けながら、単元を通して主体認識へと学びが深められるように、単元を交通網の発達を中心に構造化して授業を行う。さらに、「学びのあしあと」を活用し、生徒に構造化して考察していく実感をもたせる。
- ・ タブレットPCのロイノートを活用し、様々な資料を提示することで生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるようにする。また、坂出市に関連した資料を用いることで、社会科の授業と自らの生活を関連付けて考えることができるようにする。
- ・ 意思決定の判断の根拠となる多面的な資料を基に、多面的・多角的に物事を捉えることができるように、グループやクラス全体で議論する時間を設定する。

3 学習指導目標

- (1) 中国・四国地方の交通網の発達による人々の生活や産業への影響を理解できるようにする。
- (2) 中国・四国地方の地域的特色を、交通・通信を中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する力を育成する。
- (3) 瀬戸大橋の通行料金の事例を通して、中国・四国地方の交通網の持続可能性が損なわれる課題を、主体的に追究し、解決しようとする態度を身に付けさせる。

	観 点	診 断 内 容	メ モ
授業開発力 (単元計画)	①中心概念	<p>○中心概念 中国・四国地方は、3つの地域に分かれ、地域の特色を生かしながら生活が営まれてきた。その地域間の結びつきを強めているのが本州四国連絡橋や高速交通網の発達である。これらの交通網の発達は、地域の人々の生活をはじめ、工業や農業などの産業にも大きな影響を与えているが、発達した交通網を維持し続けるためには多額の費用も必要で、今後の在り方を考えていく必要がある。</p> <p>○単元をつらぬく問い ＝中国・四国地方は、交通網が発達したことによって、どのように変化したのだろう。</p>	
	②構造化	<p>○中国・四国地方の交通網の発達と人々の生活の変化や産業への影響を結び付けながら、単元を通して主体認識へと学びが深められるように、単元を交通網の発達を中心に構造化をした。</p> <p>○「地理的な見方・考え方」の定着をはかるために、毎時間「地理的な見方・考え方」につながる問いを用意し、単元を通して生徒の「見方・考え方」が確立されるようにした。</p>	
	③教材の 発掘・開発	<p>○瀬戸大橋スカイツアーに参加したり、瀬戸大橋記念館を訪れたりすることで、瀬戸大橋の建設時の様子や、現在の維持管理の様子など、より詳しく学習できるようにした。</p> <p>○生徒が、どちらを選択したかが分かるように、立場の名前と「値上げする」「値上げしない」のカードを作成し、議論が活発に行えるようにした。</p> <p>○道徳の授業でも、瀬戸大橋の建設に携わった杉田秀夫さんについて考えたり、DVDを視聴したりして、瀬戸大橋は四国で暮らす人々にとって悲願の橋であり、建設に多くの苦労があったことを知ることができるようにした。</p>	

4 単元の学習内容構造図（全7時間）

C 日本の様々な地域 (3)日本の諸地域 中国・四国地方	中国・四国地方は、3つの地域に分かれ、地域の特色を生かしながら生活が営まれてきた。その地域間の結びつきを強めているのが本州四国連絡橋や高速交通網の発達である。これらの交通網の発達は、地域の人々の生活をはじめ、工業や農業などの産業にも大きな影響を与えているが、発達した交通網を維持し続けるためには多額の費用も必要で、今後の在り方を考えていく必要がある。
------------------------------------	---

○中国・四国地方の自然環境

① 学習課題	中国・四国地方の自然環境には、どのような特色があるのか。 【知】
学習内容	中国・四国地方は、地形や気候の特色から、山陰、瀬戸内、南四国と3つの地域に分けられる。また、香川県は瀬戸内に位置しており、本州と四国を繋ぐ交通の要所となっている。
資料	中国・四国地方の自然環境を表す地図、香川県の自然環境を表す地図、中国・四国地方（鳥取市、高松市、高知市）の雨温図、中国・四国地方の人口分布
見方・考え方	位置や分布、場所 〈問い〉「中国・四国地方のどこに、人口は分布しているのか。」

【単元を貫く問い】

中国・四国地方は、交通網が発達したことによって、どのように変化したのだろう。

○本州四国連絡橋

② 学習課題	本州四国連絡橋の開通によって、四国地方はどのように変化したのか。 【知】【思】
学習内容	本州四国連絡橋や高速道路の整備により、人や物の移動が活発になり、観光業も盛んになった。
資料	本州四国間の移動所要時間、本州四国連絡橋の自動車交通量、四国の経済効果
見方・考え方	空間的相互依存作用 〈問い〉「本州四国連絡橋の開通は、他地域との結びつきに、どのような影響を与えたのか。」

③ 学習課題	本州四国連絡橋の開通は、良い影響ばかりだったのか。 【知】【思】
学習内容	他地域への移動が便利になったことで、大都市に買い物に行く人が増えて地方都市の消費が落ち込み、経済が衰退した地域もある。
資料	本州・四国間の交流人口、宇高フェリーの便数の推移、四国地方の卸売販売額の推移
見方・考え方	空間的相互依存作用、地域 〈問い〉「なぜ徳島県の卸売販売額は、大幅に減少しているのか。」

○交通網の発達と産業

④ 学習課題	なぜ、瀬戸内を中心に工業が発達しているのか。 【知】【思】
学習内容	瀬戸内海沿岸は、海上交通や高速道路の発達によって、輸入や輸出が便利になり、工業が発展していった。
資料	瀬戸内工業地域の主な工業と出荷額、香川県の工業団地の分布図
見方・考え方	空間的相互依存作用、地域 〈問い〉「なぜ香川県の工業団地が、坂出市にあるのか。」

⑤ 学習課題	中国・四国地方の農産物は、どのようにして市場を広げてきたのか。 【知】【思】
学習内容	中国・四国地方では、多品種を生産したり、端境期をねらった栽培を行ったりして競争力を高め、市場を広げてきた。また、交通網の発達により、遠く離れた市場にも鮮度を保ったまま出荷できるようになった。
資料	高知県の農業産出額と野菜の輸送形態、東京へ出荷される野菜の量と価格
見方・考え方	空間的相互依存作用 〈問い〉「高知県の農産物は、どこに、どのような手段で輸送されているのか。」

○持続可能な交通網をめざして

⑥ 学習課題	瀬戸大橋は、どのように守られているのだろう。 【知】【思】
学習内容	瀬戸大橋は今年開通35周年を迎え、観光客をはじめ、通勤や通学などで多くの人が利用している。本州四国連絡高速道路株式会社は、瀬戸大橋を200年以上使えるようにすることを目標としており、日々点検を行いながら、維持管理をしている。
資料	瀬戸大橋の年表、瀬戸大橋の通行量と料金の推移、瀬戸大橋の建設費、J R四国瀬戸大橋線の利用者数と料金の推移、香川県観光客動態調査報告
見方・考え方	地域 〈問い〉「瀬戸大橋は、どのように維持管理されているのか。」

《本時》

⑦ 学習課題	瀬戸大橋の通行料金は、値上げをするべきなのか。 【思】【主】
学習内容	瀬戸大橋の通行料金は2014年に引き下げられ通行量も増加したが、その引き下げ措置が今年度で終了する予定である。通行料金の値上げに関して、それぞれの立場で様々な意見があり、これからも利用し続けるためには、考えていかなければいけない問題である。
資料	これまで授業で使用した資料とワークシート
見方・考え方	位置や分布、場所、空間的相互依存作用、地域 〈問い〉「瀬戸大橋の通行料金が変わると、どのような影響を受けるのか。」

【単元を学び終えたときの振り返りの例】

中国・四国地方は、地形や気候の特色から、山陰、瀬戸内、南四国の3つの地域に分かれ、地域の特色を生かしながら生活が営まれてきた。海に囲まれている四国地方は、3つのルートでそれぞれ本州と繋がっており、高速交通網の整備も進んでいるため、人々の生活をはじめ、工業や農業などの産業は交通網の発達からさまざまな影響を受けている。今回、中国・四国地方の学習を通して、交通網が発達することで各地域間の結びつきが強くなるだけでなく、産業にも大きな影響を与えると同時に、発達した交通網を維持し続けるには多額の費用もかかるため、経済を活性化させながら持続可能な社会を築くことは今後の私たちの課題だと感じた。私たち香川県民にとって大切な存在である瀬戸大橋をこれからも利用し続けるために、利用する私たちが自分事として問題の解決に取り組んでいかなければいけないと思う。

5 本時の学習指導

(1) 本時の目標

- ・ 瀬戸大橋の通行料金を値上げするべきかを、瀬戸大橋がもたらす中国・四国地方への影響や瀬戸大橋の建設費や管理費などについての資料をもとに、様々な立場から考えることができる。
- ・ 班や学級での議論を踏まえて、香川県民としての自らの考えをもつことができる。

(2) 学習指導過程

	学習内容および学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点および支援
見通し(7分)	1 前時までの学習を振り返りながら、瀬戸大橋が抱えている課題を知る。	・ 瀬戸大橋ができたことで、本州と四国間の行き来が便利になって、工業や農業などの産業にも大きな影響を与えていたよね。通行料金が値上げされたら、観光客が減ったり、物の値段が上がったりするんじゃないかな。	・ 瀬戸大橋の通行料金の引き下げ期間が今年度末で終了するため、今後の料金について議論が行われていることを説明し、学習課題へとつなげる。
探究(35分)	瀬戸大橋の通行料金は値上げをするべきなのか。		
	2 瀬戸大橋の通行料金について、どちらを選ぶべきか考える。	・ 現在の通行料金でも高いのに、値上げをしたら産業にも影響が出て、観光客も減ると思う。 ・ 瀬戸大橋の建設費や管理費を支払うためには、値上げをしなければいけないと思う。	・ タブレットPCで立場を提示し、すぐに考えることができるようにする。 ・ 資料の中で、自分が意思決定した決め手となる部分に赤線を書き入れ、根拠に基づいた話し合いができるように促す。
	3 指定された立場から、どちらを選ぶべきか考える。 (1) 個人で考える。 (2) 同じ立場同士で意見を共有する。 (3) 全体で議論する。	<香川県の工業団地の企業> ・ 値上げしない 原材料を仕入れたり、製造した製品を輸送したりするときに、瀬戸大橋を利用しているため。 <高知県の野菜農家> ・ 値上げしない 生産した野菜の輸送形態は、約95%がトラックで、本州への移動は瀬戸大橋も利用するため。 <香川県観光協会> ・ 値上げしない 香川県への観光客は、約40%が瀬戸大橋を利用して来県しているため。 <瀬戸大橋を維持管理する本四高速> ・ 値上げする 瀬戸大橋の建設費は道路部分だけで約6400億円。修理費は今後にも必要なため。	・ 資料の読み取りが難しい生徒には、机間指導をする際に、資料を読み取るためのヒントを与え、考えやすいようにする。 ・ 生徒が、どちらを選択したかが分かるように、立場の名前と「値上げする」「値上げしない」のカードを首から吊り下げ、議論が活発に行えるようにする。 ・ それぞれの立場で考えたことや、全体での議論を踏まえて、自分の考えを書くように助言する。
	4 全体での議論を踏まえて、香川県民の一員として、どちらを選ぶべきか考える。	・ 瀬戸大橋を使い続けたいから、未来のことを考えて値上げするべきだと思う。 ・ 今は値上げをせずに、現行の料金を5年間延長し、その間に通行量を増やす工夫や四国の魅力を発信したら良いと思う。	・ 生徒が思い描く未来の瀬戸大橋の在り方について確認しながら、意思決定へと繋げる。
振り返り(8分)	5 本時の振り返りをする。	・ どの産業においても瀬戸大橋は大切な存在であるため、通行料金の値上げは自分が思っていたよりも広範囲で影響が出ると感じた。瀬戸大橋を維持しながら、産業を更に発展させたり、観光客を増やしたりして四国を活性化させる方法を考えたい。 ・ 香川県民として未来に瀬戸大橋を残すとともに、これから先何年も使い続けるためには、何が最適かを考えていかなければいけない。	・ 本時の学習で、考えたことをワークシートに記入させ、授業への取組を評価する。 ・ 今後生活していくなかで、瀬戸大橋をこれからも使い続けたいという思いを大切にしてほしいことを伝える。

(4) 評価

- ・ 瀬戸大橋の通行料金を値上げするべきかを、瀬戸大橋がもたらす様々な資料をもとに、多面的・多角的に考えることができたか。
- ・ 班や学級での議論を踏まえて、香川県民としての自らの考えをもち、ワークシートに自分の言葉で書いたり、友だちに考えを伝えたりすることができたか。

第2学年3組 社会科 学習指導案

宇多津町立宇多津中学校 指導者 谷 優里

1 単元 幕藩体制による発展と転換 2 単元について

- (1) 本単元は、学習指導要領歴史的分野の内容 B 近世までの日本とアジア (3)近世の日本 (ウ)産業の発達と町人文化 (エ)幕府の政治の展開 を取り扱う。産業や交通の発達などをもとに、都市で町人文化、各地方で生活文化が生まれたことを理解できたり、社会の変化と幕府の政策の変化により、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解できたりすることを目標としている。

5代将軍綱吉以降は、国内の戦争状態が終結し、天下泰平の世の始まりとなった。幕府は年貢の増収を図るために新田開発を進め、農業生産力が向上した。これが商品作物の生産の増大や商工業の発展につながり、人々の経済活動の舞台となった都市が繁栄した。特に、全国からの物資の集積地となった大阪が繁栄し、上方の町人の成長を反映した元禄文化が栄えた。一方、貨幣経済の広がりの中で、米価が低迷する中、俸禄米を換金して生活する武士の生活は苦しくなり、幕府や藩も支出の増大などにより財政難に陥り、財政再建のための政策が求められるようになった。米価が高くなるのは凶作の年で、税収入を確保するために無理に年貢を徴収すれば、大規模な百姓一揆が発生してしまう。つまり、米を基盤とする年貢収入に依存する限り、幕府の収入は安定しないという状況が生まれていた。このように江戸時代中期は、江戸幕府の支配が安定し、飛躍的な経済発展が都市を中心にもたらされた一方、幕藩財政は貧窮し、再建が求められた時期としてとらえることができる。

江戸時代と現代社会にはいくつものつながりがある。江戸時代の文化は町人・庶民中心に花開いたことから、現代でも特産物や伝統文化、生活の知恵として親しまれている。また、江戸時代に幕府と諸藩が財政難を乗り越えるために苦労したように、現代社会でも多様な社会問題を解決するために様々な働きかけがなされている。このようなつながりに気付くことで、当時を生きた人々の暮らしや当時の社会の状況をただ遠い過去の出来事として捉えずに、今私たちがより良い社会を築こうとする時の手立てになると実感することができるだろう。このように江戸時代の生活の豊かさとその課題を学ぶことは、現代・未来社会を担い、生きていく生徒にとって大変有意義なものである。

- (2) 本学級は計34名である。話し合い活動の際には、積極的に意見を述べる生徒が多い。一方で、資料をもとに自分で意見をつくることに苦手意識をもつ生徒も一定数いる。そのため、班活動となると一部の生徒が多く発言し、他の生徒は受け身的に活動に参加している場面もよく見られる。また、事前アンケートで「もし宇多津町が住みにくい町 NO.1 になったら、あなたはどうしますか」という問いに対して、「他の市町に引っ越す」等の答えが約半分を占めた。対して、「住みにくいと思われる原因とその対策を考える」等と答えた生徒が約2割いた。これより、自分たちが住む町の問題に対して、自分たちも関わって解決しようとする意欲が低いと考えられる。
- (3) 以上を踏まえ、本単元の指導に当たっては次の点に留意したい。

- ① 「丸亀藩は、なぜ存続できたのだろうか。」という単元を通しての学習課題を通して、江戸時代前期の強固な幕藩体制づくりがもたらした政治安定の中で、日本各地で産業や交通路が発達し、生活文化が生まれたことを、身近な地域の藩財政にも着目して考察させる。
- ② 複数の資料やデータに基づいて、自分の意見をつくり、他の生徒の意見と交流することで、多様な見方や考え方を獲得し、幕藩体制の安定と課題について多面的・多角的に捉えさせる。
- ③ 授業の終末には振り返りシートで自己評価をする時間を確保し、自分の考えの変容や、授業を通して抱いた疑問などを記述させ、単元の中での歴史的事象の流れを意識させる。また、単元を通して丸亀藩の政策や江戸時代の生活の様子と現代の生活を比較させて、そのつながりを捉えさせる。

3 学習指導目標

- (1) 産業や交通の発達などをもとに、都市を中心として町人文化が形成され各地方にも広まり、貨幣経済の浸透など社会が変化したことにより、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。
- (2) 産業の発達と文化の担い手の変化などに着目して、社会の変化と幕府の政策の変化について近世の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。
- (3) 近世の日本についてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を身に付けさせる。

	観点	診断内容	メモ
授業開発力 (単元計画)	① 中心概念	<p>○中心概念(目標)＝江戸中期以降は、産業の発達や交通路の整備によって都市が発展したと同時に町人文化が各地へ広まり、豊かさが見られた。一方で、幕府や諸藩は度重なる飢饉や災害、貨幣経済の広まりによる出費の増大により財政改革に迫られ、米中心経済の限界に直面した。この社会の変化の過程を丸亀藩の特徴を切り口として多面的・多角的に考察することで、現代の生活とのつながりを感じさせ、より良い社会の実現を目指そうとする態度を身に付けさせる。</p> <p>○単元を貫く問い＝丸亀藩は、なぜ存続できたのだろうか。</p>	
	② 構造化	<p>江戸時代中期以降の出来事の羅列にならないように、単元の流れの軸に丸亀藩を用いることで、一単位時間ごとを結び付け、単元終結部(本時の授業)にて、単元全体を振り返りながら、単元を貫く問いを考察できるよう構造化した。</p>	
	③ 教材の発掘・開発	<p>江戸中期以降の社会の特徴と変化を、江戸幕府や江戸の町の様子から捉えるだけでなく、小藩にもかかわらず不安定な時代を生き抜いた丸亀藩の特徴をふまえて考えることで、江戸時代の出来事をより身近に感じられるように工夫した。例えば、新田開発や綿や塩、うちわなどの特産物の生産、金毘羅参りやこんびら歌舞伎の流行といった文化など、丸亀藩の特徴を随所に取り入れるようにした。</p>	

B 近世までの日本とアジア
(3) 近世の日本
(ウ) 産業の発達と町人文化
(エ) 幕府の政治の展開

江戸中期には産業の発展や交通路の整備によって、貨幣経済が農村にも広まり、経済的に豊かになった上方町人中心の、庶民に寄り添った文化が発展した。一方で幕府や諸藩は財政改革に迫られ、米中心経済の限界が見られるようになった。

① 学習課題	丸亀藩は、なぜ存続できたのだろうか？	【知】
学習内容	丸亀藩は外様大名が納め、約5万石の石高をもつ小藩である。約260年存続してきた藩の数は550藩中約100藩であり、ここに丸亀藩が含まれる。丸亀藩は小藩にもかかわらず存続できた理由を考えていく。	
資料	丸亀藩の地図、諸藩の存続時期データ	
見方・考え方	原因	

<単元を貫く問い> 丸亀藩は、なぜ存続できたのだろうか。

② 学習課題	産業の発達は、人々の生活に何をもたらしたのだろうか。	【知】【思】
学習内容	新田開発や農具の改良によって生産効率が上がり、農業生産が増加したため余剰が生まれた。その余剰を売って肥料を購入したり、時間の余裕を商品作物の生産にあてたりするようになった。結果、諸作物の価格は上がり、米価は下がっていった。	
資料	耕地面積と石高の移り変わり、老農夜話、丸亀うちわ、讃岐三白	
見方・考え方	変化、影響	

③ 学習課題	交通の発達は、人々のくらしをどう変えたのだろうか。	【知】【思】
学習内容	陸路や海路が整備され、人や物の流れがスムーズになった。特に大阪は物流拠点となり、東京や京都とともに三都と呼ばれるまでに発展し、人口も増加した。各地に宿場町や門前町が発展し、交易船も活躍した。	
資料	菱垣廻船の出帆、街道と海路の地図、北前船、こんびら街道、丸亀湊、こんびら船	
見方・考え方	変化、展開、影響	

④ 学習課題	人々の交流から生まれたものは何だろうか。	【知】【思】
学習内容	元禄文化は諸藩の産物が集められた上方を中心にして発展した。町人の華やかさが表れている。化政文化は庶民の娯楽や生活の知恵が江戸中心に広がり、各地でもその地域に合った生活文化が生まれた。	
資料	東海道五十三次、曾根崎心中、浮世絵、特産物相撲番付	
見方・考え方	類似、差異、特色	

⑤ 学習課題	幕府や藩は何に困ったのだろうか？	【知】
学習内容	江戸中期以降、幕府や諸藩は、火災や飢饉の影響で復興のための支出が多くなる反面、新田開発のピークをむかえたことや災害による不作から年貢収入は減少し財政難に陥る。幕府や諸藩はその対応に追われることになる。	
資料	貨幣改鋳の変遷、明暦の大火、百姓一揆や打ちこわしの件数	
見方・考え方	原因、結果	

⑥ 学習課題	吉宗の政策は財政を立て直せたのだろうか。	【知】【思】
学習内容	徳川吉宗は、倹約を命じて支出を減らしたり、米の増収をねらって上米の制をだして収入を増やしたりした。あくまで農業を中心とした政策を行い、一時的に財政は安定したが、長くは続かず後世に課題を残した。	
資料	からかさ連判状、町火消、打ちこわしの様子	
見方・考え方	展開、特色	

⑦ 学習課題	田沼や松平はどのような政策を行ったのだろうか。	【思】
学習内容	田沼は商工業を活性化させ、商人から税を得て財政安定を図った。松平は天明のききんの被害を受け、農村での米の備蓄を推進したり、倹約を命じて支出を減らしたりすることで安定を図った。	
資料	唐蘭館絵巻、昌平坂学問所、狂歌	
見方・考え方	特色、差異、影響	

⑧⑨ 学習課題	丸亀藩はどのように財政難を切り抜けたのだろうか。	【思】【主】
学習内容	丸亀藩は、倹約令や奢侈令を出して支出を抑えるだけでなく、収入面で米が育ちにくい環境を考慮したため池工事や、金毘羅参詣のための観光業とうちわの生産を奨励したことで藩財政を立て直した。	
資料	諸藩の財政政策、丸亀藩の基本データ	
見方・考え方	類似、差異、特色、時代や年代	

<単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例>

丸亀藩は、新田開発などによる米の増産だけでなく、庶民の間で流行していた金毘羅参りに目を付けて、海路や湊を整備して参拝客の増加を図ったり、土産物としてうちわの生産を藩内に勧めたりしたことで、貨幣の収入を得たため、財政難を乗り越えて存続することができた。

単元を通して、丸亀藩は自分たちの地域の特徴や強みを生かして政策を考え、困難を乗り越えていったことが分かった。授業の内容は江戸時代の出来事だけれど、当時の人の行動や考えには、現代の私たちの生活にも通ずるところがあると思った。もし今後、宇多津町が消滅可能性都市と呼ばれるようになって存続が危ぶまれたとしても、私たち住民がこの町にあったアイデアを出し合って、解決していけたらいいと考えた。

4 本時の学習指導案

(1) 目標

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
資料をもとに、丸亀藩に適切な財政政策を考察することができる。	江戸時代の様子と現代の生活のつながりを見つけようとしている。

(2) 学習指導過程（1/2時間目）

学習内容及び学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援活動や留意点
1 丸亀藩の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 丸亀藩も財政難だったのか。 なんで丸亀藩は小藩なのに存続できたのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の幕府政治のように、丸亀藩も財政難に陥っていたことを押さえる。単元を貫く問いや、単元を通して作成した丸亀藩基本データを振り返りながら、学習課題につなげる。
丸亀藩はどのように財政難を切り抜けたのだろう。		
2 学習課題を設定する。		
3 予想する。	<ul style="list-style-type: none"> 米を蓄えたのかな。 特産物の生産かも。 	<ul style="list-style-type: none"> 予想しにくい生徒には、前時までの幕府の財政政策に手がかりがないかを考えさせる。
4 丸亀藩の財政政策を考える。 (1) 資料を読み取る。 【4人班】 ① 仙台藩：「米増産型」 米を特産物として収入を得た。 ② 桑名藩： 「観光繁栄型」 伊勢神宮参詣で宿場町が発達した。 ③ 徳島藩： 「特産物奨励型」 特産物の税収で潤った。 ④ 長岡藩： 「物流重視型」 新潟湊での物流で収入を得た。 (2) 政策の内容を書く。 【個人】	<ul style="list-style-type: none"> 米を多く作ることが出来ればお金に換えられるのか。丸亀藩はよく干ばつになるので合わないかなあ。 伊勢神宮みたいに、金毘羅宮の門前町もうまく使えないかな。 丸亀藩なりの特産物を極めたらどうだろう。 丸亀は海運に恵まれているし、大阪にも近いから多くの物が売れるんじゃないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の藩の財政政策を例に出し、どのような政策が丸亀藩にも応用できそうかを考えさせる。 石高や藩主、気候や土地の特徴など丸亀藩の基本データの条件の中での政策を考えさせることで、政策が飛躍しすぎることがないようにさせる。 瀬戸内海を利用した交通路の充実、塩や綿などの特産物の生産、金毘羅宮参りや歌舞伎の娯楽などが諸藩の政策と結びつけられるように、机間巡視中に「この政策は丸亀藩でもできることかな。」と問いかけをする。 政策内容は具体的にワークシートに書かせる。その時、諸藩の政策が根拠となるように記述させる。諸藩の政策という枠の中で自由に考えられるように、複合型でも良いことなどを助言する。
<p>評価【思考・判断・表現】 資料を活用して、丸亀藩に適切な財政対策を考察し、ワークシートに記述することができる。</p>		
5 本時の授業を振り返る。		<ul style="list-style-type: none"> 次時には、班に分かれて政策を決定し、発表することを伝える。

学習内容及び学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援活動や留意点
<p>1 丸亀藩の財政政策をつくる。 【4人班】</p> <p>(1) 各班で意見をまとめる。</p> <p>(2) ホワイトボードに記述する。</p> <p>(3) 発表し、意見交流をする。</p> <p>2 実際の丸亀藩の政策を提示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (例)「特産物重視型」 徳島藩の藍のように、塩や綿、うちわの生産を多くして海運を利用して大阪に売りに行き、収入を増やす。 ・ (例)「米の増産型」 米の生産を増やさないと生活が苦しくなるから、新田開発で生産量を増やし、余れば大阪に売りに行けばお金になると思う。 ・ (例)「観光業中心型」 伊勢神宮のように丸亀藩には金毘羅宮があるから、観光客を増やして湊町や門前町を栄えさせればよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前に生徒の意見を集約しておき、似た内容の人と班を組ませる。自分なりの根拠を班員に伝えたのちに、各意見の共通点を見つけさせ、ふさわしい政策名を考えさせる。 ○ ホワイトボードには「〇〇型」というようにオリジナルで考えた政策名のみを書かせ、他班の生徒の興味を持たせやすくする。 ○ 発表の時には根拠を明確にするよう伝える。発表後は他の生徒に対して、政策内容に納得できるかできないかを問うことで、生徒自身の意見で話し合いを進められるよう配慮する。 ○ 丸亀藩に適した政策かどうかを確認させるために、〇〇藩を選ばなかった理由などを問、考えを深めさせる。 ○ 教師は特に、米の増産を中心にした班の意見とそれ以外の意見を明確にしておく。江戸幕府の主要な収入源は米であるのに、財政を立て直すためにはお金が必要であるという矛盾に気付かせる。
<p>丸亀藩は干ばつや洪水の災害によく見舞われていたため、年貢を増やす政策だけでなく、金毘羅宮への参詣ブームを生かして土産物のうちわの生産を奨励するなどして、藩財政を立て直した。</p>		
<p>3 単元の学習について振り返る。 【個人】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上手く商売をすることで立て直したのか。 ・ 農村にも貨幣が出回っていたから、米の収入だけでは藩の経済は成り立たないよね。 ・ 丸亀藩は米の生産だけでは成り立たないと気付いたから、自分たちの強みを見極めて、困難を乗り越えていったんだ。 ・ これから自分が暮らしていく社会のためにどんなことができるだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「丸亀藩の政策と自分たちが考えた政策の共通点は何だろう」と問うことで、「米でなくお金を得るための政策である」という共通点を見つけさせ、米中心経済の限界性に気付かせる。 ○ 丸亀藩が米重視の政策にしなかった理由を問うことで、干ばつなどの災害の多い丸亀藩には米の増産は適していなかったことや、米収入が増えると米価が下がり、儲けが出ずに武士階級の給料も減ることを確認する。 ○ 単元の初めに示した「消滅可能性都市」の話題を再度取り上げ、江戸時代と現代の共通点に気付かせる。 ○ 争いのない世の中でも政治や生活面で困難は生じることや、いつの時代も市民や社会の状況に合わせた政策が必要だという共通点に気付かせ、今後の生活に生かせることを考えさせる。 <div data-bbox="863 1962 1474 2119" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価【主体的に学習に取り組む態度】 江戸時代と現代の政治や人々の生活につながりがあることに気づき、振り返りシートに記述することができる。</p> </div>

第3学年1組 社会科 学習指導案

宇多津町立宇多津中学校 指導者 谷 優里

1 単元 第二次世界大戦と日本

2 単元について

- (1) 本単元は、学習指導要領歴史的分野の内容 C 近現代の日本と世界 (1)近代の日本と世界 (カ)第二次世界大戦と人類への惨禍 を取り扱う。経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などをもとに、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解し、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であると気づかせることを目標としている。

第一次世界大戦の反省を生かしきれず、世界恐慌を皮切りにして広まった世界経済の混乱によって、“持つ国”と“持たざる国”の目標にズレが生じるようになる。各国の対立は深刻化し、国際協調の考えからはかけ離れたファシズムの台頭もあって、世界は第二次世界大戦へと進んでいく。日本も例外ではなく、昭和恐慌や天候不順により失業者や飢えに苦しむ人が増加して国民には不安と政府への不満が広がった。そして政党政治の行き詰まりから軍部勢力が強くなり、恐慌の解決口を中国や東南アジア侵略に求めるようになった。

20世紀までの長い間人類は、人権、自由、平等、個の尊厳、民主主義などを追求し発達させてきたが、その思いとは裏腹に、二度の世界大戦を経て多大な犠牲を伴ってきた。そして21世紀の現在もなお、第三次世界大戦を想起させるような戦争が起こっており、現代の生徒にとって戦争は過去のことではなく、身近なものになっている。今改めて戦争が起こる要因を考察し、戦争を防ごうとする意欲を生徒自身に持たせなければ、平和な未来社会の構築は難しくなるだろう。改憲問題も大きな論点になっている今、国際協調と国際平和の実現の重要性について考えることは、未来社会を担う生徒にとって大変有意義であると考えられる。

- (2) 本学級の生徒は計30名である。「歴史の授業は好きですか」という質問に対して、約7割が肯定意見を持っており、現代人との考え方の違いや歴史上の人物の活躍を知ることが面白いと感じている生徒が多くいる。一方で、「覚えることが苦手だから」という理由で、歴史分野を苦手と感じている生徒もいる。また社会の授業で「自分の考えを持つことができているか」「自分の考えを発表することができているか」という質問になると、全体的に肯定意見が減少している。このことから、「歴史は覚えるものである」という意識から、自分の考えを持って、自信をもって発表することに繋がっていない生徒が多くいるのではないかと考える。

また、先月沖縄への修学旅行を終えている。学級の生徒の大半が、平和祈念資料館やガマでの経験を経て改めて戦争による被害の大きさと残酷さを実感し、「人間が人間でなくなるような、辛い思いをする戦争を二度と繰り返してはいけない」という思いを強く持っている。

- (3) 以上を踏まえ、本単元の指導に当たっては次の点に留意したい。
- ① 「戦争を繰り返さないために必要なことは何だろう」という単元を通しての学習課題を通して、戦争が起こった理由やその影響を、世界の動きと日本との関連に着目して考察させる。
 - ② 複数の資料やデータをもとに、班での話し合い活動を取り入れることで、多様な見方や考え方を獲得し、戦争の原因について多面的・多角的に捉えさせる。
 - ③ 授業の終末には振り返りシートで自己評価をする時間を確保し、自分の考えの変容や、授業を通して抱いた疑問などを記述させ、単元の中での歴史的事象の流れを意識させる。

3 学習指導目標

- (1) 昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などをもとに、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍をもたらしたことを理解させる。
- (2) 経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、第二次世界大戦と人類への惨禍について近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。
- (3) 戦争と日本について、そこで見られる課題を主体的に追究し、平和を希求する態度を身に付けさせる。

観点		診断内容	メモ
授業開発力 (単元計画)	① 中心概念	○中心概念(目標)＝昭和初期からの日本が、経済の混乱から軍部が台頭し、国際社会から孤立を強めたことで太平洋戦争へと突き進んでいったという過程を多面的・多角的に考察することで、今後同じような惨禍を繰り返さないために、国際協調と国際平和の実現を目指そうとする態度を身に付けさせる。 ○単元を貫く問い＝戦争を繰り返さないために必要なことは何だろう	
	② 構造化	経済の混乱や政党政治の行き詰まり、軍部の台頭など日本の転換期となる出来事のあとに、「(この時の)日本の選択についてどう考えるか」と問いかけることで、最後の1時間での「戦争のターニングポイント」を捉えやすくする。	
	③ 教材の発掘・開発	ロシアとウクライナの戦争状況を授業の随所に取り入れ、共通点を見つけさせることでより身近な問題として意識させる。	

C 近現代の世界と日本
(1) 近代の日本と世界
(カ) 第二次世界大戦と人類の惨禍

日本は国内経済の混乱により政党政治が行き詰まり、軍部が台頭する。中国や東南アジアへの侵攻、国際連盟脱退という動きは国際社会からの孤立を進めた。結果太平洋戦争が起り、日本国民だけでなく人類全体が大きな惨禍を被ることとなる。

<単元を貫く問い> 戦争を繰り返さないために必要なことは何だろう

	経済	外交	政治
学習課題	① ②世界恐慌は各国にどのような影響を及ぼしたのだろうか。【知】		
学習内容	各国で異なる経済対策が行われた。“持つ国”は保護経済で立て直したが、“持たざる国”ではファシズムが台頭した。また社会主義経済のソ連は恐慌の影響を受けず、世界2位の工業大国となった。		
資料	植民地支配地図、ナチスの映像		

学習課題	③ 恐慌後、日本が選択するべき道は何だろう。【知】【思】
学習内容	(例) 日本は植民地拡大ではなく、軍備縮小をして欧米との関係性を良く保ち、国内産業の発展に力を入れるべきだ。まずは軍備拡大をして、満州国での資源を有効に使って不景気を乗り越えるべきだ。
資料	新聞記事、欠食孤児の様子

学習課題	④ 日本が選択した道は何だったのか。【知】【思】
学習内容	五・一五事件などを通して政党政治が行き詰まり、軍部が台頭して、満州事変に関する採択を否定し国際連盟を脱退したことで、国際的な孤立を深めていった。
資料	満州国地図、傀儡政権図、国連脱退を報じる新聞

学習課題	⑤ 日中戦争がもたらしたものは何だろう。【知】
学習内容	予想以上に戦争は長期化したため、総力戦と形を変えて行ったために、国民は戦争優先で物資不足に悩まされるようになった。
資料	当時の広告、衣料切符

学習課題	⑥ 第二次世界大戦が日本に与えた影響とは。【知】
学習内容	ドイツが優勢に戦いを進めフランスを降伏させたため、ドイツやイタリアと軍事同盟を結び、日本は北印進駐をし、再び国際的に非難を浴びることとなった。
資料	アンネの日記

学習課題	⑦ 日本はなぜ太平洋戦争を始めたのだろうか。【知】【思】
学習内容	日本は大東亜共栄圏の建設を掲げ、侵略的行為を止めなかったため、ABCD包圍陣による経済制裁を受ける。石油禁輸を受け、東条内閣は真珠湾攻撃とマレー半島への侵攻を決める。
資料	日米の軍事力の差、大東亜共栄圏の地図、真珠湾攻撃の映像

学習課題	⑧ 国民はどのように戦争と生きたのだろうか。【思】【主】
学習内容	学徒出陣や勤労動員により国民が総動員で戦争に協力し、空襲がひどい都市では集団疎開が行われた。戦争優先の生活のため、物資不足は深刻で、戦争の影響は国民の生活の隅々まで及んだ。
資料	当時の広告、戦争経験者の証言映像、祖母の映像

学習課題	⑨ 第二次世界大戦はどのように終わったのだろうか。【思】
学習内容	連合国側の経済力と軍事力が枢軸国側を上回るようになり、イタリアとドイツが続いて降伏した。日本はサイパン島陥落をきっかけに本土への攻撃が増え、国民の犠牲者が急増し、原子爆弾投下も相まってポツダム宣言を受諾、玉音放送で国民に終戦が伝わった。
資料	当時の広告、原子爆弾に対する各国の反応

学習課題	⑩ 戦争へのターニングポイントは何だろう。<本時> 【思】【主】
学習内容	(例) 私は、戦争へのターニングポイントは世界恐慌であると考えている。日本国内に経済混乱を招いたのは、日本が他国に比べて市場・資源・労働力・土地を持たない国であり、日本だけでは経済の立て直しを計りにくかったからだと考えている。解決策を植民地の拡大に見出す結果になってしまい、軍部が台頭してその後国際的に孤立していくので、ターニングポイントだと言える。
資料	①～⑨に関わる資料

<単元の学習を終えたときの生徒の姿>
 世界では経済の混乱から各国が自国を守るように対策をとったため、資源や土地・労働力を持たない国からファシズムが台頭することになった。また日本は、中国への侵攻や国際連盟の脱退、さらには東南アジアへの侵攻といった動きをとったので、国際社会から孤立してしまい戦争へと向かってしまった。このことから、各国が植民地支配を無くすこと、各国が領土を広げようとする動きを無くすこと、そして自国中心の考え方を無くして協力し合うことで、大きな対立を防ぐことができると思う。

4 本時の学習指導案

(1) 目標

思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本が戦争へ向かった原因を多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現することができる。	戦争のない未来社会を創りたいという意欲を高め、その具体案を創造することができる。

(2) 本時の工夫点

- 戦争へのきっかけを探る学習課題にすることで、単元を振り返りながら意見をつくることができ、単元を貫く問いを考えやすくする。
- 複数の戦争の要因の中でも、自分たちが一番重要と考えるものを主張できるように、円グラフを用いて表現させる。

(3) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	教師の支援活動や留意点
1 年表を確認する。 2 学習課題を設定する。	○ 第一次世界大戦後からの日本や世界の動きを復習する。
日本が戦争へ向かったターニングポイントは何だろう。	
3 予想する。	○ 自分が特に重要だと思う原因を絞らせる。またその理由を、これまでの学習内容に基づいて記述させる。
4 資料を提示する。 ① 資料から読み取れることを記入する。	○ 予想しづらい生徒には、年表を確認して気になる出来事を選び、教科書やノート等で調べさせる。 ○ 意見が多いと思われる「世界恐慌・昭和恐慌」「満州事変、国際連盟脱退」「五・一五事件、二・二六事件」の資料を用意し、各班にすべて配布する。
② 各要因が、戦争への影響をどれだけ与えたかを考えさせる。	○ 資料プリントに読み取れることを記入しながら、政治・経済・外交・国民の生活など、多面的に戦争が起こった要因について考察させる。 ○ 班活動を用いて他者の意見を聞くことで、自分とは違う解釈の仕方に気付かせる。
5 単元を貫く問いに取り組む。	○ 円グラフを用いて、どの要因がより戦争へのターニングポイントになったかを班ごとに表現させ、全体で発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">評価【思考・判断・表現】 戦争の原因を多面的に考察し、その理由を、根拠を明らかにして記述することができる。</div>
6 本時の授業について振り返る。	○ 現在も起きている戦争についても触れて、身近な出来事・課題であることを実感させる。戦争をしないために何が必要なのかを考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">評価【主体的に学習に取り組む態度】 ターニングポイントの考察をもとに、戦争のない未来社会を創る方法を自分なりに考えようとするすることができる。</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例) 私は、戦争へのターニングポイントは世界恐慌であると考えている。日本国内に経済混乱を招いたのは、日本が他国に比べて市場・資源・労働力・土地を持たない国であり、日本だけでは経済の立て直しを計りにくかったからだと考えている。解決策を植民地の拡大に見出す結果になってしまい、軍部が台頭してその後国際的に孤立していくので、ターニングポイントだと言える。恐慌後の日本は、苦しい生活の最中ではあったが、国内産業の発展を見越して地道な努力を重ね、経済復興を待つべきだったと思うし、できれば他国との経済協力ができていれば結果は変わったのではないかと思う。</p> </div>	

高松・木田・香川

—瀬戸内海とのかかわりから見る中国・四国地方—

高松市立香東中学校 指導者 岩瀬 寛明

I 単元の構造図

C 日本の様々な地域
(3) 日本の諸地域
中国・四国地方

中国・四国地方は温暖な気候に加えて、瀬戸内海という地理的特徴をもち、あらゆる産業の発展を支えている。近年では本州・四国連絡橋の完成もあり、他地域との結びつきを強めている。

① 中国・四国地方の気候や地形にはどのような特徴が見られるのだろうか。【知】

《見方・考え方》 位置や分布

(問い) 地形や位置によって、どのような環境が作られているのだろう。

《学習内容》 中国・四国地方は中国山地、四国山地を境に気候が異なっている。加えて瀬戸内海が人々の生活に密接に関わっている。

《単元を貫く問い》 瀬戸内海は私たちの生活にどのように関わっているのだろうか。

② 本州四国連絡橋の開通は人々に何をもたらしたのだろうか。【知】【思】

《見方・考え方》 空間的相互依存作用 (問い) 瀬戸大橋の開通で人々の生活はどう変化したのだろうか。

《学習内容》 交通の整備で人やモノの移動が活発になり、地域間交流の幅も広がった。

《資料》 本州四国連絡橋の写真、本州への所要時間、高速道路分布

③ (本時) なぜ瀬戸内海周辺にはたくさんの工場が集まっているのだろうか。【知】【思】

《見方・考え方》 位置や分布 場所

(問い) 工場の設置に必要な条件について考えてみよう。

《学習内容》 埋め立てや海運の面で、瀬戸内海を有効に活用することで、他地域からの工場移転が進んでいる。

《資料》 工業製品の写真、工場の分布図、地形図、空中写真

④ 地域の特性を生かして、どのような農業や漁業が行われているのだろうか。【知】【思】

《見方・考え方》 空間的相互依存関係

(問い) なぜ香川県ではハマチをはじめとした養殖業が盛んなのだろうか。

《学習内容》 温暖な気候を生かし、出荷時期をずらした作物の大都市への出荷や、波が穏やかな瀬戸内海を利用した養殖がさかんである。

《資料》 瀬戸内の雨温図、養殖業の出荷量グラフと生産物写真、安戸池の空中写真

⑤ 地域のよさを全国に知ってもらう方法を考えよう。【思】【主】

《見方・考え方》 空間的相互依存関係 (問い) なぜ過疎が進んでいってしまうのだろうか。

《学習内容》 過疎という現実と向き合いながら、豊富な産業、交通網の発達や自然環境を武器とした瀬戸内国際芸術祭のような大規模な地域おこしが行われ、魅力の発信につながっている。

《資料》 老年人口割合、瀬戸内国際芸術祭の写真資料、中四国地方への来県者数の推移

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

中国・四国地方は瀬戸内海を有し、漁業だけでなく農業や工業の発展も支えられている。瀬戸大橋を含めた交通の便が発達し、豊かな自然を強みとした大規模イベントを通して地域の魅力を発信している。

Ⅱ 学習指導課程 (○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 []評価方法)

学習内容および学習活動	指導上の留意点および支援
<p>1 夜景の写真を見て、何の光が集まっているのかを考える。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p>	<p>○ 導入部分にふさわしい写真の選定、提示の方法に工夫する。本時では電子黒板での一斉提示とする。</p>
<p>なぜ瀬戸内海周辺にはたくさんの工場が集まっているのだろう。</p>	
<p>3 瀬戸内工業地域の生産内訳を確認し、どんな工業製品が生産されているか確認する。</p> <p>4 ワークシートに瀬戸内で生産される工業製品を示し、どこで作られているものか確認する。</p> <p>5 工場設置に必要な条件を予想し、瀬戸内海周辺が工場の立地に適している理由をそれぞれの観点から考える。</p> <p>○ 工場の面積確保</p> <p>○ 海運の利用</p> <p>6 学習内容の振り返りとして、映像を視聴する。</p> <p>7 学習課題に対するまとめを文章で表現する。</p>	<p>○ 既習事項の振り返りも兼ねて、瀬戸内工業地域の特徴を挙げるようにする。(輸送機械、化学、繊維)</p> <p>○ 2の学習活動で挙げた工業製品が具体的にどのようなものかイメージできるように、写真資料を準備する。</p> <p>○ 地形図を準備し、工場の位置を確認する。地形図は坂出市の番の州のものを利用する。</p> <p>○ 現在と過去の空中写真を重ね合わせ、工場が埋め立てによって建設されていることを確認する。</p> <p>(1961年～と1974年～、1974年～と現在)</p> <p>○ 瀬戸内海に焦点を当て、重い工業製品の運搬には海運が便利であること、穏やかな内海であり、船が着港しやすいことにも着目させる。</p> <p>○ NHKの視覚教材を利用し、学習内容の振り返りを通して、知識の定着を図る。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 瀬戸内の工業は、繊維・化学工業・輸送用機械が特に発展しており、埋め立てによる工場用地の確保や海を利用した製品の輸送の面で瀬戸内海という地理的特徴に大きく支えられている。</p> <p>[ワークシート]</p>

開国と幕府の終わり

－江戸幕府終わりへのカウントダウン、そして未来へ－

高松市立一宮中学校 指導者 榎下 滋

I 単元の構造図



《単元を貫く問い》江戸幕府が終わりをむかえた理由から、安定した時代に必要なものはなんだろうか？

外交		自然災害		財政	
学習課題	① 欧米諸国の来航は、江戸幕府にどのような影響を与えたか？	学習課題	② 飢きんや財政悪化が、江戸幕府にどのような影響を与えたか？		
学習内容	欧米諸国の来航に対して、対応したが、アヘン戦争を受け、外交を変えていくことになった。	学習内容	飢きんにより、財政が悪化する中で、江戸幕府は、天保の改革を行うが、大名や商人などの反発を受け、失敗した。藩の中には、独自に改革を進め、成功する藩も出てきた。		
資料	アヘン戦争の資料、外国船の来航、異国船打払令、天保の薪水給与令	資料	百姓一揆や打ちこわしの件数、工場制手工業、諸藩の改革		
見方・考え方	背景、原因、影響	見方・考え方	変化、原因、影響		
評価	【知】欧米諸国の来航が江戸幕府にどんな影響を与えたかを理解できたか。〈発問、ワークシート〉	評価	【知】【思】飢きんや財政悪化が与えた影響について理解し、諸藩の改革とどのようにつながっているかを、考えることができたか。〈発問、ワークシート〉		

学習課題	③ ペリー来航が江戸幕府にどのような影響を与えたか？
学習内容	天保の改革が失敗やペリー来航による今までにない対応を迫られたことで、条約を結び、開国へと進んでいった。不平等条約を結んだ外交に対して、反対するものも出てきたため、尊王攘夷の考えが広がっていった。
資料	日米和親条約、日米修好通商条約、開港後の物価の変化
見方・考え方	時期、展開、差異、影響
評価	【知】【思】ペリーらの来航によって、江戸幕府が開国したことを理解し、その影響について考えることができたか。〈発問、ワークシート〉

学習課題	④ 江戸幕府は、どのように最後をむかえたか？	学習課題	⑤ 江戸幕府終わりへとカウントダウンを進めていったものは、なんだろうか？《本時》
学習内容	攘夷の考え方だった長州藩や薩摩藩も攘夷は難しいと悟り、路線を変更し、倒幕へと動き始めた。15代将軍徳川慶喜が幕府だけでは政治を行うことは難しくなったと考え、天皇に政権の返上を申し出た。天皇中心の新政府の成立となった。	学習内容	江戸幕府終わりへの原因を3つのキーワードを中心にまとめ、班ごとに発表し、意見交流を行う。江戸幕府終りの原因をまとめることで、安定した時代を長く続けていくための方法を自分なりに考え、今後の学習に生かしていく。
資料	長州藩の下関砲台、倒幕運動の資料、戊辰戦争	資料	①～④で活用した資料、タブレットを利用して調べた資料
見方・考え方	背景、原因、結果、影響	見方・考え方	年代、変化、背景、原因、結果、影響
評価	【知】どのように江戸幕府が滅亡したのかを理解できたか。〈発問、ワークシート〉	評価	【思】【主】江戸幕府終わりへとカウントダウンを進めていったものを、資料をもとにまとめることができたか。また、原因をまとめることで今後の歴史学習に生かそうとする姿勢が見られたか。〈発問、ワークシート〉

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

安定していた江戸幕府が終わりをむかえる原因は、欧米諸国の接近や自然災害による飢きんが引き起こした財政悪化などがあげられる。安心して生活を送ることができなくなり、多くの人々も新しい時代が来ることを望むようになったと考えられる。また、時代が終わる原因を考えることで、長く時代を維持していくために必要か、今後の歴史学習に生かしていける。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

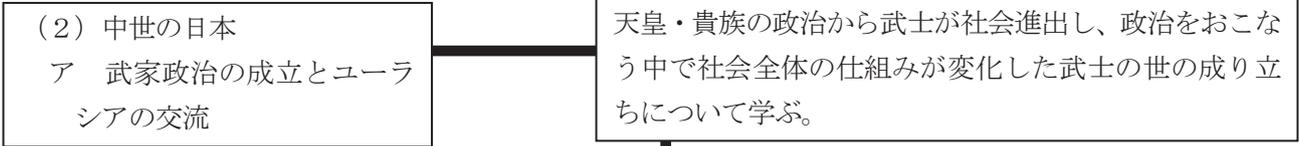
学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
1 前時までの復習をする。 2 本時の学習課題を把握する。	○ 江戸幕府が滅亡し、天皇中心の新政府が成立したことを復習する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">江戸幕府終わりへとカウントダウンを進めていったものは、なんだろうか？</div>	
3 予想する。 (1) 3つのキーワード（外交・自然災害・財政）から考える。 (2) 班ごとにワークシートにまとめる。 ・教科書やノートの資料を使って、まとめる。 ・ワークシートのタイマーに分かりやすくまとめる。 4 意見交流をする。 5 本時の授業について振り返る。	○ 前時までの学習で自分の中で、幕府滅亡のポイントを考えさせる。 ○ 机間巡視を行い、補助発問をする。 ○ ワークシートを配布し、3つのキーワードに絞らせて、まとめさせる。 ○ 個人で考えたものを、班で共有し、タイマーに示して説明できるように話し合いをさせる。 ○ 交流する時、他の班に分かりやすく説明する工夫も班で話し合いさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">思考・判断・表現</div> ● 資料を活用し、幕府終わりへとカウントダウン進めたものを、まとめることができる。[ワークシート] ○ 各班でまとめたものを、電子黒板で示し、班ごとに説明をさせる。 ○ 他の班の発表を、ワークシートにメモをとりながら聞き、質問できるように指示する。 ○ 3つのキーワードが絡み合っていることに気付かせる。 ○ 長く続いていた江戸幕府終りの原因を考え、まとめることで江戸時代を体感させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">主体的に学習に取り組む態度</div> ● 江戸幕府終りの原因をまとめることで、安定した時代が長く続くための方法を自分なりに考えようとする事ができる。[ワークシート]
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;">江戸幕府終りの原因は、大きく3つのキーワードで説明することができる。外交・自然災害・財政でまとめることができる。幕府終わりへのカウントダウンを進めていったものは、それぞれがキーワードにある事柄で、江戸幕府にとって苦しい状況に陥ってしまったことだと考えられる。安心感を求めて、人々は新しい時代を望むことも理解できる。安定した時代を続けていくためには、3つのキーワードにおいて、それぞれ日本政府がコントロールできる状況にあることが大切ではないかと、考えた。</div>	

武士の世の始まり

—鎌倉幕府の政治—

香川県立高松北中学校 指導者 尾野 新児

I 単元構造図



【単元を貫く課題】 武家政権はどのような社会の変化をもたらしたのだろうか。

学習課題	武士はどこから生まれ、どのように力をつけていったのだろうか。
見方・考え方	各地の紛争を解決する中から武士が現れ、力を付けたことを考察する。
学習内容	・ 荘園の支配・武士団・源氏・兵士・平将門・藤原純友
資料	・ 荘園支配者の館・武士団のしくみ・武士団と各地の争乱
資質・能力	【知】【思】

学習課題	武士はなぜ政治の実権を握ることができたのだろうか。
見方・考え方	平清盛が権力を握ることができた理由を考察する。
学習内容	・ 院政・平清盛・保元の乱 ・ 源頼朝・平治の乱 ・ 平氏の政治・日宋貿易
資料	・ 平氏と源氏の系図 ・ 東アジアと平氏の支配領域 ・ 源平の争乱
資質・能力	【知】・【思】・【主】

学習課題	鎌倉幕府は、どのように武士を支配したのだろうか。
見方・考え方	承久の乱との関りより、幕府の政治の確立を考察する。
学習内容	・ 守護・地頭・鎌倉幕府 ・ 承久の乱・執権政治 ・ 御成敗式目
資料	・ 矢を射る訓練をする武士 ・ 北条政子の言葉 ・ 御成敗式目
資質・能力	【知】・【思】・【主】

学習課題	鎌倉時代には、どのような特色をもった文化が生まれたのだろうか。
見方・考え方	武士の気風に合った文化の特色を文化財などを通して考察する。
学習内容	・ 東大寺南大門・金剛力士像・平家物語・新古今和歌集・鎌倉仏教
資料	・ 東大寺南大門・金剛力士像・琵琶法師・踊り念仏
資質・能力	【知】・【思】

〈単元の学習を終えたときの生徒の姿〉

土地の所有や権利などをめぐる社会の変化の中から武士が台頭してきた。鎌倉幕府の成立により、御恩と奉公による主人と家来の主従関係を基盤として、土地やそこで暮らす人々を支配する仕組みが出来上がった。承久の乱後、幕府の全国支配と執権政治が確立された中で、武士の慣習をまとめた御成敗式目が成立し、その後の武家政治の基準とされた。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平清盛の政治 <p>2 学習課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平清盛の政治について確認する。 ○ 平氏が滅び、源氏により鎌倉幕府が開かれることを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">鎌倉幕府は、どのように武士を支配したのだろうか。</div>	
<p>3 学習課題に対する答えを導き出すために次のことを個人で考え、班での話し合いをする。</p> <p>(1) 将軍と御家人の関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御恩と奉公 ・守護、地頭 <p>(2) 承久の乱が起こった理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後鳥羽上皇 ・北条政子の言葉 <p>(3) 承久の乱後の武家社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六波羅探題 ・御成敗式目 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 御家人は、日頃より武芸の練習に励んだことを資料より助言する。 ○ 源氏の家系が三代で途絶え、幕府内で動揺が広がった時期であることに気付かせる。 ○ 御成敗式目は、武士の慣習をまとめたものであり、その後の武家政治への基準となったことを助言する。
<p>4 キーワードとなる語句をおさえることで、考えを修正する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">思考・判断・表現</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 学習活動に意欲的に取り組み、班員との学び合いの中で、より深めようとしている。 ● それぞれの資料を関連づけることで武家政権の支配についてまとめることができる。
<p>5 本時の授業について振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の授業で分かったことや武家社会の成立の仕方について振り返る。

日本の様々な地域

—日本の諸地域 中国・四国地方—

高松市立山田中学校 指導者 谷 洗希

I 単元の構造図

C 日本の様々な地域
(3) 日本の諸地域
中国・四国地方

中国・四国地方は、交通網や通信網の発達で工業や農業、観光や人々の生活に役立てられてきた。過疎化や高齢化が進むなかで、それぞれの地域に存在する資源を生かした地域おこしが必要である。

○中国・四国地方の自然環境

① 学習課題	中国・四国地方の地形や気候には、どのような特色があるのか	【知】
学習内容	中国・四国地方は、山陰・瀬戸内・南四国に分けられ、季節風や海流、地形によってそれぞれの地域に気候の特色がある。	
資料	中国・四国地方の地図、雨温図、中国・四国地方の人口分布	
見方・考え方	位置や分布、場所 (問い)「中国・四国地方で人口が集中しているのはどこか」	

《単元を貫く問い》中国・四国地方は、交通網の整備によって、どのように変化したのだろう。

○交通網の整備と人々の生活の変化

② 学習課題	本州四国連絡橋や高速道路の開通は、人々の生活をどのように変化させたのか	【知】【思】
学習内容	人々の交通手段が変化することで、移動にかかる時間が大きく減少した。観光業が盛んになる地域がある一方で、経済が衰退する地域もあるなど、プラスとマイナスの両面がある。	
資料	瀬戸大橋の写真、高速道路網と所要時間の変化、宇高フェリーの便数の推移、四国地方の卸売販売額の推移	
見方・考え方	地域 (問い)「なぜ徳島県の卸売販売額は、大幅に減少しているのか」	

○瀬戸内海の内海と工業の発展

③ 学習課題	瀬戸内海に面した地域では、どのように工業を発展させてきたのだろう【知】【思】
学習内容	塩田の跡地や遠浅の海岸を埋め立てた広大な土地を利用して、海岸沿いに瀬戸内工業地域が形成された。外国との競争に勝ち残るために新しい製品の開発を進める化学メーカーが増えている。
資料	瀬戸内海沿岸での塩づくり、臨海部に集まる化学工場
見方・考え方	場所、地域 (問い)「なぜ香川県の工業団地は坂出市にあるのか」

○交通網を生かして発展する農業

④ 学習課題	瀬戸内や南四国では、どのように農業を発展させてきたのだろう【知】【思】
学習内容	南四国では、温暖な気候を生かした野菜の促成栽培が行われている。瀬戸内のかんきつ類や南四国の野菜は、交通網の発達により、東京や札幌など遠く離れた市場にも出荷されるようになった。
資料	みかんの生産量、東京へ出荷されるなすの量と価格
見方・考え方	空間的相互依存作用 (問い)「高知県の野菜は、どこにどうやって輸送されているのか」

○人々を呼び寄せる地域の取り組み

⑤ 学習課題	交通網が整備されることで、地域はどのように変化してきたのか	【知】【思】
学習内容	交通網の整備によって、もともと地域に存在する資源を生かした地域おこしが行えるようになった。	
資料	島根県を訪れる観光客数の変化	
見方・考え方	地域 (問い)「人口が減少している地域ではどのような取組を行っているのか」	

○四国地方の発展をめざして

⑥ 学習課題	四国地方に新幹線は必要か	【思】【主】
学習内容	全国で着々と新幹線が開通していく中、四国地方でも新幹線の整備が検討されている。	
資料	四国新幹線の開通によるメリットとデメリット	
見方・考え方	地域、空間的相互依存関係 (問い)「四国新幹線の開通は人々にどのような影響を与えるのか」	

【単元を学び終えたときの振り返りの例】

中国・四国地方は、本州四国連絡橋や高速道路が開通されていくことで、今まで以上に他地域とのつながりが強くなっていった。工業では、瀬戸内を中心に工業地域が発展し、農業では、整備された交通網を生かして遠い地域まで出荷できるようになった。今後も交通網がより整備されていくなかで、それぞれの地域でどのような地域おこしができるのか考えていくとともに、四国新幹線の開通においても、メリットとデメリットを明らかにして、自分の意見を持っておきたい。

II 学習指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
1 全国に広がる新幹線の路線図を確認し、四国地方にのみ新幹線が通っていないことに気づく。 2 本時の学習課題を把握する。	○ 本州と四国をつなぐルートには3種類あることを確認し、本州と四国を新幹線でつなぐ際には瀬戸大橋が有力な候補となっていることを伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">四国地方に新幹線は必要だろうか</div>	
3 タブレット PC を活用し、四国新幹線が開通した際のメリット・デメリットを調べる。 4 学習課題に対する自分の意見をまとめる。	○ 作業が進まない生徒に対して、移動時間の短縮や交流人口、経済効果、既存の交通手段との兼ね合い等、調べる際のポイントを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">知識・技能</div> ● 四国新幹線開通におけるメリットとデメリットについてまとめることができたか〔ワークシート〕 ○ メリットとデメリットの両面を踏まえて、自分の立場を明確にするよう伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">主体的に学習に取り組む態度</div> ● 香川県で生活する一員として、四国新幹線の是非について意欲的に考えることができたか〔ワークシート〕

律令国家の形成と古代の文化

—緊張高まる東アジア！日本は独立を維持するためにどのような工夫をしたのだろうか—

高松市立国分寺中学校 指導者 川井 将太

I 単元の構造図

B 近世までの日本とアジア
(1) 古代までの日本
(ウ) 律令国家の形成

〈単元を貫く問い〉
**緊張高まる東アジア！
日本は独立を維持するためにどのような工夫をしたのだろうか**

緊張高まる東アジア！日本は独立を維持するためにどのような工夫をしたのだろうか

①学習課題	聖徳太子の時代に、日本はなぜ中国から認められるようになったのだろうか。【知】【思】
学習内容	朝鮮半島や隋に対抗できるようにするため、豪族の力を抑え、天皇を中心とした政治制度を整備した結果、日本は外交が可能な国家であると隋から評価された。
資料	冠位十二階、十七条の憲法、遣隋使がもたらしたもの、6世紀の国内と東アジア
見方考え方	背景、展開

②学習課題	なぜ大化の改新は行われたのだろうか。【知】
学習内容	唐や新羅に対抗するため、蘇我氏の専横に対処し、唐にならった律令に基づく中央集権的な政治体制の構築に着手していく。その到達点が701年の大宝律令の制定だった。
資料	皇室と豪族の関係図、改新の詔、古代に築かれた城の分布、壬申の乱の経過
見方考え方	原因、展開

③学習課題	大宝律令完成！律令国家とは、どのような仕組みなのだろうか。【知】
学習内容	公地公民、地方行政組織、戸籍と計帳の作成と班田収授法、税制の4つを柱とした大宝律令が制定されたことにより、全国の人々を統一して支配する仕組み（中央集権）が整うことになった。
資料	長安と平城京の比較、二官八省、五畿七道・国郡里制
見方・考え方	類似、特色

④学習課題	律令制のもと、貴族と農民はどのような暮らしをしていたのだろうか。【知】
学習内容	朝廷は律令制のもと、人々を戸籍に登録し、人ごとに様々な負担を課し、国家を運営しようとしたが、農民の逃亡や偽籍が目立つようになる。そこで、墾田永年私財法を定めたが、貴族や寺院が私有地（荘園）を広げることとなり、公地公民制が崩壊した。
資料	木簡、調や庸を都に運ぶ日数、ある村の戸籍と男女比、貧窮問答歌
見方考え方	背景、影響、展開

⑤学習課題	飛鳥時代と奈良時代の文化には、どのような特色があるのだろうか。【知】
学習内容	中国や西アジア、インドとの交流により、国際色豊かな文化が栄えた。また、仏教は国を守るために必要とされ、各地に寺院が建設された。
資料	世界遺産や国宝に指定されている文化財など
見方考え方	背景、特色、影響

⑥学習課題	平安京に都が移り、政治や社会はどのように変わったのだろうか。【知】
学習内容	桓武天皇は政治の立て直しをはかったが、税の決まりに従わない人々や、律令国家の支配に抵抗し続ける蝦夷の存在など、律令国家の仕組みが崩れ始めた。
資料	平城京と平安京の比較、平安京の風水、菅家文章
見方考え方	変化、展開

⑦学習課題	なぜ実頼より、関白ではない師輔が実権をにぎれたのだろうか。【知】【思】
学習内容	貴族が政治を行う時代に、藤原氏は摂関政治を行うことで政治の実権を握った。しかし、権力を維持するためには、天皇との外戚関係が重要であり、摂関も外戚の地位とともに移動した。
資料	皇室と藤原氏の系図、藤原氏年表、小右記
見方考え方	原因、結果

⑧学習課題	なぜ平安時代に日本独自の文化が生まれたのだろうか。【知】【思】
学習内容	唐が衰え、東アジア体制が不安定になる中、自国への関心が高まり、政治的・文化的自立が進んだ。その結果、唐風の文化を基礎にした、日本人の生活や好みに合わせた独自の文化が生まれた。
資料	仮名文字の発達、東アジア年表、東アジア諸国の文字、末法思想と浄土信仰
見方・考え方	背景、特色、影響

東アジアの風土に合わせた変化

〈単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例〉

最初は軍事力を強化したのかと思ったが、今回、日本は脅威であるはずの唐から律令制などを学び、中央集権国家として外国から認められるように政治改革や外交に力を注いだことが分かった。海外から積極的に学ぶ姿勢や、学んだ制度や技術を自国のものへとよりよく昇華させる器用さは、後の明治維新や、高い技術力を誇る現代の日本の姿と重なると思った。これからも日本の技術や文化を大切にしつつ、国際協力を通して平和をつくり出す日本にしていきたい。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 藤原氏が摂関政治を行い、政治の実権を握っていたことを確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ なぜ摂関政治で政治の実権を握ることができるのかを考えさせ、発表するように指示を出す。</p> <p>○ 藤原氏がどれだけ摂政や関白になっているかを確認するために、資料を提示する。</p> <p>○ 政治の実権を握っていたとされる師輔が、関白になっていないことに気付かせるために、資料提示する。</p>
<p>なぜ実頼より、関白ではない師輔が実権をにぎれたのだろうか</p>	
<p>3 学習課題についての予想をする。</p> <p>4 予想の検証のためには、どのような資料が必要か考え、発表する。</p> <p>5 資料をもとに、グループごとに予想を検証し、仮説を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 藤原氏の年表 ・ 皇室と藤原氏の系図 <p>6 仮説を再度検証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小右記 <p>7 本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>○ 4人班にして、資料を配布し、実頼と師輔のちがいに気付かせるために、適宜机間指導をする。</p> <p>知識・技能</p> <p>● 資料を追究し、師輔の家系から天皇が排出されているのに対し、実頼の家系からは天皇となったものがないことを読み取っている。[資料]</p> <p>○ 「なぜ天皇の祖父になると権力を維持できるのか」と問い、天皇の外戚関係になると政治の実権を握ることができる理由を考えるよう指示を出す。</p> <p>○ 「外戚関係を利用して政治の実権をにぎった」という仮説が、当時の最高権力者、道長にも当てはまるのかという視点で再度検証するよう指示を出す。</p> <p>○ 天皇の外戚関係になることが重要とされていたことがわかる、小右記の記述を紹介する。</p> <p>○ 本時における生徒の思考の流れを確認させるために、予想と検証結果を振り返えるよう指示を出す。</p> <p>○ 関白ではない師輔が実権をにぎることができた理由を、各自ワークシートにまとめるよう指示を出す。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 藤原氏は天皇の外戚となることで、摂関政治を行い、政治の実権を握ったことを自分のことばでまとめている。[ワークシート]</p>

地方自治と私たち

高松市立山田中学校 指導者 牧本 剛典

I 単元の構造図

【単元を貫く問い】私たちは政治参加のために、どのような見方・考え方を身につければよいだろうか

題 材	① 地方自治と地方公共団体	題 材	② 地方公共団体のしくみと政治参加
学習課題	日本国憲法では、地方自治についてどのように定めているのだろうか	学習課題	私たちが住む地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのだろうか
知 識	地方公共団体 地方自治 地方分権 民主主義の学校	知 識	地方議会 首長 条例 直接請求権 住民投票
資 料	日本国憲法と地方自治	資 料	地方自治のしくみ 直接請求権の内容

学習指導要領 内容C 私たちと政治 (2) 民主政治と政治参加 アー (エ) イー (ア)

題 材	③ 地方財政の現状と課題	題 材	④ 私たちと政治参加
学習課題	地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があるのだろうか	学習課題	さまざまな考えを参考にして、自分が良いと思う政党に投票しよう
知 識	地方財政 地方交付税交付金 地方税 国庫支出金 自主財源 依存財源	知 識	投票率 政治参加
資 料	地方公共団体の歳出と歳入	資 料	ワークシート

【単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例】

地方公共団体の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができた。地方自治体の政治と政治参加に関する課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現することができた。身近な事例から地方自治体の政治に対する関心を高め、民主政治の基本的な考え方とそれに基づく地方公共団体の政治のしくみについて、意欲的に追究することができた。地方自治を含め、政治のまとめとして自らの政治参加の意識を高めることができた。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
1 学習課題を把握する。 ・選挙ができるのは、今から何年後？ ・10代の投票率は高い？低い？	○ 高校在学中に選挙権が生じることを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ささまざまな考えを参考にして、自分が良いと思う政党に投票しよう </div>	
2 4つの政党の公約を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ○高齢者への社会保障よりも少子化対策を充実させます。 ○治安が維持され、犯罪のない安全な社会をめざします。 ○投票率を上げるために、投票を義務化します。 ○コロナ対策としてすべての国民に一人20万円を配ります。 </div>	○ 4つの公約は、生徒の実生活や実社会に関連したものにする。また、生徒の思考が広がったり、深まったりするように、表面上は良い内容にする。
3 4つの政党の政策を比較し、順位付けをする。	○ それぞれが重視する公約をわかりやすくするために、ダイヤモンドランキング化し、根拠を明確にしてその理由をワークシートに記入させる。 ○ タブレットPCで、アプリ機能を利用し、それぞれが重視する公約をわかりやすい形式で示し、全体で共有してそれぞれの公約の価値付けを行うよう指示する。
4 班で公約の問題点を考える。	○ 実現する時に、不都合な部分があることに気付くように、現実的な場面を想像させる。 ○ 4人班とし、一つの公約について問題点を考えていく中で、どんな良い政策でも、すべての人がプラスになることはないことに気付かせていくために、思考を揺さぶるような具体例を示す。 ○ 4人では、視点が広がらないようであれば、同じ公約について考えている他の班と交流させる。
5 班ごとに発表をする。	○ 発表を聞いて投票するので、それぞれの公約についてのプラス面とマイナス面を判断していくように伝える。
6 投票する。	○ 生徒自身の思考の変容がわかるように、ランキング化した公約と投票のときに、何を重要視したかを振り返らせ、そう判断した根拠を明確にして、ワークシートに記入させる。
7 本時のまとめをする。	○ 振り返りシートの学び方のまとめを促すために、本時の活動の、政策の背後にある考えや価値観を吟味する活動を思い返して記入するよう助言する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 思考・判断・表現 </div>	
● 自分の考えの深まりに気付くとともに、人によって重要視する価値観がちがうことに気付くことができている。 [振り返りシート]	

南アメリカ州

— 地域的特色を踏まえた持続可能な開発の在り方について考える —

高松市立香南中学校 指導者 稲毛 未来

I 単元の構造図

B 世界の様々な地域
(2) 世界の諸地域
南アメリカ州

南アメリカ州では、多様な気候や広大な熱帯林が見られ、豊かな資源や自然を生かした生活が営まれてきた。時代や社会の変化に伴って、地域開発や経済成長が進む一方、新興国となったブラジルを中心に、環境破壊や経済格差が生じ、持続可能な開発の在り方が課題（地球的課題）となっている。

学習課題	① 南アメリカ州の地形や気候には、どのような特色があるのだろうか。 【知】【主】
学習内容	北側は熱帯で、東西に流れるアマゾン川流域には世界最大の熱帯林が広がる。西側には世界最長のアンデス山脈が南北に連なり、標高が高いため高山気候である。アルゼンチン中部やチリ南部は温帯で、その間の地域は乾燥帯である。南端は寒帯で、パタゴニア山岳地帯では氷河がみられる。
資料	世界地図、南アメリカ州の自然、南アメリカの気候区、各地の写真
見方・考え方	位置や分布、場所 〈問い〉「南アメリカ州のどこに、人口は分布しているのか。」

【単元を貫く問い】 南アメリカ州の特色を踏まえた持続可能な開発を実現させるには、どうすればよいのだろうか。

学習課題	② なぜブラジルでは、メスチソよりムラートの割合が高いのだろうか。 【知】
学習内容	先住民による文明が栄えていたが、ヨーロッパ人による植民地化が始まり、プランテーション開発や金・ダイヤモンドの発見以来、移民が急増した。過酷な労働や疫病によって先住民の人口が減少する一方、アフリカ人が奴隷として連れてこられたことで、白人と黒人との間で混血が進んだ。
資料	南アメリカの人種構成と公用語、人種の特徴
見方・考え方	場所、地域 〈問い〉「ブラジルとはどのような場所で、周辺諸国とどこが異なっているのか。」

学習課題	③ 植民地支配されていたブラジルは、どのようにして新興国となったのだろうか。 【知】
学習内容	植民地時代からのプランテーション農業によるモノカルチャー経済に頼っていたが、農業技術の発展や外国企業の受け入れによって、大豆やさとうきび、食肉等の農産物や、鉄鋼や自動車、航空機等の工業製品が大規模に生産されるようになり、経済成長を遂げた。
資料	南アメリカの農産物と鉱産資源の分布、ブラジルの輸出品の変化、コーヒー豆・さとうきび・大豆の生産国
見方・考え方	空間的相互依存作用 〈問い〉「ブラジルは、どのような国や地域と結びついているのか。」

学習課題	④ なぜアマゾン川流域の熱帯林が減少しているのだろうか。 【知】【思】
学習内容	伝統的な焼畑農業ではなく、人口増加や経済発展による世界の食料需要量の高まりを背景に、牧場や大豆畑を、環境に優しいバイオ燃料を生産するためにさとうきび畑を拡大することが、森林破壊（違法な伐採、森林火災）や土壌の流出や化学肥料による汚染等の問題を引き起こしている。
資料	アマゾンの森林伐採面積の累計、ブラジルのさとうきびの生産量と収穫面積、世界のバイオエタノール生産量
見方・考え方	人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域 〈問い〉「ブラジルの自然環境は、人々の生活とどのように影響し合っているのか。」

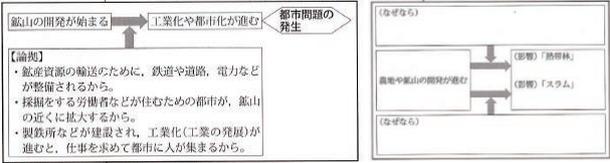
学習課題	本時 ⑤ アマゾン川流域における開発は、自然環境や人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。 【思】【主】
学習内容	開発による影響は多岐にわたり、ブラジルだけでなく世界全体に広がっている。「環境の保全」と「経済の成長」の調和を図り、持続可能な社会をつくるための取組が地球的な課題である。
資料	ブラジルの熱帯林の開発、アマゾンの熱帯林破壊による被害、ブラジルの公衆衛生に関するデータ
見方・考え方	位置と分布、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域 〈問い〉「なぜ経済成長を遂げたブラジルで、ハンセン病の制圧が達成されていないのか。」

【単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例】

南アメリカ州では、熱帯や温帯の地域で輸出用作物の生産が行われ、近年は工業化も進んでいる。アマゾン川流域の熱帯林では、他国との関わりや世界的な需要の拡大を背景に開発が進められ、ブラジルは経済成長を遂げた一方、社会における公平性が課題となっている。環境を守る取組によって新たな環境問題が生じている現状から、「環境の保全」と「経済の成長」を同時に進めるには、多様な立場や意見を踏まえ、熱帯林の保護地域と開発地域を決めて管理したり違法な伐採や取引を禁止するしくみを整えたりするといった対策が必要だと考えた。世界各地で「社会の発展」を実現させるため、それぞれの地域的特色を踏まえた持続可能な開発の在り方について今後も考えていきたい。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時までの既習内容を確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ 第1時～第4時のつながりを確認しながら、アマゾン川流域における開発の経緯や内容について復習し、本単元のまとめとなる本時の学習課題につなげる。</p>
<p>アマゾン川流域における開発は、自然環境や人々の生活にどのような影響を与えているのだろう。</p>	
<p>3 学習課題について考察する。</p> <p>(1) アマゾン川流域における開発が与える影響のプラス面とマイナス面を考える。</p> <p>(2) 開発が与える影響について、論理的に説明する。</p>	<p>○ SDGs の視点を踏まえて、開発が自然環境や人々の生活に与える影響を多面的に捉えさせるとともに、全体で意見を共有することで、個人の考えを広げさせる。</p> <p>○ アマゾン川流域の農地や牧場、鉱山等の開発によってどのような影響が生じているか、また、その理由はなぜかを、トゥールミン・モデルを用いて整理させる。</p> <p>例：</p> 
<p>4 本時のまとめをする。</p>	<p>○ 環境的視点と経済的視点から、学習課題に対するまとめをワークシートに記入させる。</p> <p>思考・判断・表現</p>
<p>5 単元を貫く問いについて考える。</p>	<p>● 南アメリカ州の開発とその影響について、ブラジルにおける農地や牧場、鉱山の開発といった地域的特色を踏まえて、事象間のつながりをプラス面とマイナス面および、環境的視点と経済的視点から多面的・多角的に捉え、論理的に説明することができる。 [ワークシート]</p> <p>○ 「環境の保全」と「経済の成長」のいずれかを優先した政策を行った場合、どのようなことが起こり得るかを、それぞれのケースについて考え、意見交換させる。</p> <p>○ 先住民、農村の人々、都市部の人々、ブラジル政府といった立場の違いによって、優先すべき課題が異なることに気付かせたうえで、社会における地域間や世代間の公平性という視点をもたせる。</p> <p>○ 持続可能な開発を実現させるためには、「環境の保全」と「経済の成長」に加えて、「社会の発展」という視点が必要であることを確認し、南アメリカ州に適した解決策についてブラジルを中心に考え、意見交換させる。</p> <p>主体的に学びに向かう力</p> <p>● 単元を通して学習したことをもとに、南アメリカ州の地域的特色を踏まえた持続可能な開発の在り方について、他地域や私たちの生活と関連付けながら、自分なりに考えようとしている。 [振り返りシート]</p>

世界の諸地域 アジア州

—急速な経済成長と人々の生活の変化—

高松市立屋島中学校 指導者 梶原 直景

I 単元の構造図

B 世界のさまざまな地域
(2) 世界の諸地域
② アジア州

アジア州は急速な経済成長を遂げており、その背景には地域ごとに自然環境や人口、文化、産業などのさまざまな要因がある。また、経済成長は人々の生活に影響を与え、社会問題も生まれている。

《単元を貫く問い》 アジア州の国々の経済成長にはどのような背景があるのだろうか？

① アジア州の地形や気候にはどのような特色があるだろうか 【知】【思】
《見方・考え方》位置や分布、場所 **問い** どんなどころで降水量が多くなるだろう？
《学習内容》アジア州の中央に位置するヒマラヤ山脈から各方面に大河が流出し、それぞれの国に水をもたらしている。季節風の影響を受ける地域では降水量が季節によって変わり、雨季と乾季が生まれる。
《資料》○アジア州の地図 ○雨温図 ○トンレサップ湖の雨季と乾季の写真

② なぜインドと中国は人口が多いのだろうか？ 【知】【思】
《見方・考え方》地域、人間と自然環境の相互依存関係
問い 人口と降水量、降水量と農業にはどのような関係があるか？
《学習内容》インドと中国は平野が広がり、降水量の多い地域では稲作、やや少ない地域では小麦やトウモロコシなどの畑作を行い、古代から安定した食料供給ができたことから人口を増やしてきた。降水量が少ない地域では遊牧を行う。
《資料》○降水量等値線図 ○農業分布図 ○人口密度等値線図 ○宗教別人口割合

③ 中国の栄光と影はどのようなものか？ 【知】
《見方・考え方》地域、空間的相互依存作用
問い 中国でGDPが高い地域はどこか？
《学習内容》巨大な人口を抱える中国は一人っ子政策を行い人口を抑制した。その間、経済の自由化に取り組み、世界の工場と呼ばれるまでに成長した。しかし、都市と農村の経済格差や大気汚染などの問題が残っている。
《資料》○中国の年別出生数 ○主要国の乗用車販売台数 ○省別1人当たり総生産額 ○主要工業製品の世界シェア ○大気汚染物質の分布

⑥ どうしてアメリカのIT企業はインドに開発依頼をするのか。【主】【思】《本時》
《見方・考え方》地域、空間的相互依存作用
問い どうしてアメリカのIT企業はインドに開発依頼をするのか。
《学習内容》インドでICT産業が成長した理由は、以下の複数の要因がある。①安い労働力②数学の教育水準が高い③英語が話せる④カーストの影響を受けない⑤アメリカとの時差
《資料》○ICT産業の輸出額と輸出先 ○インドの時差 ○インドの教育 ○インドの歴史

④ 韓国は生活や文化・産業において日本とどのような関わりがあるだろうか？ 【知】
《見方・考え方》地域、空間的相互依存作用
問い 日本には韓国由来のどんなものがある？
《学習内容》身の回りの食事や娯楽の中には日韓で共通するものが多い。韓国は輸出に力を入れ、家電や芸能の面では世界をリードしている。一方、ソウルへの一極集中や北朝鮮との関係などの課題が残されている。
《資料》○韓国の輸出先と輸出品目

⑤ 東南アジアの国々は工業化を進めるために、外国とどう関わったか 【知】【思】
《見方・考え方》地域、空間的相互依存作用
問い 東南アジアの国々に工場を置く利点は何か？
《学習内容》東南アジアでは19世紀からプランテーションがつくられ、中国系やインド系の人々が労働力として移住してきた。安い労働力を武器にして外国企業を誘致し、工業化を進めた。工業化によって都市化が進んだが、スラム、過密、交通渋滞、大気汚染などの課題も残る。
《資料》○プランテーション・エビ養殖の写真 ○マレーシアの民族構成 ○日本企業の進出数 ○スラムの写真

⑦ 西アジアの経済成長はどのような産業が支えているのだろうか 【知】【思】
《見方・考え方》地域、空間的相互依存作用
問い 西アジアはどこに石油を輸出しているだろうか？
《学習内容》西アジアは原油をはじめとする鉱産資源が豊富であり、それらをパイプラインやタンカーで海外に輸出している。原油の輸出で得られた利益で、都市には高層ビルが立ち並ぶ。一方、資源をめぐる対立から、政治が不安定な国も多く、内戦による難民が発生している地域もある。
《資料》○西アジアの鉱産資源地図 ○原油の生産国 ○日本の原油輸入先 ○内戦による難民について

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

アジア州は、ヒマラヤ山脈から流れ出る大河の水によって、広大な平野で安定して食料を生産することができ、人口増加につながった。私たちが暮らすアジア州の各地域は、豊富な労働力や資源、各国の政策など様々な要因を背景に急速な経済成長を遂げ、私たち日本とも経済的に結びついている。しかし、急速な経済成長は都市が中心となったために農村部との経済格差を引き起こした。大気汚染などの環境問題や交通渋滞、スラムの発生などの課題が生じている。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

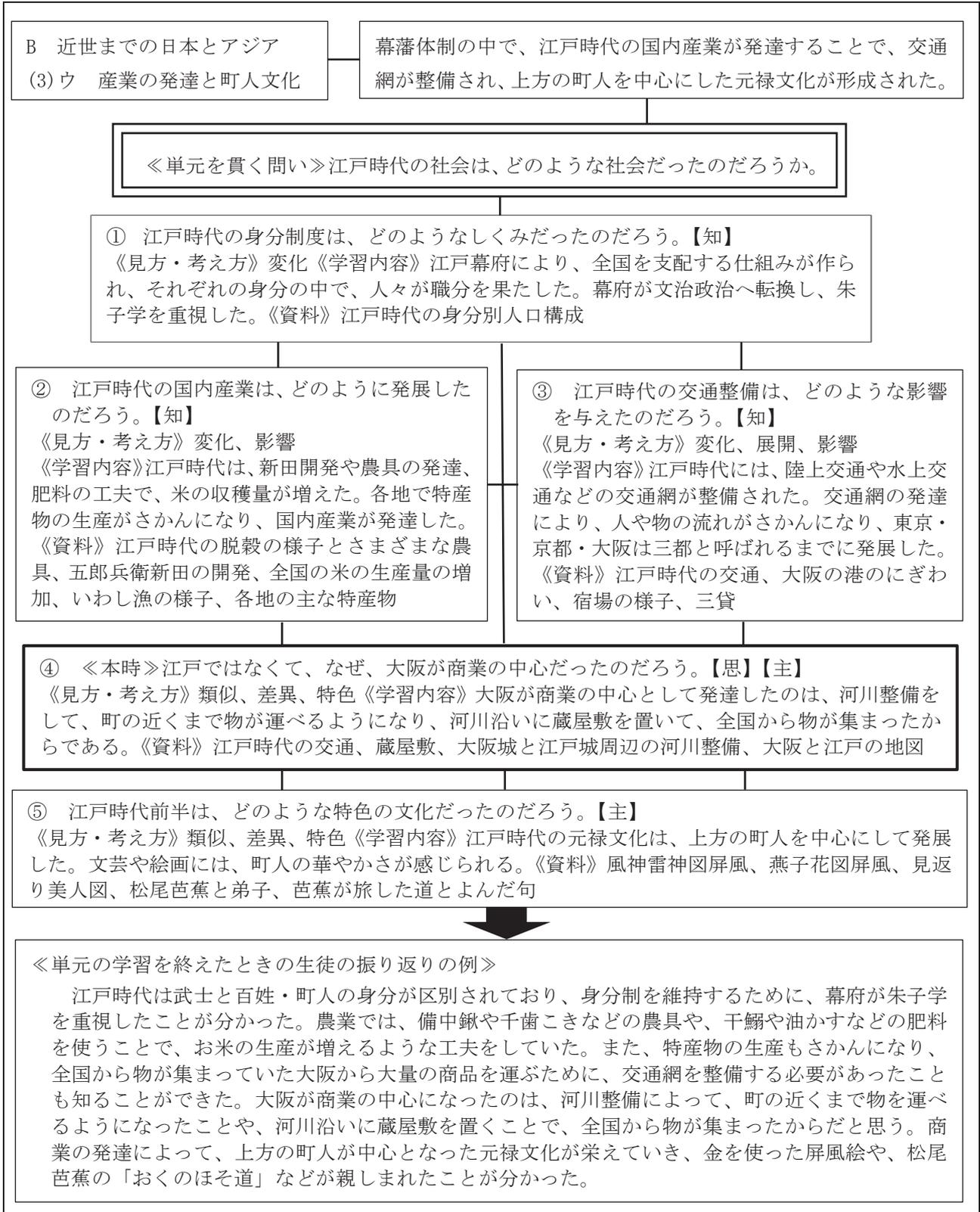
学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
1. 三問クイズで前時の復習をする 2. インドの I T 産業について知る。 3. 本時の学習課題を把握する	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア州の中でのインドの地形的特徴をおさらいする。 ・グーグル社の CEO の出身地について予想させ、アメリカでインド人が活躍していることを伝える。 ・アメリカ企業のソフトウェア開発依頼相手の資料から、インドとアメリカのつながりが深いことを読み取らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 課題：どうしてアメリカの I T 企業はインドに開発依頼をするのか。 </div>	
4. 課題に対する大まかな予想をする。 5. インドで I T 産業が発達した理由を、資料をもとに考察する。 (1) 個人で考える (2) 班で考える (3) 全体で交流する	<p>○インドの基本的なデータ（人口・言語・民族など）を用意しておき、参考にするように指示しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の選択肢 (①安い労働力②数学の教育水準が高い③英語が話せる④カーストの影響を受けない⑤アメリカとの時差)の中から選びランク付けする。 ○上位にランキングした理由をワークシートに書き込む。 ・資料の中から自分で重要だと思ったところに線を引く。 ・人件費の安さは、東南アジアと共通していることをおさえる。 ・アメリカとの時差を利用し、コールセンターやソフトウェア開発を行っている事例を紹介する。 ○これまでに学んだ中国と東南アジアと違う特徴を見つけさせる。 ○IT という分野で働くために必要な人材はどんな人材かを考えさせる ■インドで IT 産業が発達した理由を資料から読み取り、インドの地理的特徴や経済、社会制度などから説明することができる。 〔ワークシート〕
5. 本時のまとめをする	<p>次のことを説明したうえで振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展の陰で、根強く残るカースト制度が職業を固定化し、貧富の差を固定化している。新たな職業（I T 産業）はカーストにとらわれず成長していった。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 振り返り：インドの成長にはどのような背景があるだろうか？ </div>	

武家政権の展開と世界の動き

—天下泰平の世の中—

高松市立太田中学校 指導者 中道 昌子

I 単元の構造図



II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 江戸時代の交通網の整備について、前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五街道 ・西廻り航路、東廻り航路 ・菱垣廻船・樽廻船の航路 <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書やノートを確認させながら、前時の振り返りを発表させる ○ 答えが一つではない開かれた質問を多く使いながら、生徒が発表しやすいように工夫する。 ○ 交通網の整備の発達によって三都が発展したことを意識させる。
<p>江戸ではなくて、なぜ、大阪が商業の中心だったのだろう。</p>	
<p>3 大阪が商業の中心として発達した背景を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①船で大量の物を運ぶ。 ②物を保管する蔵屋敷を置く。 ③河川整備し、直接物を運ぶ。 ④町人が、港町周辺に多く住む。 <p>4 当時の時代背景を踏まえ、大阪が商業の発達に必要なだったことについて考える。</p> <p>(1) 個人で考える。 班ごとに話し合う。</p> <p>(2) 学級全体で交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示資料を参考にして、学習課題について考えさせる。 ○ 学習につまずいている生徒には、机間指導をして資料の見方のポイントを伝える。 ○ 発問は、生徒に分かりやすい言葉で、的確に表現できるように工夫する。 ○ 生徒の反応を取り上げていき、理解度を確認しながら話せるように努める。 ○ 教師が例示した4項目（船、蔵屋敷、河川整備、町人）から選ばせ、根拠となる理由をいくつか挙げさせる。 ○ 相手の話を聴く時は、「応答あいうえお」を意識して聴くように伝える。 ○ 根拠となる理由を聴き合うことで、多様な価値観があることを知り、自分の考えを確立させる。 ○ 班で話し合い、4項目の中から選んだ項目（短冊）を黒板に貼らせる。また、根拠となる理由も書かせる。 ○ 発表者には、学級全体で拍手を送ることでねぎらい、具体的に良かった点を伝えることで、温かい雰囲気づくりを心掛ける。 ○ 多様な考えを聴いて感じたことを自分の言葉で振り返らせる。 ○ 1時間の授業で生徒が努力していたことを認め、学級全体に伝える。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">①河川整備 ②蔵屋敷</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町の近くまで物を運べて便利。 ②物を保管する場所がある。 ③全国から物が集まる。 </div> <p>5 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考・判断・表現 ● 大阪が商業の中心として発達した理由について、話し合い活動を通して自分の考えを深めることができたか。[ワークシート]
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大阪は、河川整備によって、町の近くまで物を運べるようになり、河川沿いに蔵屋敷を置くことで、全国から物が集まり、商業が発達した。</p> </div>	

社会の変化と幕府の対策

～江戸時代の改革者たちから学ぶ～

高松市立龍雲中学校 指導者 山下 遼輔

I 単元の構造図

B 近世までの日本とアジア
(3) 近世の日本
(エ) 幕府の政治の展開

16世紀から19世紀にかけて急激に商業が発展し、庶民の経済活動が活発になる一方、幕府の財政は悪化し、各藩による改革が行われた。

《単元を貫く問い》 江戸幕府の諸改革には、どのような意図があったのだろうか。

① 徳川吉宗は、どのような政策を行ったのか。【知】【思】

《見方・考え方》

特色、背景

《学習内容》 諸資料を参考に多面的・多角的な視点から、吉宗の政策について評価する。

《資料》

公事方御定書、富士山の噴火、目安箱、幕領から幕府へ納められた年貢の量

② あなたなら、吉宗と田沼のどちらの政策を支持するか。

【知】【思】

特色、類似、差異、背景

《見方・考え方》

《学習内容》 諸資料を参考に多面的・多角的な視点から、どちらの政策を支持するか考える。

《資料》

①の資料、米商人に対する打ちこわしのようす、百姓一揆と打ちこわしの発生件数、傘連判状、俵物

③ 松平定信は、どのような政策を行ったのか。【知】【思】

《見方・考え方》

特色、背景

《学習内容》 諸資料を参考に多面的・多角的な視点から、定信の政策について評価する。

《資料》

浅間山の大噴火、狂歌、百姓一揆と打ちこわしの発生件数、朱子学の講義

④ 化政文化は、どのような特色を持つ文化だったのか。【知】【主】

《見方・考え方》

特色、背景

《学習内容》 経済の中心が江戸に移り、庶民が中心となる文化が花ひらいた。

《資料》 徳川家斉、伊能忠敬、杉田玄白、与謝蕪村、寺子屋、葛飾北斎、歌川広重 など

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

16世紀から19世紀にかけて、相次ぐ飢饉や大火事などにより財政悪化が続いていた。徳川吉宗や松平定信は、質素節約を促すことや重商主義を掲げ、主に農業の面からの財政改革を図ろうとしたことに対し、田沼意次は重商主義を掲げ、主に商業の面から財政を立て直そうとした。しかし、百姓一揆や打ちこわしの発生が増え、貨幣経済の発達により貧富の差が生まれるなどの社会問題の解決には至らなかった。

(2) 学習指導過程

II 学習指導過程

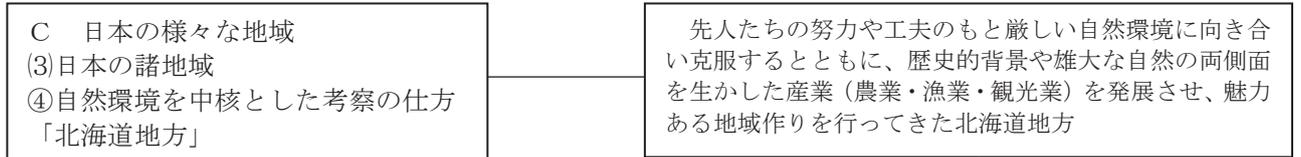
(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
1 前時の授業を振り返る。 ・徳川吉宗の政治改革はどのようなものだったか、ふりかえろう。	○前回のワークシートを参考に、吉宗の政治改革の内容について復習し、それらの多くは年貢に頼る政策をより重点的に行うものだったということを確認する。
あなたなら、吉宗の政治と田沼の政治のどちらを支持するか。	
2 田沼政治について、ワークシートにまとめる。	○資料を活用して、田沼意次について簡単に紹介する。
	○吉宗の改革と比較させ、田沼は年貢だけに頼らず商業の力を利用して財政を立て直そうとしていたことを理解させる。
3 吉宗の政治と田沼の政治を比較して、自分ならどちらを支持するか考える。(個)	○「Sky Menu Cloud」ポジションを活用して、自分の考えを位置づけさせ、それらのデータを集約し、電子黒板に反映する。
4 生徒同士で意見交流をする。(班)	○生徒同士で対話させ、吉宗や田沼の政治について多面的・多角的な視野を持たせる。
また、他の生徒の意見もふまえ、最終的な自分の意見を示す。(個)	
5 ふりかえりをする。	○本時の内容で扱った言葉や時代の流れを踏まえて、まとめを書くことができる。
思考・判断・表現	
●農業を重視した吉宗の改革に対し、株仲間の奨励や長崎貿易の強化などの商業を中心とした改革が田沼の政治だった。賄賂が横行するなどの問題は発生したが、経済は回復傾向に向かったため、田沼の政治の方が優れていると思った。	

日本の諸地域（北海道地方）

高松市立玉藻中学校 指導者 永井 耀人

I 単元の構造図



①地図や資料を利用して、北海道地方の特徴をとらえよう。【知】
 ≪見方・考え方≫ 位置や分布、場所
 （問い）北海道地方は、地域区分ごとにそれぞれどのような気候の特色が見られるだろう。
 ≪学習内容≫ 北海道地方は、日本の総面積の5分の1を占めるほどの広大な面積を有している。ほとんどが亜寒帯（冷帯）に属しているものの、地域区分ごとにその特色は異なる。
 ≪資料≫ ・北海道地方の地勢図・北海道地方の2都市の雨温図・北海道各地のスナップ写真・北海道沖の海水温の分布・4つの地域区分とそれぞれの地形の特色・位置、地形がもたらす気候の特色・北海道の歴史年表

≪単元を貫く問い≫ 北海道地方の自然環境や歴史は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているだろう。

②なぜ、北海道は農作物の生産量1位の品目が多いのだろう。【知】【思】
 ≪見方・考え方≫ 人間と自然環境の相互依存関係
 （問い）なぜ、北海道は日本の食料基地と呼ばれるのだろう。
 ≪学習内容≫ 広大な面積を有し、かつ冷涼な気候の北海道は、先人たちの努力や工夫をもとに道内でも各地域で気候・土壌に応じた特色ある農業を行っている。
 ≪資料≫ ・主な農作物の全国生産に占める北海道の割合・北海道の農地面積の推移・北海道の土地利用図
 ・大正時代の泥炭地の開発の様子・農家一戸あたりの耕地面積・酪農家一戸あたりの乳牛飼育頭数の比較

③なぜ、北海道で獲る水産物の種類が変化しているのだろう。【知】【思】
 ≪見方・考え方≫ 人間と自然環境の相互依存関係
 （問い）北海道の漁業形態は、どのように変化しているだろう。
 ≪学習内容≫ 水産物の種類は漁業方法の変遷に応じて、変化している。古くは沿岸・沖合漁業が盛んであったが、1960年代以降、排他的経済水域の設定もあり、「育てる漁業」への転換が求められている。
 ≪資料≫ ・北海道の主な漁港・全国の漁獲量の推移
 ・漁業生産量と漁業就業者数・北海道でとれる水産物の変化・日本の漁業形態の変化・主な水産物の漁獲量

④なぜ、北海道は都道府県魅力度ランキングで1位を獲得し続けることができるのだろう。（本時）【思】【主】
 ≪見方・考え方≫ 人間と自然環境の相互依存関係、地域
 （問い）日本人観光客と外国人観光客を比較すると、北海道に魅力を感じる点はどのように異なるのだろう。
 ≪学習内容≫ 北海道は明治時代の開拓以降の歴史が新しく、札幌や小樽の町並みなどに歴史的景観を多く残している。さらに、開発が進んでいない手つかずの大自然が広がり、それを生かした魅力ある地域作りを行っていることも要因となっている。北海道地方の人々は、厳しい自然環境や歴史的景観を利用して特色ある産業を展開している。
 ≪資料≫ ・都道府県魅力度ランキング2022・三都市の（札幌・高松・台湾）雨温図・北海道を訪れる日本人、外国人の月別観光客数・北海道を訪れる外国人観光客の出身国、地域別割合・歴史的な建物や運河や運河のある街並み（札幌・小樽・函館）・北海道の歴史（年表）



≪単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例≫
 北海道地方は、亜寒帯（冷帯）に属し、冬の寒さが厳しく、気候に大きな特色を有している。学習を始める前は、この厳しい自然環境に苦しみながら北海道の人々は生活していると考えていた。しかし、学習を進めていく中で、現在有数の米の生産地である石狩平野に広がっていた泥炭地と呼ばれる農業に適さない湿地が人々の努力によって改良されたり、北洋漁業の衰退を受けて育てる漁業への転換を図ったりしてその時々々の自然条件・社会条件に合わせて産業を発展させてきたことを知った。北海道地方は特異な歴史的背景をもち、また厳しい自然環境の影響を受け、そこに暮らす人々は生活・文化や産業などに困難さを抱えているように考えられがちだが、全国各地から移住してきた先人たちの努力や、歴史的背景・自然環境を利用して地域ごとに特色ある産業（農林水産業・観光業）を展開することで困難さを乗り越え、全国でも有数の魅力ある地域となっていると考えるようになった。

II 学習指導過程

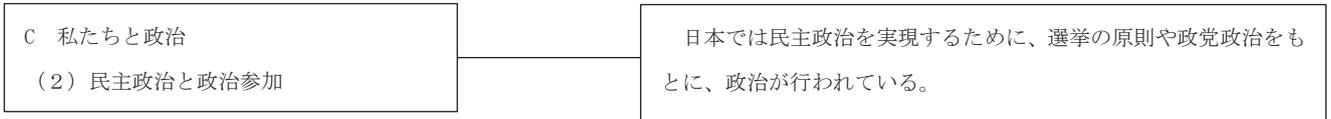
(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び学習活動【学習形態】	指導上の留意点及び評価
<p>1 北海道が都道府県魅力度ランキング 1 位であることを知る。 【個人学習】→【一斉学習】</p> <p>2 学習課題を設定する。 【個人学習】</p>	<p>○ 都道府県魅力度ランキングの上位を予想させ、14年連続北海道が1位を獲得している現状を知る。</p> <p>○ 全体での資料の観察を可能にし、また活動の順序を視覚的にも捉えることができるようにICT機器を活用し資料を大きく示したり、順序立てた活動の説明を行ったりする。</p> <p>○ 魅力度ランキングを分析させ、北海道の魅力について考えさせることで学習課題につなげる。</p> <p>○ 本時の課題を黒板上部に黄色で板書し、常に意識させる。</p>
<p>なぜ、北海道は魅力度ランキングで1位を獲得し続けることができるのか？</p>	
<p>3 学習課題についての予想をする。 【個人学習】→【一斉学習】</p> <p>4 自然環境の視点から北海道の魅力について調査する。 (1) 各資料から読み取れたことをワークシートに記入する。 【個人学習】</p> <p>(2) ペアで記入内容を確認する。 【ペア学習】</p> <p>5 歴史的視点から北海道の魅力进行调查する。 (1) 各資料から読み取れたことをワークシートに記入していく。 【個人学習】</p> <p>(2) 読み取れた内容をもとに、北海道の魅力を文章にまとめ、発表する。 【グループ学習】</p> <p>6 学習課題に対する本時のまとめをワークシートに記入する。 【個人学習】→【グループ学習】</p>	<p>○ 実物資料を示したり、現地写真を提示したりすることで教材への興味・関心を高め、学習に取り組みやすくする。</p> <p>○ 既習の沖縄県の観光業の内容などを振り返りながら、予想させる。</p> <p>○ 活動内容・形態に変化をもたらしながら時間を区切って活動させる。</p> <p>○ 夏の冷涼な気候、冬の積雪のどちらにも「訪れたい」と思わせるような魅力があることを検証するために日本人と外国人の北海道を訪れる時期の違いに気付かせる。</p> <p>○ 雨温図やグラフ資料から読みとった内容を個人で記入した後、ペアで意見交換し、確認させる。</p> <p>○ 机間指導を行い、記入に困っている生徒がいればその場で助言する。</p> <p>○ 明治期以降、外国や独自のアイヌ文化を生かしながら開発が進められた北海道には特有の歴史がもつ魅力があることを理解させるために写真資料・年表資料から多角的に考察させる。</p> <p>○ 北海道は他の地方に比べて歴史が浅く、開発の影響が色濃く残っており、手つかずの自然も多く残されていることが大きな魅力となっていることをおさえる。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 自然環境と歴史的景観の両面から北海道の魅力を表現することができるか。[ワークシート]</p>

私たちと政治
－民主政治と私たち－

三木町立三木中学校 指導者 玉井 僚

I 単元の構造図



① 政治とはどのようなことを指すのだろうか？【知・思】 《見方・考え方》 民主主義

学習内容 政治は国民の要望や利害を調整し、社会をよりよくするために税金の配分を考え、様々なことを選択・判断していくこと。現在の日本は国民の選挙で選ばれた代表者が、国会で議論を行う間接民主制を実施している。

(主な使用資料) 日本の歳入と税金の用途を表したグラフ

単元を貫く問い： 私たちは政治にどのように関わられるだろうか

② 政治家はどのように選ばれ、どのような仕事をしているのだろうか？【知】 《見方・考え方》 民主主義

学習内容 政治家は選挙に立候補し、世論の支持を得るために公約や政権公約を掲げて選挙運動を行う。また政治家は同じ考えを持った議員どうしが集まり、政党を結成して、政権獲得をねらう。政治家は、法律案の作成や議題の審議、また自分を応援してくれる国民の要望に答えるために、国民の意見を政策に反映させる。

(主な使用資料) 現在の政党名と党首の書かれた図 各政党の公約一覧 政治家が選挙運動を行っている映像資料

③④ 18歳になった私たちが行う選挙はどのようなルールで行われているのだろうか？【知・思】 《見方・考え方》 民主主義

学習内容 日本での選挙は4つの原則をもとに実施される。また公職選挙法によって日本では、小選挙区比例代表並立制を行い、小選挙区制実施による死票の数を減らす工夫がなされている。(③で実際に模擬選挙を行い、④でそれぞれの選挙の仕組みを学習する)日本の選挙制度の課題として、若者の投票率が低いことを確認し、日本での投票率を上げるために、どのようなことができるかを考える。

(主な使用資料) 衆議院の選挙制度の仕組み図 模擬投票用紙

⑤ 日本の国政選挙でインターネット投票を実施するべきか検討しよう。【思判・主】 **本時** 《見方・考え方》 民主主義・民主政治

学習内容 インターネット投票を実施するかどうかの学級全体での意思決定を行う。その際に、海外や日本国内のインターネット投票を実施した事例を参考にしながら、検討していく。またなぜ、現在の日本で実施されていないのかを考えた上で意思決定をさせる。

(主な使用資料) 海外のインターネット投票の実施内容 日本国内での過去の事例を取り上げた記事

⑥⑦ インターネット投票を実施するためのルールや方法を吟味しよう。そして三木町長に提案してみよう。【思】 《見方・考え方》 民主主義

(学習内容) インターネット投票を国でする前に自治体で実施してみることにする。その際に前時の学習で出た課題点や過去の事例から、実施方法を検討していく。(⑦のあと放課後等を利用して、町長に提案する機会を設ける)

(主な使用資料) 前時で使用した資料 インターネット記事

⑧ 単元を貫く問いに対する自分の考えを書き、18歳の自分に向けての助言を書こう。【主・思】 《見方・考え方》 民主主義・民主政治

(単元を学び終えた時の生徒の助言の例)

18歳になり選挙権を得た際には、日本の未来を考え、立候補者の公約を見ながら投票していきたい。しかし、政治に関わるのは選挙に行くことだけではなく、自ら政治家になるという選択肢もある。どちらにせよ、日本や世界の政治の状況や経済などに関心を持ち、自分が大人になった時にどのような社会にしたいかを考え続けることが大切であると考えている。今の制度を維持するだけでなく、新しい要素を加えたり、変化を加えたりすることもこれからは必要であると学習を通して考えた。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時の振り返り、現在の日本の選挙制度の仕組みと選挙の課題点を確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ 前時に学習した選挙制度の仕組みを確認し、現在の選挙の課題として、若者の投票率が世界の国と比較して低いことをグラフ等で再確認させる。</p> <p>○ 新聞記事を活用し、海外や日本国内でのインターネット投票実施の試みを紹介し、本時の学習課題を設定する。</p>
<p>日本の国政選挙でインターネット投票を実施すべきか検討しよう</p>	
<p>3 学習課題に対して、現時点で賛成か反対かを考える。</p> <p>4 資料をもとに検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で検討する。 ・4人班で話し合う。 ・ロイロノートで班の意見を共有し、自分の考えを再検討する。 	<p>○ 現時点での意思決定に至った理由を必ず書くように指示する。</p> <p>○ 授業前と授業後で生徒の意見がどのように変化したのかわかるように、学級全体の賛成・反対の総数とその理由を板書しておく。</p> <p>○ 生徒の考えが可視化できるように、ワークシートを用いて、自分の考えを記述させる。</p> <p>○ 4人班での話し合いを深めるために、インターネット投票を実施した地域の新聞記事や、海外で実際にどのようなルールで行われているかなどを記載した資料から、インターネット投票のメリットとデメリットを考えさせる。</p> <p>○ 話し合いの結果を全体で共有しやすくするために、ロイロノートを用いて、全体で話し合った内容を確認する。</p> <p>○ 生徒の考えを深めるために、全体共有の後に「なぜ日本で実施されていないのか」と問いかけ、追加資料を配布し、日本でインターネット投票の実現に至っていない理由を考えさせる。</p>
<p>5 学習課題に対する自分の考えをまとめ、学級全体でインターネット投票を実施するか判断する。</p>	<p>○ 班での話し合いを踏まえて、自分の考えを再構築し、根拠を明確にしながら、ワークシートに記述させる。</p> <p>○ 検討前との考えを比較するために、学級全体で現時点での学習課題に対して賛成か反対かを問う。</p>
<p>6 本時の学習を振り返り、次時への見通しを持つ。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>● 学習課題に対する自分の考えを、他者の意見を踏まえながら再考し、具体的に記述することが出ているか。</p> <p style="text-align: right;">[ワークシート]</p>

丸亀

地理的分野

I 単元の構造図

世界の様々な地域

—世界の諸地域 ヨーロッパ州の地域内の結びつき—

九亀市立西中学校 指導者 阿川 侑平

I 単元の構造図

B 世界の様々な諸地域
(2) 世界の諸地域②ヨーロッパ

ヨーロッパ州は、争いの中で主権者が目まぐるしく入れ替わりながら、人々の生活や独自の文化がつくられてきた。近代においては、民族意識の高まりから国家の衝突が相次ぎ、二度の大戦を経て協力・統合しEUを結成するなど世界への影響力も高めている。国境をこえた結びつきが強いという地域的特色のある地域である。

《単元を貫く問い》ヨーロッパ州の地域内の結びつきの変化や今後の課題とは何だろうか。

① ②ヨーロッパ州の国や自然環境について知識を身につけよう。【知・思】

《見方・考え方》国名の位置関係、自然環境の地域による特色やちがい

《学習内容》○世界の中でも有数の経済国について ○比較的小規模の国もあるなど多くの国が陸続きになっていること ○地中海性気候と西岸海洋性気候 ○高緯度でも温暖である ○暖流や偏西風の影響がある。

《資料》○ヨーロッパ州白地図○書き込みができるホワイトボード○雨温図○地図帳○国旗○iPad○拡大モニター

《問い》日本の北海道よりも高緯度にあるのに、なぜドイツやフランスは温帯になるのか。

③「ヨーロッパ州でくらす人々の生活の特色を、宗教の面から考えよう。【知・思】

《学習内容》

○キリスト教と年中行事
○カトリックやプロテスタントなどの宗派

《見方・考え方》キリスト教の宗派と民族の分布には関連性があり、生活の中に深く根付いている。

《問い》キリスト教と生活習慣や行事や催し物の関連性にはどのようなものがあるだろうか。

《資料》

○写真資料（キリスト教に関連する催し物、クリスマス、イースターなど）

④「ヨーロッパ州でくらす人々の生活の特色を、言語や人種系統の面から考えよう。【知・思】

《学習内容》

○ゲルマン、ラテン、スラブ系
○言語・人種系統の分布と宗派の広まりの分布

《見方・考え方》キリスト教の宗派には考え方や生活習慣の違いがあり、地域のまとまりに影響を与えている。

《問い》人種のちがいがあるのに、国としてまとまりをもっているのはなぜだろうか。

《資料》

○写真資料（国際サッカー大会の集合写真）
○カトリックやプロテスタントなどの宗派の分布図、ゲルマン系やラテン系など人種の分布図

⑤「様々な人種や、文化のちがいがあるのにEUとしてまとまる理由を調べよう【知・思】

《学習内容》

○EUという地域機構
○EU地域内の国の経済力
○EU加盟国の年代別のちがい
《見方・考え方》ヨーロッパの各国は経済規模が小さい国が多く、まとまりを持つことで大国と渡り合っている。

《資料》

○デンマーク、ドイツ、イタリアの統計資料
○アメリカ、日本の統計資料

⑤⑥EU地域内の結びつきの特色を農業生産物の輸出入から考えよう【知・思】

《学習内容》○地中海式農業 ○混合農業 ○EU地域内の食料自給率 ○EU域内の関税、共通通貨

《見方・考え方》ヨーロッパの各国は経済規模が小さい国が多く、互いの生産物の輸出入を活発にすることで、支え合っており経済的な利点が大きい。

《資料》○各農作物の写真資料 ○食料自給率のグラフ

⑦イギリスはEUを離脱すべきかを考え、自分の意見を発表しよう。【知・思】

《学習内容》○EUの利点 ○イギリスのEU離脱の選挙 ○EU域内の課題・問題点

《見方・考え方》イギリスEU離脱について、自分ならどのような決定をするか。根拠に基づいて理由を考え自分の意見を持つ。実際に模擬選挙をクラスで行い、EU離脱について賛成・反対の意見を持つ。

《問い》なぜイギリスでは離脱・脱退という決定に至ったのか。

《資料》○各農作物の写真資料 ○食料自給率のグラフ ○投票用紙

《単元の学習を終えたときの生徒の姿》

ヨーロッパ州学習を通して身につけてきた知識をイギリスのEU離脱というテーマに関連づけて多面的・多角的に考察させることにより、ヨーロッパ州の地域的特色について学ぶことができた。イギリスのEU離脱の賛否について自己決定する場を設けることにより、自分の考えに根拠や理由を持たせることができた。実際の国民投票の結果の割合を知り、1人の意見が世の中を変える可能性があるということを感じることができ、将来においても自らが課題に向き合い、社会参画を自発的に行うことでものごとを解決しようとする態度や資質を養うことができた。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 イギリスのEU離脱の記事を見る。</p> <p>3 実際に行われたイギリスでの国民投票の結果を知る。 ・離脱賛成 51% 反対 49%</p>	<p>○ EUについて学んだことを確認する。</p> <p>○ 新聞記事など大きい見出しを掲示し、EUにも課題があることにも気づかせる。</p> <p>○ イギリス国内でも未だ離脱について賛否があることに気づかせる。</p>
<p><学習課題>イギリスはEUを離脱すべきか考え、自分の意見を発表しよう。</p>	
<p>4 EU残留の利点を調べるグループと離脱する理由を調べるグループに分かれ、資料から読み取って付箋紙に書く。(個人→4人班)</p> <p>残留・大きな経済圏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出入しやすい ・企業の本社がある <p>離脱・経済格差</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働者や難民の流入 ・テロや治安の悪化 <p>5 班で話し合ったことを発表する。(全体)</p> <p>6 EUに残留すべきか、離脱すべきかを考え、その理由をワークシートに書く。</p> <p>7 黒板に自分のネームプレートを貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残留・離脱についての意思表示を行う。 ・理由を発表する。 	<p>○ 4人班を9つ作り、1～4班は残留について、5～9班は離脱に関することを調べるよう指示する。</p> <p>○ まずは個人で資料から読み取った内容を付箋紙に書かせ、その後4人班で話し合い、班でまとめさせる。 (自己決定・共感的人間関係)</p> <p>○ 机間指導しながら支援が必要な生徒には資料の見方を助言する。</p> <p>○ 班でまとめたことを発表させ、板書することで全体へ学習内容を広める。</p> <p>○ 単なる意思決定にならないように注意を促し、自分の考えに根拠を持たせる。</p> <p>○ 黒板に残留と離脱の枠組みを設け、ネームプレートで自分の意見を示すと共に、他の意見を知る。(自己決定・共感的人間関係)</p> <p>○ 自己決定した結果に対する理由を数名に発表させ、考えを共有する。(共感的人間関係)</p>
<p>8 本時で考えたことや感じたことを書く。</p>	<p>○ イギリスの国民投票の比率を再度伝え、将来においても自分の意見を持ち、自己決定したことが社会に反映していく重要性を伝える。</p> <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資料からEU残留や離脱について読み取り、班員と協力して調べ学習ができています。 ● EU離脱についての様々な意見を聞き、自己決定した内容の考えを深めることができています。

日本の諸地域 九州地方

—農業から見る地域的特色—

丸亀市立南中学校 指導者 嶋田 博文

I 単元の構造図

C 日本の様々な諸地域 (3) 日本の諸地域 九州地方	自然豊かな九州地方は、温暖な気候で多くの火山があり、台風などの影響により降水量が多い。また、諸外国と近い位置関係にあり、このような自然条件を活用した産業が発展している。
-----------------------------------	--

【単元を貫く問い】
自然豊かな九州地方では、人々の生活や産業にどのような特色がみられるのか。

①学習課題	九州地方の自然環境には、どのような特色があるのだろうか。	【知】
学習内容	九州地方には、多くの火山が分布し、近海には暖流が流れていて、冬でも温暖である。また、季節風や台風の影響により、夏の降水量が多い。	
資料	九州地方の地図、雨温図	
見方・考え方	場所 <問い>「九州の地形や気候にはどのような特色があるのか。」	

②学習課題	
九州の人々は、火山とどのように共存しているのだろうか。	【知】【思】
学習内容	
九州の人々の生活には、火山の噴火に備えるための工夫が多くある。また、火山がもたらした恵みとして、温泉や地熱発電がある。	
資料	
九州地方の火山の分布、噴火の様子、温泉地と宿泊者数、地熱発電所の分布	
見方・考え方	
人間と自然の相互依存関係 <問い>「火山は、人々に何をもたらしているのか。」	

③学習課題	
なぜ九州南部では、シラス台地があるのに農業がさかんなのだろうか。	【知】【思】
学習内容	
九州南部は火山灰でできたシラス台地が広がり、農業に不向きな土地であったが、ダムや農業用水の整備により、畜産や畑作が盛んに行われるようになった。	
資料	
全国の農業産出額グラフ、シラスの分布、さつまいもの生産、畜産の円グラフ、畜産のブランド化	
見方・考え方	
地域 <問い>「九州南部の人々は、シラス台地での農業にどのように取り組んできたのか。」	

⑤学習課題	
九州地方では、どのように工業が発展してきたのだろうか。	【知】【思】
学習内容	
九州はアジアとの距離が近く、福岡市は港町として昔から栄えた。また北九州市は、中国からの鉄鉱石を輸入して鉄鋼業が栄え、悩まされた公害も克服してきた。	
資料	
福岡空港の訪日外国人の国・地域別割合、九州の工業出荷額の内訳、自動車関連工場の分布	
見方・考え方	
地域 <問い>「なぜ九州地方では、鉄鋼業が栄えたのか。」	

④学習課題	
九州北部では、どのような農業がさかんなのだろうか。	【知】【思】
学習内容	
九州北部は降水量が多く、筑紫平野を中心に二毛作が盛んである。また最近では、ブランド化されたいちごなどの生鮮野菜がアジアへ輸出されている。	
資料	
九州地方の地図、雨温図、写真（海外で人気がある日本の果物）、九州南部の農業との比較資料	
見方・考え方	
地域 <問い>「九州北部と南部の農業には、どのような共通点や違いが見られるのか。」	

⑥学習課題	沖縄では、どのようにして観光業が発展してきたのだろうか。	【知】【主】
学習内容	沖縄は冬でも温暖な気候であり、東アジアとの交流を通じて、独自の文化を発展させてきた。また、戦後はアメリカによって統治されており、米国風の街並みや文化が色濃く残る。現在は、国内外からの観光客が増加する一方で、開発と環境保全の両立が課題である。	
資料	沖縄の主な産業、観光客数の変化、米軍基地の分布、米軍基地の移設問題	
見方・考え方	空間的相互依存作用 <問い>「沖縄はどのようにして多くの観光客をひきつけているのか。」	

【単元を学び終えたときの振り返りの例】

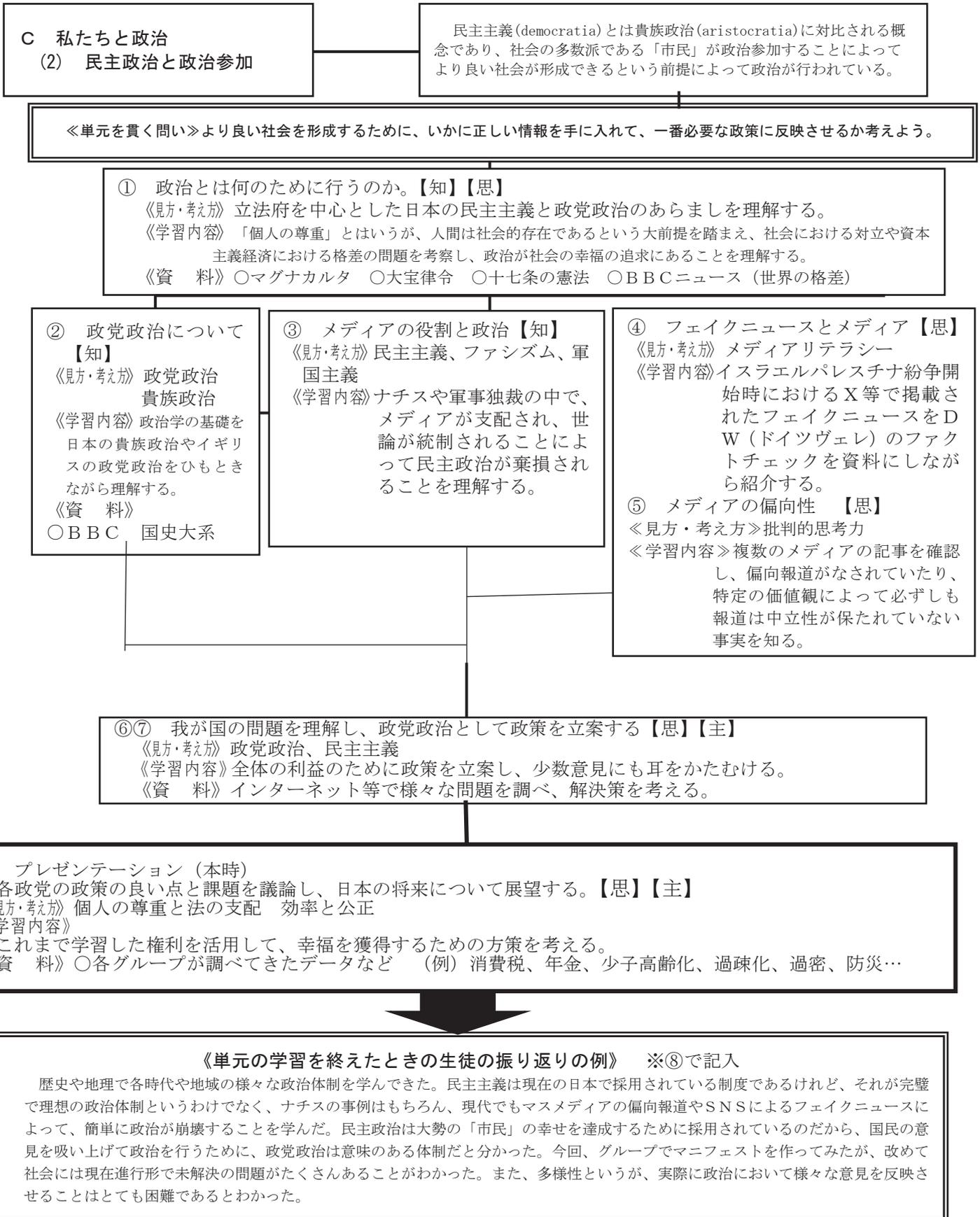
九州地方は、多くの火山があり、年間を通して温暖な気候で自然豊かな地域である。火山は災害をもたらすことがあるが、温泉などの観光資源や地熱発電などにも活用できる。また、豊かな自然やアジアと近い位置関係を活用した農業や工業などが発展しており、九州の人々の工夫が多くみられた。最近では、沖縄を中心に国内外の観光客が増加している一方で、リゾート開発や米軍基地の移設による環境破壊が心配されている。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 []評価方法)

学習内容・活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 九州の地形などについて復習する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ 気候や地形（火山）などの既習事項をイメージしやすくさせるために、写真や動画を提示する。</p> <p>○ 九州南部が稲作に適していない特性であることを気づかせるために、シラス台地の特徴や分布を提示する。</p> <p>○ 稲作に適していない九州南部で農業がさかんであることを気づかせるために、2021年の農業産出額のランキングを提示する。 (鹿児島2位、宮崎4位、熊本5位)</p>
<p>なぜ九州南部では、シラス台地があるのに農業がさかんなのだろうか。</p>	
<p>3 学習課題について検証する。</p> <p>(1)個人で予想する。</p> <p>(2) 資料をもとに課題について検証する。</p> <p>資料1 シラス台地の特徴と土地活用 (高隈ダムとかんがい用水の整備)</p> <p>資料2 気候に適した飼料作物(さつまいも)の栽培</p> <p>資料3 シラス台地の分布と畜産</p> <p>資料4 畜産の歴史とブランド化</p> <p>(3)個人で考える→班で共有する→全体で発表する</p>	<p>○ 個人で予想した後、予想を検証するにはどのような資料があればいいのかを考えさせる。</p> <p>○ 班員で資料を分担し、意見を共有しやすくするために、まなボードを活用する。</p> <p>○ 九州南部で農業が盛んである理由を考えやすくさせるために、資料のポイントを示したヒントカードを配る。</p> <p>○ 畜産には多くの飼料が必要であることに気づかせるために、家畜1kgを作るのに必要な飼料を示した表を提示し、さつまいもを利用した循環型農業の表を提示する。</p> <p>○ 畜産の割合が高いことを確認させるために、九州南部の農業産出額の内訳を示すグラフを提示する。</p> <p>○ 畜産以外にも盛んな農業の例として、「茶」を、また「うなぎ」の写真を提示することで、シラス台地と漁業の関連性について疑問を投げかける。</p>
<p>5 鹿児島で「茶」と「うなぎ」の生産がさかんである理由を考える。</p>	<p>○ 2つの農作物の共通点は、シラス台地を活かしていることに気づかせるために、茶の生産とうなぎの養殖に必要な条件を提示する。</p> <p>○ 茶は飼料としても活用されていることに気づかせるために、ブランド化を進める「茶美豚」の例を紹介する。</p>
<p>6 本時の振り返りをする。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>● 資料を読み取る活動を通して、九州南部で農業がさかんな理由を、自然的条件や社会的条件を踏まえて、自分の言葉でまとめることができているか。 [観察・ワークシート]</p> <p>○ キーワードを示すことで、文章表現の苦手な生徒にもまとめやすいように配慮する。</p>

I 単元の構造図



II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時のプレゼンテーションをまとめる。</p> <p>(1) 6つの提案をレビューする。 ◎端末データ利用ICT</p> <p>2 本時の学習課題を知る。</p> <p>(1) 各政策のメリットとデメリットを踏まえたいう えで、本来の課題を意識する。</p>	<p>○ 各グループが提案して、意見を戦わせた政策について振り返らせる。</p> <p>○ 批判のための議論にならないように、政治や政策の目的が「国民の幸福の実現」であるという大原則を常に意識させる。</p>
<p>課題：我が国で今、一番問題となっていることは何か？ それを踏まえて、何に取り組むべきか？国民みんなで決めよう！</p>	
<p>3 論点を整理する。ICT</p> <p>(1) 班で端末を利用しながら、各班の政策の目的を再検討して、共通する問題意識を抽出する。</p> <p>(2) 全体で、もう一度我が国の課題を浮き彫りにする。</p> <p>(3) 日本の緊急の課題について共通認識して、それを解決するために不可欠な政策のひとつをまず国民で合意する。</p> <p>4 学習を振り返る。</p> <p>(1) 我が国の問題を再認識する。</p> <p>(2) 国家をより良くするために全員で考えた社会認識について振り返り、その有効性や問題点について実感する。</p>	<p>○ それぞれのグループの政策に共通する問題意識があるか抽出させて、対立の原因について相対化する。</p> <p>○ 国民が共通して取り組むべき課題について合意形成させるために、問題の本質は何かを整理しながら議論を進めるよう助言する。</p> <p>○ 異なる意見を否定せず、それらの意見の根拠や実現性、世論などを吟味しながら多様な意見をすり合わせていく議論の進め方を教え、実行していくように促す。</p> <p>○ 意見が対立する原因に、各々の価値観や優先順位があることに気づかせる。</p> <p>○ 異なる意見を否定するのではなく、実現可能性や修正点は何かを考え述べる思考法を促す。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 異なる立場の政策について議論を深め、より良い日本社会を形成するために不可欠な問題について合意形成し、民主主義の手続きに基づいて修正した政策を提出することができる。</p> <p style="text-align: right;">[発表・ワークシート]</p>

地理的分野

北海道地方

丸亀市立東中学校 指導者 内海 明人

I 単元の構造図

C 日本の様々な地域
(3) 日本の諸地域
北海道地方

北海道地方は、亜寒帯（冷帯）に属し、その自然環境を生かして、農業や水産業がさかんで、日本の食料基地と呼ばれている。また、観光業が発展しており、国内外から多くの観光客を集めている。

《単元を貫く問い》

日本の最北に位置し、亜寒帯（冷帯）に属する北海道では、人々の生活や産業にどのような特色が見られるのか。

① 北海道地方では、地形や気候にどのような特色が見られるのだろうか。【知・思】

学習内容 ○北海道の地形 ○亜寒帯（冷帯）の気候、○濃霧 ○流氷 ○火山の恩恵と災害

資料 ○北海道の地図 ○雨温図（札幌・釧路・網走） ○写真（有珠山の噴火、太平洋岸の濃霧）

〔見方・考え方〕 位置、環境条件 〈問い〉 北海道の地形や気候にはどのような特色が見られるのか。

② 北海道の人々は、雪や寒さをどのように克服したり、利用したりしているのだろうか。【知・主】

学習内容

○多い積雪と厳しい寒さ
○雪や寒さに対応した施設
○利雪の試み

資料

○都市別の年間降雪日数
○北海道を訪れる観光客数
○写真資料（除雪作業、融雪施設、雪や寒さに備えた住宅、雪室、雪まつり）

〔見方・考え方〕 環境条件、人間の営み

〈問い〉 北海道では、雪や寒さをどのように克服したり利用したりしているのか。

③ 寒冷な北海道では、稲作はどのように発展してきたのか。【知・思】

学習内容

○アイヌの人々の生活
○開拓使のもとでの開発
○品種改良
○減反政策と転作

資料

○稲作の北限
○稲の都道府県別収穫量
○農地面積の変化
○写真資料（屯田兵による開墾、泥炭地の開発、スーパーマーケットで売られる銘柄米）

〔見方・考え方〕 地域
〈問い〉 どのようにして厳しい自然条件を克服してきたのか。

④ 消費地から遠い北海道で、畑作や酪農、漁業はどのように発展してきたのか。【知・主】

学習内容

○土地改良と畑作の発達
○大規模化と機械化
○北洋漁業と養殖業・栽培漁業

資料

○雨温図（札幌・釧路）
○主な農産物の収穫量
○主な水産物の漁獲量
○写真資料（十勝平野の広大なじゃがいも畑、機械化された搾乳、ほたての養殖場と加工場）

〔見方・考え方〕 空間的相互作用

〈問い〉 北海道の農業や水産業が発展したのはなぜか。

⑤ 北海道では、観光業はどのように発展してきたのか。【知・主】

学習内容 ○雄大な自然 ○涼しい夏と寒さが厳しい冬 ○外国人観光客、観光業と自然保護

資料 ○外国人観光客数の変化 ○外国人観光客の出身国・地域

○写真（富良野盆地のラベンダー畑、旭山動物園の工夫、外国人観光客でにぎわうスキー場、知床の高架木道）

〔見方・考え方〕 環境条件、人間の営み

〈問い〉 北海道はどのようにして多くの観光客をひきつけているのか。

⑥ 北海道を代表するお土産は、どのようにして生まれ、その地位を築いたのか。【思・主】

学習内容 ○北海道みやげといえば「白い恋人」 ○賞味期限改ざん問題 ○石屋製菓の立て直し

資料 ○北海道のお土産ランキング ○「白い恋人」（実物、データ＝原料・味・ネーミング・デザイン・販売方法など） ○事前アンケート結果 ○石屋製菓へのインタビュー

〔見方・考え方〕 地域間の結び付き、人間の営み

〈問い〉 なぜ「白い恋人」はお土産ランキング1位を続けているのか。

《単元の学習を終えた時の生徒の姿》

北海道地方は、かつては「蝦夷地」と呼ばれ、アイヌの人々が自然と一体となった生活を営んでいた。開拓使が置かれた明治以降、雪やきびしい寒さなどの自然条件を克服して近代的な農業や水産業が発展し、日本の食料基地として私たちの食を支えるようになった。また、豊かな自然や特産物を生かした観光業も発展し、国内外から多くの観光客を集めており、特に近年では外国人観光客数の増加がめざましい。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時を振り返る。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ 事前アンケートの結果と北海道お土産ランキングをプレゼンテーション形式で発表することで、生徒の関心や意欲が高まるようにする。</p>
<p>学習課題：なぜ「白い恋人」はお土産ランキング1位なのだろうか</p>	
<p>3 予想を立てる。</p> <p>4 資料を使って調べる。</p> <p>(1) 班のテーマ別に読み取りを行い、ワークシートに記入する。</p> <p>(2) 班ごとにホワイトボードにまとめる</p> <p>(3) まとめた内容を全体で発表し、意見交換を行う。</p> <p>5 追加の資料や説明を視聴する。</p> <p>(1) 「白い恋人」についてのインタビュー動画を視聴する。</p> <p>(2) 石屋製菓の企業努力について、教師の補足説明を聴く。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ 予想に際し、商品の実物を見せ、試食させる。</p> <p>○ 原材料の表記に着目させるとともに、試食についてはアレルギーに対する配慮を行う。</p> <p>○ 前時までの学習内容とともに、パッケージなどのデザイン、見た目や味など、様々な観点から考えるよう助言する。</p> <p>○ テーマ別に用意した資料【ネーミング・デザイン、原材料、味】を、班ごとに配付する。</p> <p>○ 自班のテーマに沿って個人で調べ、ワークシートにメモを取らせる。</p> <p>○ 机間指導では、ランキング1位の理由につながる内容に重点を置くよう助言する。</p> <p>○ 班内で話し合い、まとめた内容をホワイトボードに記入させる。</p> <p>○ 各班のホワイトボードを黒板に掲示させ、テーマごとに発表させる。</p> <p>○ 時間配分に留意しながら、各班の発表内容に対する質問や意見を出させる。</p> <p>○ 石屋製菓を訪問して行ったインタビュー動画を視聴させる。</p> <p>○ 販売方法や広告などの面について、簡潔に説明を行う。</p> <p>○ 賞味期限改ざんの経緯や経営の立て直しについて、補足説明をする。</p> <p>○ 「白い恋人」が国内外の観光客から愛され続けている理由を、ワークシートやホワイトボードの語句を使って、自分の言葉でまとめるよう助言する。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 「白い恋人」がお土産ランキング1位を続けている理由を、北海道の自然環境や産業の特色をとらえて、自分の言葉で説明することができる。 [ワークシート]</p>

国の政治のしくみ

－民主政治を発展させるためには、どのようなことが必要なのだろうか－

丸亀市立南中学校 指導者 川田 和正

I 単元の構造図

《単元を貫く問い》主権者として私たちは、どのように三権に関わっているのだろうか？

①② 国会はどのような仕事を、どのようなしくみで行っているのだろうか。
《見方・考えか》国会の役割としくみ
《学習内容》国会はどのような仕事を、どのようなしくみで行っているのかを理解する。
【知】国会のおもな仕事としくみについて理解し、その知識を身につけている。
【思】国会で二院制や衆議院の優越が取り入れられている理由を考え、自分の言葉で説明している。

④ 国民の要望を実現するために、内閣はどのような役割を果たしているのだろうか？
《見方・考えか》内閣の役割としくみ
《学習内容》国民の要望を実現するために、内閣はどのような役割を果たしているのかを理解する。
【知】議院内閣制のしくみや内閣の役割について理解し、その知識を身につけている。
【思】資料を比較し、日本の議院内閣制の特色について多面的・多角的に考察し、表現している。

③ 国会は、法律の制定においてどのような課題を抱えているのだろうか。
《見方・考えか》国会の現状と課題
《学習内容》国会は、法律の制定においてどのような課題を抱えているかを考える。
【知】法律制定のしくみや法律を制定する上で国会が抱える課題について理解し、その知識を身につけている。
【思】「法律ができるまで」の事例から、法律が改正される過程を読み取り、法律制定のしくみについて自分の言葉で説明している。

⑤ 現在の行政はどのような課題を抱えているのだろうか？
《見方・考えか》行政の役割と課題
《学習内容》現在の行政はどのような課題を抱えているのかを理解する。
【思】行政改革や規制緩和が進められている背景を多面的・多角的に考察し、表現している。
【主】身近な生活の中から国の行政の仕事を見つけ出し、図2の行政機関に分類している。

⑥ 裁判は私たちの生活でどのような役割を果たしているのだろうか？
《見方・考えか》私たちの生活と裁判
《学習内容》裁判は私たちの生活のなかでどのような役割を果たしているのかを理解する。
【知】裁判のしくみや役割、民事裁判と刑事裁判の違いについて理解し、その知識を身につけている。
【主】具体的な事例をもとに、裁判についての関心を高め、裁判を身近なものとしてとらえている。

⑦ 裁判ではどのように人権が守られているのだろうか？
《見方・考えか》人権を守る裁判とその課題
《学習内容》裁判にはどんな種類があり、どのように人権が守られているのかを理解する。
【知】司法制度改革が進められている背景を調べ、日本の司法制度の課題を整理している。

⑧ 裁判をより身近で公正なものにするために、どのような取り組みがなされているのか？
《見方・考えか》裁判員制度
《学習内容》昔話法廷「さるかに合戦」を題材に、裁判員として自分なりの判決を考える。
【思】事件の状況、証人の証言をもとに、弁護人と検察官の主張を整理して、死刑にするかしないかについて、多面的・多角的に考え、選択した理由を説明している。
【主】裁判員制度が導入されていることを踏まえて、裁判に積極的にかかわろうとしている。

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

主権者である国民として、国の政治や裁判について関わっていかなければいけないことが分かった。今まであまり見ていなかった新聞やニュースを見ようと思った。18歳になったら必ず選挙に行きます。

II 学習指導過程

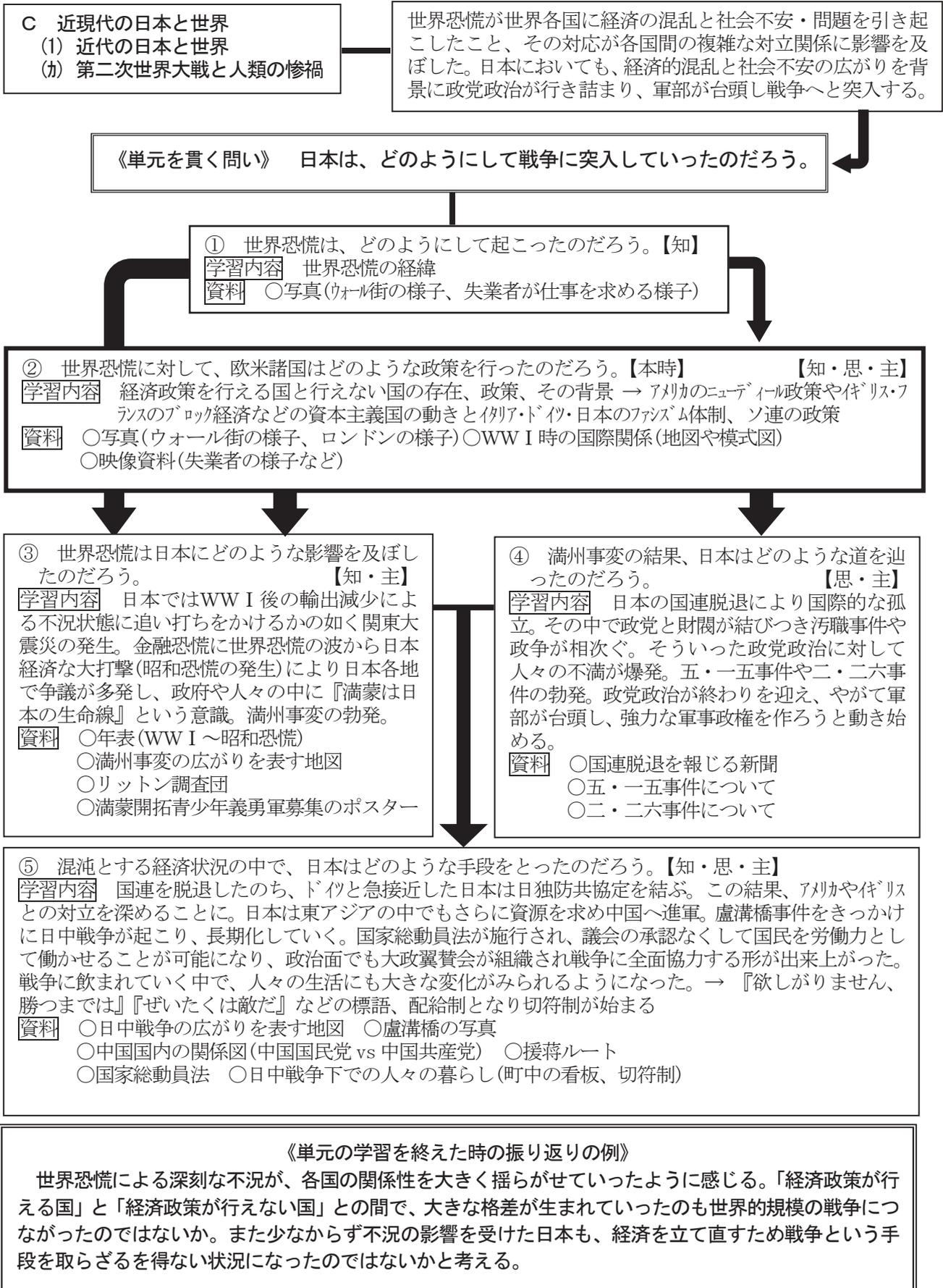
(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
1 学習課題を確認し、動画を視聴する。	○ 動画視聴後、裁判員として自分の意見を決定することを伝えておく。
【学習課題】 カニの親子を殺した猿を死刑にするか、死刑にしないか？	
2 裁判の争点を確認し、猿を死刑にするかしないかを選択する。	○ 裁判の争点を簡潔に説明し、法廷のやり取りだけを根拠にして判断することを確認する。
3 自分の意見を意思表示し、証拠や証言を根拠にして理由を述べる。また、自分とは違う意見についてメモを取る。	○ 黒板に登場人物の相関図を示す。 ○ 死刑にするか、死刑にしないかのどちらを選んだかを挙手させ、少ない方から意見を発表させる。
4 最終的な自分の考えをまとめる。	○ 自分とは違う意見に対して、質問や反論をして、自分の意見を深めさせる。また、他者の意見をメモするよう指導する。
5 今回の裁判や死刑制度についての意見や感想を書く。	○ はじめの意見と変わってもいいことを伝える。変わらない生徒には、自分の意見とは違う意見で「確かに」と思ったものを書かせる。
4 最終的な自分の考えをまとめる。	○ はじめの意見と変わった生徒を机間指導で見つけておき、発表させる。
5 今回の裁判や死刑制度についての意見や感想を書く。	○ 死刑制度を廃止する国が多い中、日本では死刑制度を存続する意見が多いことを伝える。
	思考・判断・表現 ● 自分が裁判員になった時のことを想像し、償いの意味について書くことができているか。また、死刑制度について賛成か反対かを選択してその理由を書くことができているか。 [ワークシート]

近現代の日本と世界

丸亀市立綾歌中学校 指導者 櫻井 余吏子

I 単元の構造図



II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習活動	指導上の留意点及び支援活動	形態
<p>1 既習内容の復習をする。</p> <p>2 学習課題を設定する。</p>	<p>○ 第一次世界大戦後、どこの国が力を持ち影響力を強めたかを考えるために、アメリカの工業の飛躍の資料を提示する。</p> <p>○ 1929年10月24日のニューヨーク・ウォール街の写真とロンドンでの写真を資料として提示し、世界恐慌が起こったこと説明する。</p>	<p>一斉</p>
<p>世界恐慌に対して、世界各国はどのような政策を行ったのだろうか</p>		
<p>3 世界恐慌がどのような影響を及ぼしたのか、概要を知る。</p>	<p>○ 世界恐慌が起こった経緯と及ぼした影響について簡単に説明する。その際、資本主義経済が原因の一つであると推測できる資料を提示する。</p>	<p>一斉</p>
<p>4 資料から欧米諸国がそれぞれどのような対策を講じたか表をまとめる。</p>	<p>○ 4～5人グループになり、世界各国がどのような対策をしたのか表に自分たちなりにまとめるよう指示する。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>● グループで資料をもとに表作成に取り組めたか。 [ワークシート]</p> <p>○ アメリカと同じような資本主義の国だけではなく、ソ連などの社会主義の国はどうだったか、日本はどうだったかも含めて表にまとめるよう指示する。</p>	<p>グループ</p>
<p>5 出来た表を全体に発表する。</p>	<p>○ 資本主義の国と社会主義の国で世界恐慌の影響や対策の違いに気付かせるために、それぞれのグループのまとめ方等を比較するよう助言をする。</p>	<p>一斉</p>
<p>6 日本の今後を予想する。</p>	<p>○ 予想させるために、世界恐慌の影響に、日本を含めドイツやイタリアは領土を拡大することで不況からの脱却、全体主義的な政治へと移り変わっていくことを説明する。</p>	<p>個人</p>
<p>7 本時の振り返りをする。</p>	<p>○ グループでの活動や、世界恐慌に対して世界各国が行った政策を、経済や思想の違いに着目して説明できるよう自分の言葉でワークシートにまとめるよう促す。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 既習事項をもとに「資本主義の国」「社会主義の国」「植民地の有無」など多角的に考察し、「経済」「政治」「軍事」などいろいろな面について考えをめぐらせることができたか。 [ワークシート・振り返りシート]</p>	<p>個人</p>

小豆

アフリカ州

～モノカルチャー経済とその影響～

小豆島町立小豆島中学校 指導者 藤塚 拓海

I 単元の構想図

- B 世界の諸地域
- (2) 世界の諸地域
- ③アフリカ

アフリカ州は、ヨーロッパ諸国の植民地支配を受けた歴史的背景から、多くの国が特定の農産物や鉱産資源の輸入に頼るモノカルチャー経済に頼っている。

《単元を貫く問い》

アフリカ州の国々では、特定の産物に頼る経済が、地域にどのような影響を与えているのだろうか。

- ① アフリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。【知】
《見方・考え方》自然環境
《学習内容》

南北に長く面積の広いアフリカ州は、大部分が高原や台地で比較的標高が高く、気候は赤道からの距離に応じて気候帯が分かれています。

《資料》

- アフリカ州の地図
- サハラ砂漠の様子
- コンゴ盆地の熱帯林の様子
- アフリカ州の主な都市の雨温図

- ② アフリカ州はどのような歴史をたどり、その文化には、どのような特色があるのだろうか。【知】【思】

《見方・考え方》植民地支配

《学習内容》

アフリカ州のほとんどがヨーロッパ諸国の植民地であった歴史から、言語や教育、食文化などにヨーロッパの影響がみられ、今もヨーロッパとの強いつながりをもつ国が多い。

《資料》○主な使用言語とアフリカ～ヨーロッパ間の航空路

- ③ 本時【知】【思】

《見方・考え方》モノカルチャー経済

《学習内容》

アフリカの多くの国は特定の農産物や鉱産資源の生産・輸出に頼るモノカルチャー経済の国となっており、人々の生活を守りつつ開発をしていくことが課題になっている。

《資料》○アフリカの主な農産物・鉱産資源 ○アフリカ各国の主な輸出品 ○カカオ豆の国際価格の変動

- ④ アフリカ州の国々は、どのような課題を抱えており、その解決に向けと発展に向けて、どのように取り組んでいるのだろうか。【思】

《見方・考え方》人口増加と食料不足、NGO

《学習内容》

アフリカの国々は、不安定な経済、貧困から抜け出すために、工業化や観光業などに取り組むとともに、先進国も栄養不足の改善、道路や水道、電気の整備などの開発援助、現地の人々の手で継続できる支援に取り組んでいる。

《資料》○総人口に占める栄養不足の人口の割合 ○国境なき医師団のHP

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

特定の農産物や鉱産資源が豊富に取れるのでそれを輸出していると思っていたけど、アフリカ州の植民地支配を受けた歴史的な背景から、モノカルチャー経済になっていることが分かった。モノカルチャー経済では、天候不順や災害などでその産物が不作になったり、国際価格が下がったりすると、輸出から得られる国の収入が大きく減ってしまうため、年ごとの国の収入が安定しないという問題が生じることが分かった。アフリカ州の経済的発展のために日本がモノやお金の支援だけでなく技術支援や人材育成を行っており未来を見据えた支援が行われておりすごいと思った。自分にできることはないかを考えるきっかけになった。

II 学習指導過程 (○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

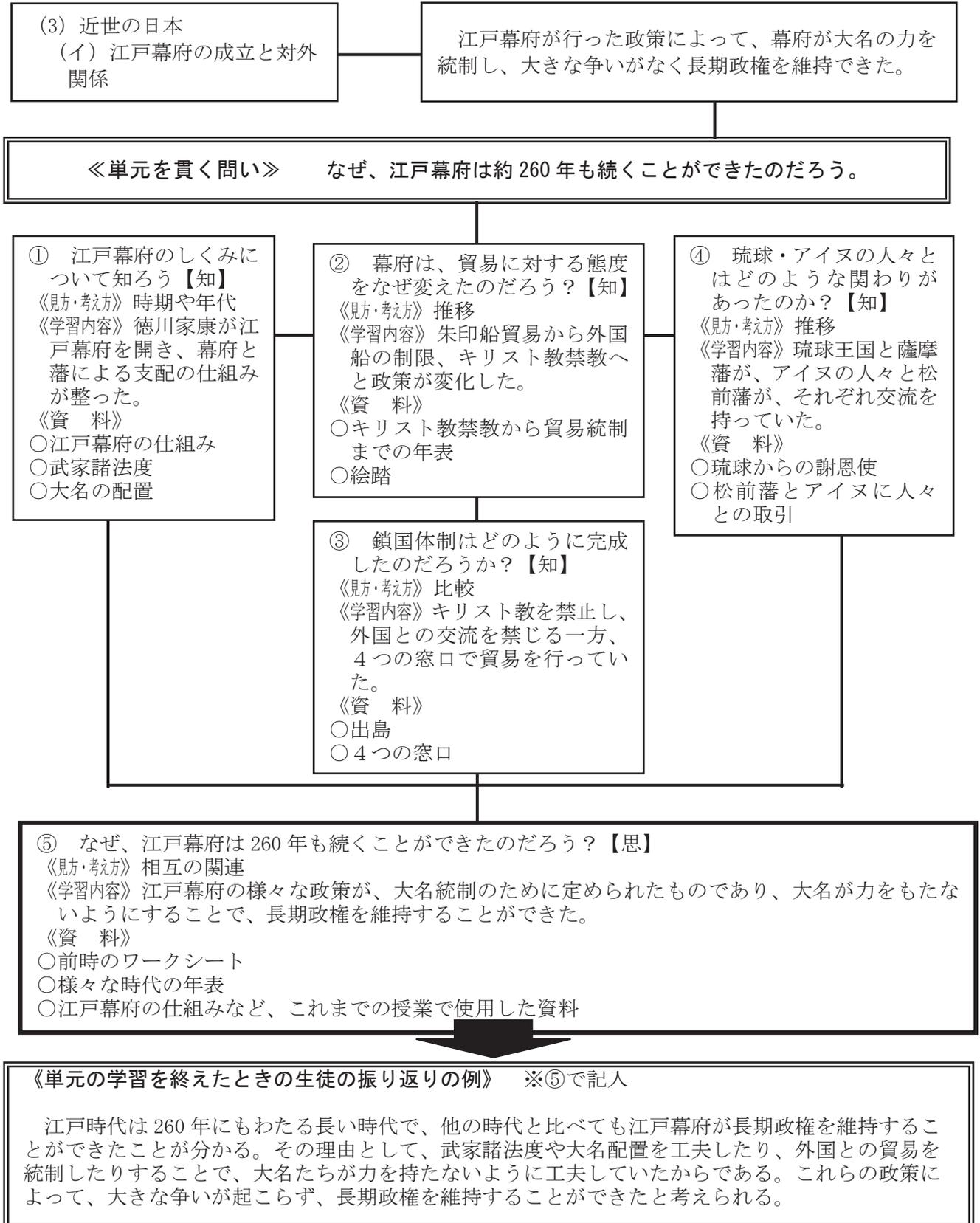
学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 チョコレートの写真から、カカオ豆の栽培につなげ、本時の課題をつかむ。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ カカオ豆の栽培に注目させるために、チョコレートが何からできているかを問う。</p>
<p>アフリカ州の産業にはどのような特色があり、そこにはどのような課題があるのだろうか。</p>	
<p>3 アフリカ州で栽培が盛んな農産物や、産出が盛んな鉱産資源について資料から読み取る。</p> <p>(1) 資料から栽培が盛んな農産物を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の栽培が盛んな地域がアフリカ州のどのあたりにあるか資料から読み取る。 ・自然環境の学習と関連付けて、農産物の栽培が盛んな地域はどのような気候か考える。 ・どのような農産物の生産が盛んであるか読み取る。 <p>(2) 資料から産出が盛んな鉱産資源を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州ではどのような鉱産資源が産出されているかを資料から読み取る。 <p>4 アフリカ州の多くの国が抱えるモノカルチャー経済の問題点を考察させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ各国の主な輸出品のグラフを見てアフリカの輸出に関する特徴を考察する。 ・カカオ豆の国際価格の変動のグラフから、特定の輸出品に頼ることによる問題点を考察する。 <p>5 アフリカ州がなぜ、このような課題を抱えることになったのか考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習してきた、アジア州やヨーロッパ州とアフリカ州の違いは何かを考察する。 	<p>○ 生徒が読み取る資料と同じ資料をスクリーンに投影し、着目する点を記入していく。</p> <p>○ 農産物の生産が盛んな地域が赤道付近に広がることや、赤道付近は熱帯気候であることに気づかせるために、主題図や雨温図を使用する。</p> <p>○ ケニアのバラや茶についてもおさえる。</p> <p>○ 農作物の栽培に向かない地域で、鉱産資源の産出が盛んに行われていることに気づかせる。</p> <p>○ コバルトやプラチナなどの具体的な名前を出しながら、レアメタルが産出されていることも確認する。</p> <p>○ アフリカの輸出品目が特定の農産物や鉱産資源になっていることに気づかせるために、輸出品目のグラフを使用する。</p> <p>○ カカオ豆の国際価格の変動によって、収入が安定しないという問題があるということにグラフの読み取りから気づかせる。</p> <p>○ 前時に学習した植民地支配されていたことによって、ほかの地域に比べて経済の発展が遅れていることや、ヨーロッパとのつながりが残っているということに資料をから読み取る。</p>
<p>6 本時の学習課題に対するまとめをする。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>● アフリカの多くの国が植民地支配されていた歴史的背景から、特定の農作物や鉱産資源の生産・輸出に頼る経済になっていることが書けている。</p> <p style="text-align: right;">[ワークシート]</p>

武士による全国支配

－江戸幕府の成立－

土庄町立土庄中学校 指導者 小向 久海

I 単元の構造図



II 学習指導過程 (○配慮事項)

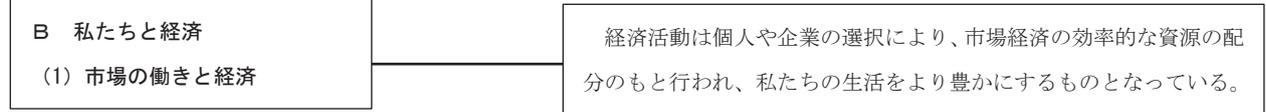
学習内容及び活動	指導上の留意点及び計画 (◎は学びの成果や成長の自覚に重点を置いた配慮事項) (㊦は評価〔評価方法〕 ●はBに至らない生徒への手立て)
1 前時の復習をする。 2 学習課題の確認をする。	○ 前時の復習のために、ワークシートの該当箇所を見るように指示する。 ○ 他の時代と比べることで、江戸時代が長く続いたことに注目し、本時の課題につなげることができるようにする。
なぜ、江戸幕府は約 260 年も続くことができたのだろう。	
3 江戸幕府が長く続いた理由について、幕府の仕組みをもとに考える。 (1) グループで、幕府の仕組みについて資料から読み取る。 ①江戸幕府の政治の仕組み ②武家諸法度と参勤交代 ③大名の配置と幕府領 ④貿易統制 (2) 全体で共有する。 (3) 江戸幕府が長く続いた理由についてまとめる。 4 本時の振り返りをする。	○ それぞれの資料について、中世との比較や前時での既習事項をもとに、江戸幕府が行った政策の特徴をワークシートにまとめるよう指示する。 ○ グループで協力して資料を読み取り、江戸幕府が、大名が力をもたないように統制するためにどのような政策を行っていたか考えるよう指示する。 ○ 学習支援システム(ロイロノート)の共有ノートを用いて、資料から読み取った内容を記入するように指示する。 ○ 全体で共有した内容をまとめ、幕府が約260年にもわたる長期政権を確立できた理由をワークシートに記入するように指示する。 ◎ 江戸幕府が行ったそれぞれの政策が、幕府が大名の力を統制するように定められていることから、大きな争いがなく長期政権を維持できたことに気づけるよう助言する。 思考・判断・表現 ● 文章でまとめることが苦手な生徒には、ヒントカードを用意して、短い言葉やキーワードでまとめるように助言する。 ㊦ 江戸幕府の様々な政策が、大名統制のために定められたものであることを理解し、大名が力をもたないようにすることで、長期政権を維持することができたことを考察しているか。[ワークシート]

私たちと経済

ー市場の働きと経済ー

土庄町立豊島小学校 指導者 爲藤 慎也

I 単元の構造図



《単元の学習を終えたときの振り返りの例》

○ 経済活動は私たちの生活をより豊かなものになっている。生産者や企業が分業し、貨幣とモノ・サービスを交換することで、経済が循環し、効率の良い配分が行われている。資源の配分には、希少性が関わっており、人々の選択によって市場価格が変化する。そして、市場価格の変化によって、需要量と供給量が決まっている。

○ 家計と企業は経済活動において大きな役割と責任を持っている。家計は労働力を提供し、企業から賃金を得て、消費を通して生活を豊かにしている。これらの動きが、企業に利潤をもたらす、人々が必要としている安全で安心なモノやサービスの提供につながる。企業は利潤を追求するだけでなく、労働者の雇用を安定させ、働きやすい環境を作ったり、環境への配慮や社会貢献を行ったりするなど、社会を豊かにしている。金融の働きが、家計、企業の経済活動を円滑に行うために必要である。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 いちごの市場の価格の変動を確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ グラフをモニターで映し、市場の価格が変化することを視覚的に捉えられるようにする。</p> <p>○ いちごの価格が変化する理由を</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">いちごの価格はどのように決まるのだろうか。</div>	
<p>3 学習課題に対して、予想する。</p> <p>4 検証する。</p> <p>(1) 出荷量と価格の変動の資料を調べる。</p>	<p>○ 売る側や消費者側の立場で考えるよう声かけをし、予想しやすくする。</p> <p>○ 気付いたことをキーワードにし、ワークシートに記入し、全体で共有しやすくする。</p> <p>○ タブレットで配布した資料の気づいた点に印を付け、共有しやすくする。</p> <p>○ 買う側の需要量と売る側の供給量によって、均衡価格が決定することを説明する。</p>
<p>(2) 全体で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需要量 ・ 供給量 ・ 均衡価格 	<p>○ 司会を立て、生徒どうしの話合い活動を通じて共有し、意見をまとめる。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 出荷量と価格の関係について、表現できている。 [ワークシート]</p>
<p>5 価格の変動しないモノ・サービスのグラフを見て、他の価格の決まり方について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 独占価格 ・ 寡占価格 ・ 公共料金 	<p>○ 価格が変動していないことに着目するように問いかけることで、疑問をもてるようにする。</p> <p>○ 企業の視点に立つことで、独占や寡占のとき価格を自由に決められる有利さについて理解できるようにする。</p> <p>○ 消費者側の視点に立ち、生活に困る場合どうするかを考えるよう促すことで、行政の役割も大切であることを理解しやすくする。</p>
<p>6 振り返りをワークシートに記入する。</p>	<p>○ 買う側や売る側の視点を提示することで市場価格の決まり方について振り返りやすくする。</p>

さぬき・東かがわ

日本の諸地域 中国・四国地方
—中国・四国地方における地域間の結び付き—

さぬき市立さぬき南中学校 指導者 村尾 有里子

I 単元の構造図

C 日本の様々な地域
(3) 日本の諸地域
中国・四国地方

中国・四国地方は、高速道路や新幹線などの交通網や、本州四国連絡橋によって、両地域また他の地域と強く結び付いている。これらの交通網の整備は、産業や人々の営みに良い影響を与える一方で、新たな課題を生んでいる。

① 中国・四国地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。【知】
《見方・考えか》位置や分布、場所 〈問い〉人口が集中するのは、どのような場所だろう。
《学習内容》地形や気候の特徴から3つの地域に分けられる。それぞれの地域では、気候に合わせた生活や産業が営まれている。
《資料》○地図 ○雨温図 ○景観写真

《単元を貫く問い》交通・通信網の整備によって、中国・四国地方の産業や人々の営みはどのように変化したのだろうか。

② 瀬戸大橋の開通は人々の生活をどのように便利にしたのだろうか。【知】【思】
《見方・考えか》空間的相互依存作用
〈問い〉他地域とどのような関係を持っているだろう。
《学習内容》両地方は本州四国連絡橋によって結ばれている。なかでも、瀬戸大橋の開通によって、岡山・香川間の移動時間が大幅に短縮された。人や物の移動がさらに活発になり、2県の間を通勤・通学する人々が増加した。
《資料》○高速道路網と所要時間の変化
○瀬戸大橋開通前後の自動車通行量の変化

③ なぜ与島は橋が架かったのに活性化しなかったのか。(本時) 【思】
《見方・考えか》空間的相互依存作用、地域
〈問い〉与島にはどのような特徴があるだろう。
《学習内容》瀬戸大橋の橋脚となった島々は、橋の高額な通行料金や路線バスの便数の少なさなどの交通面の課題に加え、騒音や島の産業の衰退により、島の発展には繋がらなかった。
《資料》○与島の人口推移 ○与島へのバスの時刻表
○与島からの瀬戸大橋の通行料金表
○フェリーの運航の変化

④ なぜ瀬戸内で工業生産額が多いのだろうか。【知】【思】
《見方・考えか》位置や分布、空間的相互依存作用、地域
〈問い〉工業団地はどこに位置するだろう。
《学習内容》昔から造船所が多くあった瀬戸内海は、戦後、地理的な利点を生かして石油化学コンビナートや重化学工業がさかんになり、瀬戸内工業地域を形成した。
《資料》○瀬戸内工業地域の主な工業と出荷額 ○香川県の工業団地の分布図

⑤ なぜ瀬戸内でかんきつ類の栽培がさかんなのだろうか。【知】【思】
《見方・考えか》位置や分布、場所、空間的相互依存作用
〈問い〉瀬戸内のかんきつ類はどこへどのような手段で輸送されるのか。
《学習内容》日照時間が長く、降水量が少ない気候を生かしたかんきつ類の栽培がさかんである。品種改良や、端境期をねらった栽培により、他の生産地との競争力を高めるとともに、交通網の発達によって市場が拡大した。
《資料》○かんきつ類の出荷カレンダー ○かんきつ類の主な出荷先への輸送手段

⑥ 交通・通信網の整備は地域にどのような変化を与えたのだろうか。【思】【主】
《見方・考えか》空間的相互依存作用、一般的共通性、地方的特殊性
〈問い〉交通・通信網の整備は地域にどのような影響を与えるのか。
《学習内容》過疎化や高齢化が進むなかで、交通網の整備により、もともと地域に存在する資源を生かした地域おこしが行われている。
《資料》○市町村別老年人口の割合 ○島根県を訪れる観光客数の変化

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

中国・四国地方は、高速道路や新幹線などの交通網や、本州四国連絡橋によって、両地域や他の地域と強く結び付くようになった。これらの交通網の整備は、産業や人々の営みに良い影響を与える一方で、橋脚となった島々の暮らしの変化やストロー現象による小都市の衰退など新たな課題が生まれている。交通網の整備により、衰退する地域がないよう、もともと地域に存在する資源を生かした地域おこしが私たちの町でも行われていくと良いと思った。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 与島の現状を知り、学習課題をつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 瀬戸大橋の橋脚となっている島を確認するために、前時の復習をする。 ○ 与島の人口が減少していることに気付かせるために、与島の人口の推移を示したグラフを提示する。 ○ 島民の期待とは異なり、人口が減少し、観光業の発展に繋がらなかったことを知るために、島民へのインタビュー動画を見せる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">なぜ与島は橋が架かったのに活性化しなかったのか。</div>	
<p>2 学習課題についての予想をする。</p> <p>3 資料をもとに、島の交通面に着目して、予想について検証する。</p> <p>(1) 個人で資料の読み取りをする。</p> <p>(2) グループで話し合い、意見をまとめ、発表する。</p> <p>4 島民へのインタビュー動画を見せ、3以外の観点から課題解決へのさらなる追究をする。</p> <p>5 学習課題のまとめをワークシートに記入する。</p> <p>6 振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体で予想を共有するために、タブレット端末の意見提出機能を使うように指示する。 ○ 島の交通面に着目して、課題解決を進めるために、次の3つの資料を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 島からの瀬戸大橋の通行料金表 ② 島へのバスの運行本数の変化 ③ 島のフェリーの運航の変化 ○ 資料を読み取ったり、話し合ったりする活動を4人グループで行う。 ○ 積極的に自分の考えを発表したり、他の班と考えを比較したりできるように、ロイロノートの意見提出箱を使用する。 ○ 資料から読み取った内容を発表させ、高額な通行料金やバスの便数の少なさなど、橋の開通後も交通の便が良くなったとは言えないことを確認する。 ○ 映像資料を見る際に、交通面以外の観点に着目するように助言する。 ○ 資料①～③から読み取れた交通面に関する内容に、映像資料の内容を加えて、まとめを書くように助言する。 ○ 文章の書き方に悩んでいる生徒には、交通面、騒音、産業の変化の3つのキーワードを与え、箇条書きで書いてもよいことを助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">思考・判断・表現</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 学習課題に対するまとめを、複数の資料の内容を踏まえて表現している。 [ワークシート] ○ 新たに発見したことや知ったこと、疑問に思ったことを振り返りシートに書くように指示する。

武士の世の始まり

— 武家政権が長続きするための秘訣とは —

さぬき市立志度中学校 指導者 六車 謙太

I 単元の構造図

B 近世までの日本とアジア
(2) 中世の日本
(ア) 武家政治の成立とユーラシアの交流

武士の台頭で武家政権が成立し、支配が全国に広まった。その結びつきは強く、元の侵略もはねのけることになった。

《単元を貫く問い》 武家政権を長く続けるために必要なことは何だろう。

学習課題	①なぜ武士は誕生したのだろうか。【知】【思】
学習内容	9～10世紀、荘園などを巡る争いの増加により武芸を身につけた職業集団の武士が生まれ、武士団を作った。
資料	武士団の仕組み図、中尊寺金色堂、各地の争乱図
見方・考え方	原因

学習課題	②なぜ武士は政治の実権を握ることができたのだろうか。【知】【思】
学習内容	11世紀後半に院政の実権を巡る争いに、源氏と平氏が活躍した。勝利の立役者となった武士は政治の実権を握る。平氏は力を持つが、富や権力を独占したため不満が高まり、源氏に滅ぼされた。
資料	平氏と源氏の家系図、源平の争乱図、平家物語
見方・考え方	原因

学習課題	③鎌倉幕府はどのような特徴を持った政権だったのか。【知】
学習内容	源頼朝は守護・地頭を設置し、征夷大將軍に任じられ鎌倉に幕府を開いた。御家人と御恩と奉公の主従関係を結び、源氏の將軍が途絶えても、強い団結で執権を中心として幕府を運営していった。
資料	鎌倉幕府の仕組み、源氏と北条氏の家系図、北条政子の言葉
見方・考え方	特色

学習課題	④元寇はどのような結果だったのか。【知】
学習内容	13世紀モンゴル帝国が建国され、国号を元と改めた。元は日本に攻撃を仕掛けたが、日本が撃退した。
資料	フビライハンの写真、モンゴル帝国の領域、蒙古襲来絵詞
見方・考え方	原因・展開

学習課題	⑤鎌倉幕府が大国の元を撃退することができた一番の理由はなんだろう。【思】【主】
学習内容	元撃退の理由は、元軍の連携ミスによるところが大きい。日本は御家人が連携し準備を整えたのに対し、元は出身地がばらばらで連携が取れていなかった。
資料	文永の役資料、元勢力図、弘安の役の動員兵の出身地、石塁の資料と効果など
見方・考え方	背景・原因・差異

学習課題	⑥源氏の政権が平氏の政権より長続きしたのはなぜだろう。【思】【主】
学習内容	源氏政権が平氏政権よりも長続きしたのは、武士に有利な政策を打ち出したからだと考える。源氏は主従関係や御成敗式目を作るなど、武士にとって有利な政治を行った。
資料	平氏の家系図、平家物語、鎌倉幕府の仕組み図、御成敗式目、鎌倉の様子
見方・考え方	背景・原因・差異・比較

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

個人に所有の考え方が生まれ、財産（土地など）を守る武士が生まれた。平氏は武士として初めて政治の実権を握ったが、源氏は平氏を滅ぼし、鎌倉幕府を開いた。鎌倉幕府は御恩と奉公の仕組みや御成敗式目の制定など武士に有利な政策を打ち出し、元寇でも幕府と強い結びつきを持つ御家人の活躍で元を追い払い、武家政権を守ることができたのではないかと考える。私は、鎌倉幕府の成立や元寇の過程を知ったことで、土地を仲立ちに幕府と御家人の関係が強固となり、武家政権の土台を作ったのだと思う。室町から江戸時代へと続く武家政権を比較し、長く政治をするために必要なことを考えたいと思う。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 モンゴル帝国の領域の地図を見て、これが何を示しているか考える。</p> <p>2 本時の学習課題を把握し、予想する。</p>	<p>○ モンゴル帝国の地図を提示し、その面積について説明する。その後、日本の面積と比較して、いかに強大な国が相手であったかに気づかせる。</p> <p>○ それぞれの国の面積や文化などから日本が勝てる可能性が低かったことに気付かせ、勝つことができた要因について考えさせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">鎌倉幕府が大国の元を撃退することができた一番の理由はなんだろう。</div>	
<p>3 資料を読み、学習課題について仮説を立てる。</p> <p>(1) 個人で資料を読み、仮説を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文永の役の経験 ・元の勢力図（元は不慣れな船旅遠征） ・石塁の史料 ・弘安の役の動員兵の出身地 ・第2軍の到着の遅れた史料 ・当日の天候 <p>(2) グループで読み取ったことを確認し、仮説を立てる。</p> <p>(3) グループで仮説プレゼンテーションを作成する。</p> <p>4 プレゼンテーションを発表する。</p> <p>5 学習課題についてクラス全体で一番の理由を選び、投票する。</p> <p>6 学習課題に対する自分の考えをまとめる。</p>	<p>○ 個人で予想した後、周囲と意見を交流したり、全体で共有したりすることで、思考を深めさせる。</p> <p>○ 机間指導で資料の読み取りが難しい生徒に対し注目させたい視点について助言する。</p> <p>○ 資料を細部まで読み取りやすいようタブレットを用い、生徒用タブレットに資料を送る。</p> <p>○ グループで共有し確認することで、分からない情報を質問しやすくなるような雰囲気を作る。</p> <p>○ ロイロノートを使い仮説プレゼンテーションを作成することで、自分たちの考えたことを言葉だけでなく視覚的にも分かりやすく伝えることができるようにする。</p> <p>○ ロイロノートの機能を使い、プレゼンテーションを個々に作業することができるようにする。</p> <p>○ グループの発表の前に、グループの発表に対して質問を考えておくように指示する。</p> <p>○ 一番の理由を選ぶだけでなく、選んだ理由も考えワークシートに記入するように伝える。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● 資料から読み取り、鎌倉幕府が元を撃退した理由についてまとめることができる。 [ワークシート]</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>● 鎌倉幕府が元を撃退した理由について考える中で、今後の歴史の学習に生かすような疑問や発見をえようとする姿勢が見られる。 [ワークシート]</p>

私たちと政治

－民主政治と政治参加－

さぬき市立長尾中学校 指導者 上原 匡弘

I 単元の構造図

C 私たちと政治 (2)「民主政治と政治参加」

2040年には地方自治体の数は人口減少を理由に今の半数以下になると予想される。その原因は各地域によって多様であり、画一的なものではない。自らの地域の課題を認識し、解決に向けて行動する住民自治が地域を維持していく上で重要である。

① 学習課題	なぜ、さぬき市内の高校が統合し、大学も市外に移転するのか？【知】【思】
学習内容	人口減少に伴い地方自治体における公共サービスの縮小が余儀なくされている。
資料	さぬき市の人口の資料 高校統合、大学移転に関する資料 さぬき市の企業数に関する資料
見方・考え方	対立と合意 効率と公正

《単元を貫く問い》 さぬき市を未来に残すためにどのような取り組みができるか？

②③ 学習課題	大串半島活性化プロジェクトは推進するべきか？【知】【思】	④ 学習課題	なぜ、津田地区で出店ラッシュが起こっているのか？【思】
学習内容	地方自治体の政策や財源の使い道は地方議会で決められる。	学習内容	地方自治体の活力が失われつつあるなか、独自の対策が急がれている。
資料	大串半島活性化の資料 さぬき市の税収入 公共交通機関の資料 観光資源の資料	資料	津田地区に関する資料 出店者へのインタビュー 津田地区の公共交通機関
見方・考え方	民主主義 効率と公正	見方・考え方	対立と合意 効率と公正

⑤⑥ 学習課題	前山地区に出店ラッシュを起すためにさぬき市にどのような提案ができるのか？ 【思】【主】
学習内容	これからの時代は地域の課題解決を行政に任せるだけでなく、住民目線による対策や行政への提案が必要である。
資料	前山地区の資料 さぬき市の補助金の資料 「ラウンドワン誘致委員会」の資料
見方・考え方	民主主義 対立と合意 効率と公正

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》 2040年までに今ある地方自治体の半数が無くなると予想されている。その主な原因は人口減少である。さぬき市も他人事ではなく高校の統合など行政サービスの縮小が行われている。特に企業数の減少や交通網の未発達が大きな要因だと考えられる。行政も対策に乗り出しており大串半島の再開発などが進められている。また、津田地区では民間の人々によって地域活性化の成果が出ている。地方自治体を維持するためには行政にだけ任せるのではなく、住民目線の取り組みも重要となってくる。これらのことから、自分たちの地域を未来に残せるように私自身もできることから活動していきたいと思う。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時を振り返り、さぬき市の津田地区で出店ラッシュが起こっている現状を確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ 前時に学習した津田地区でIターンやUターンをきっかけとした出店ラッシュが起こっていることを確認する。</p> <p>○ 地方自治体においてIターンやUターンが必要な理由をもう一度確認する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">前山地区に出店ラッシュを起すためにさぬき市にどのような提案ができるのか？</div>	
<p>3 前時にワークシートにまとめた津田地区の魅力と移住、出店の際の課題をクラス全体で再確認する。</p> <p>4 津田地域と前山地区を比較し、前山地区の魅力を高めたり、出店を促進する支援を考える。</p> <p>(1) 前山地区の魅力を高めたり、出店を促進する支援を個人で考える。</p> <p>(2) 移住、出店に関して行政としてどのような支援を行う必要があるかグループで考え、タブレットでまとめる。</p> <p>(3) グループで発表する。</p>	<p>○ 店主への取材やその他の資料から津田の魅力、出店理由や課題を考えさせる。</p> <p>【問い】 「なぜ、津田地区に新規出店が多いか、自然環境や人口に着目して考えよう。また、課題についても考えよう。」</p> <p>● 津田の松原など豊かな自然があり、多くの古民家が空き家となっており、近年の昭和レトロブームと相性が良い点に気が付いている。</p> <p>● 津田に出店する人の多くがクラウドファンディングを利用しており、出店時の資金に課題があることが分かっている。</p> <p>【問い】 「行政が行うべき支援を自然、交通、経済の3つの視点から考えよう。」</p> <p>○ 前山活性化プロジェクトを推進する団体へのインタビューやその他の資料をもとに考え、ワークシートに記入させる。</p> <p>○ ロイロノートを利用し、グループでまとめさせ、発表させる。その際、「魅力を高める支援」なのか、「出店に関する支援」なのかを明記させる。</p> <p>○ 愛媛県の高中生が行っている「ラウンドワン誘致委員会」の資料を参考にさせる。</p>
<p>5 振り返りシートに単元のまとめを記入する。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>● 出店時の資金援助や交通の活性化は行政にしかできない支援である。一方で前山地区の自然をはじめ魅力の発信は住民による影響が大きい。地域を活性化するためには住民と行政が一体となって取り組む必要があることに気が付いている。</p> <p style="text-align: right;">[ワークシート]</p>

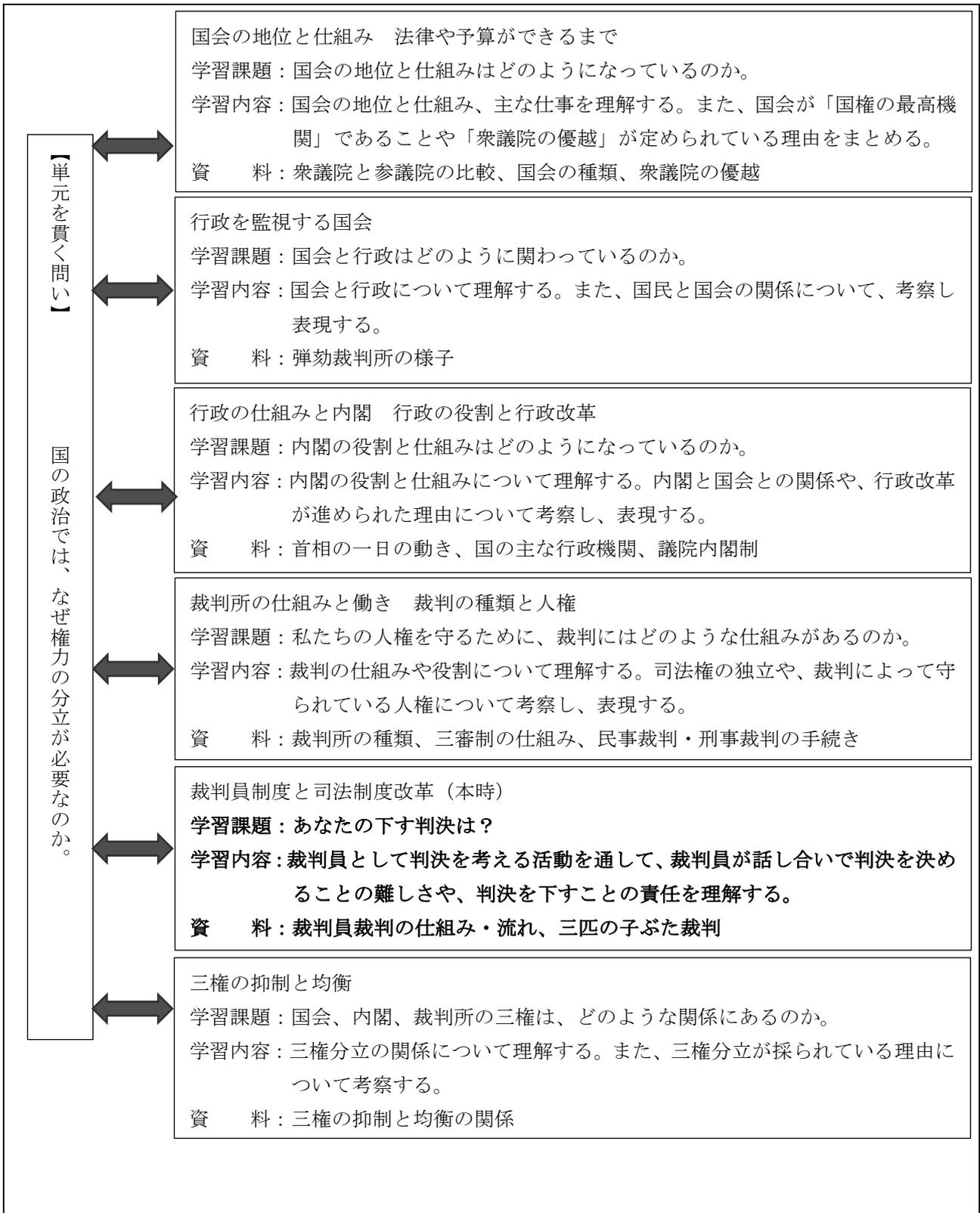
仲多度・善通寺

国の政治の仕組み

－裁判員制度－

多度津町立多度津中学校 指導者 西浦 功祐

I 単元の構造図



II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

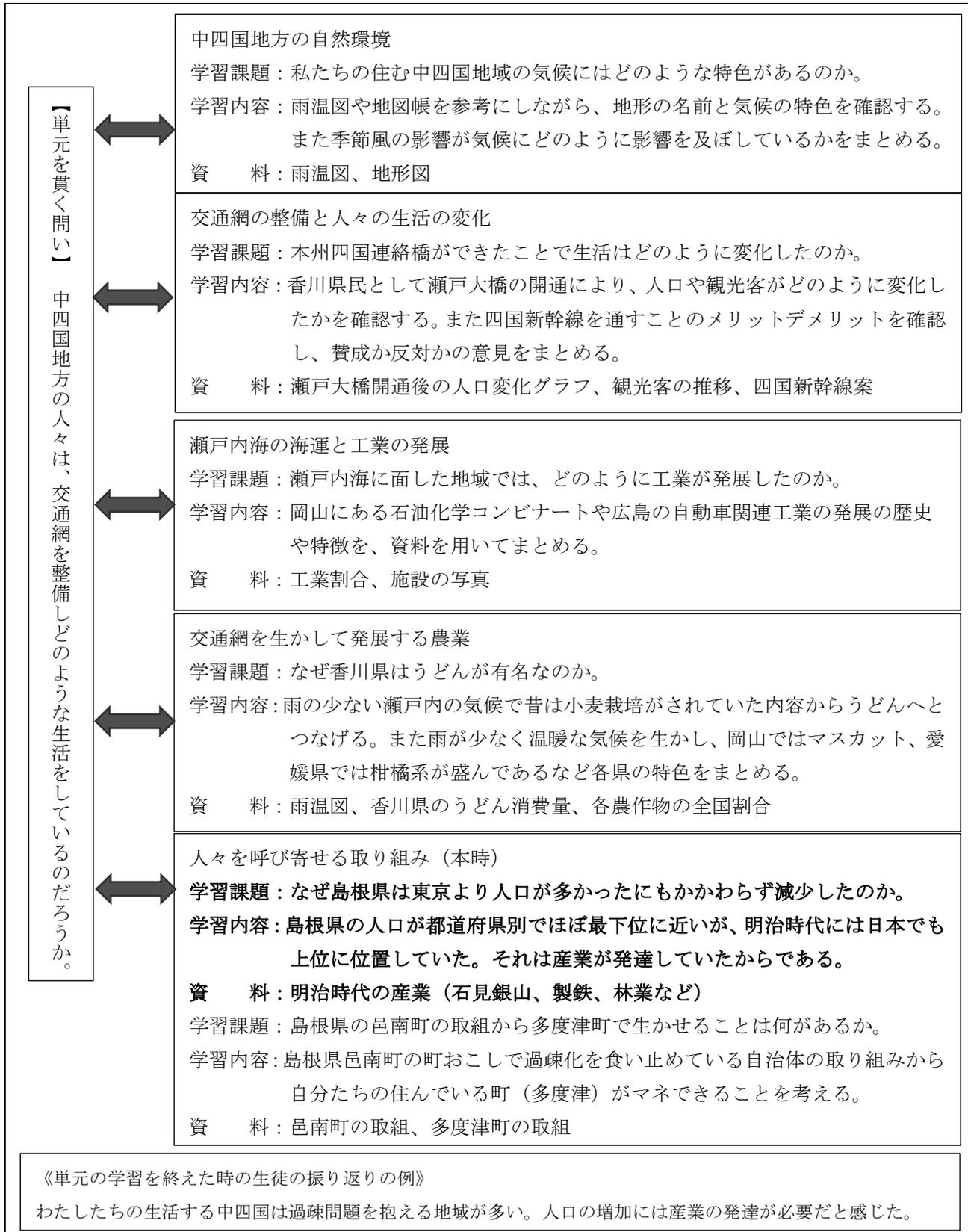
学習活動と内容	教師の支援
<p>1 裁判員裁判のしくみを復習する。</p>	<p>○ 裁判に参加する人と、それぞれの役割を確認させる。 ○ あまり時間をかけず、2分程度で終わる。</p>
<p>あなたの下す判決は？</p>	
<p>2 「子ぶたの行為は殺人か？正当防衛か？」を聞き、裁判員になって裁判を下してみる。</p> <p>①事件のあらすじ</p> <p>②それぞれの主張を聞き、判決を考える。</p> <p>③弁護士・検察官と子ぶたのやり取りを見て、判決を考える。</p> <p>3 班（4人）で話し合っ最終判決を下す。</p> <p>①班員でお互いに下した判決・理由を確認しあい、どの判決がふさわしいかを議論する。</p> <p>②班ごとに下した判決・理由を発表させる。</p> <p>4 判決を考える上で感じたことをワークシートに書く。</p>	<p>○ あらすじは、教師が紙芝居で確認させる。</p> <p>○ 生徒数名がそれぞれの登場人物になり、ロールプレイをさせる。他の生徒は裁判員になり、判決を考える。（教師は裁判長になる。）</p> <p>○ ワークシートを配り、判決を考えるためのメモをとらせる。</p> <p>○ 判決カード（殺人は赤色、正当防衛は青色、過剰防衛は黄色）を配る。判決カードを胸ポケットに入れることで、自分の意見を表現させる。（教師がそれぞれの数を集計する。）</p> <p>○ ロールプレイを見て、考えが変われば判決カードを変えさせる。（教師がそれぞれの数を集計する。）</p> <p>○ ワークシートに自分の考えた判決と、判決の理由を書かせる。</p> <p>○ 教室内を自由に移動させ、自分と同じ意見の者と判決に理由を確認し合わせる。（最初、ワークシートに書けていない生徒も他の者の理由を参考にして書ける。）</p> <p>○ 班員の意見がばらばらであっても、議論させて、班で1つの判決を出させる。</p> <p>○ 話し合いで決まった判決と理由をワークシートとホワイトボードに書かせる。</p> <p>○ 班ごとの意見が全体に分かるように、ホワイトボードを黒板に貼らせる。</p> <p>○ 裁判官から生徒へのメッセージを読み上げる。</p> <p>○ プロの裁判官の判決は、資料の情報だけでは決められなかったということも伝える。</p> <p>○ 実際の裁判員裁判は、人間が対象となるので、被告人には人権があることや、判決が被告人の一生を決めることになるということにも触れる。</p>

中四国地方

— 島根県の過疎問題 —

多度津町立多度津中学校 指導者 上村 啓介

I 単元の構造図



II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 「島根県自虐クイズ」をする。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 島根県の位置を確認する。 ○ 「島根自虐伝」という書物からクイズを出題し、島根県の現状を把握し、人口が減少し過疎と少子高齢化が進んでいることと確認する。 ○ 島根県を蔑むことではなく、書物の内容として紹介する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">なぜ島根県は東京より人口が多かったにもかかわらず減少したのか。</div>	
<p>3 島根県の人口が減少した理由を、資料を参考に考える。</p> <p>(1) 個人で考える。</p> <p>(2) 班で考える。</p> <p>(3) 学級で共有する。</p> <p>4 産業が衰退した理由を確認する。</p> <p>5 まとめを行う。 産業の変化で人口が減少し、交通も不便になった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ島根県の人口が多かったのか、という視点をもって資料を読み取らせる。 ○ 各班で役割を決め、同じ資料を見るのではなく、石見銀山の採掘、林業、製鉄、畜産の従事者人口などの資料と大正～昭和にかけての資料を見せる。 ○ 班員ごとに別の資料を配布することで、班で活動する際、全員が参加できるようにする。 ○ 太平洋ベルトの産業と人口が分かる資料を見せて、昔と今を比べさせる。 ○ 香川県も同じように人口が減少しているので、香川県としてどうすればよいか、という視点をふまえて振り返りを書かせる。 ○ 次回は、人口が減少している島根県でも邑南町は維持している。そこで、邑南町が人口維持をして過疎化を食い止めている理由を町の政策を調べながら、多度津町でもまねできることはないのかを考えていくということを伝える。 ○ 振り返りに書いている内容を何人かの生徒に発表させる。 ○ 島根県の人口は多かったが、県の面積も実は現在と少し違うということも伝える。

－市場の働きと経済－

まんのう町立満濃中学校 指導者 安藤 雄一郎

I 単元の構造図

公民的分野

B 私たちと経済

(1) 市場の働きと経済

市場価格は、様々な要因によって常に変動している。その景気変動は、日本銀行の金融政策によって、ある程度管理されている。国民が安定して消費生活を遅れるように調整することが、金融政策の目的である。

《単元を貫く問い》市場経済はどのようにして機能しているのだろうか？

①② 市場経済において価格はどのように決定されるのだろうか？ 【知】

《見方・考えかた》分業と交換

《学習内容》財やサービスは、市場で売買される。その価格は、需要量と供給量が一致した「均衡価格」によって決定されている。

《資料》○需要・供給曲線のグラフ ○商品の写真

③ 市場経済において、価格はどのような働きをしているのだろうか？ 【知】

《見方・考えかた》効率と公正

《学習内容》価格は、商品の需要量と供給量との関係を示す指標となる。価格変動がうまく機能しない「独占」「寡占」状態は、公正取引委員会で監視される。

《資料》

○大雪による野菜の価格高騰記事

○廃棄されるキャベツの記事

④ 貨幣や金融は、私たちの社会でどのような役割を果たしているのだろうか？ 【知】

《見方・考えかた》効率と公正

《学習内容》市場での売買には、お金（貨幣・通貨）が使われ、様々な役割を果たしている。その一つが「金融」であり、お金の貸し借りのことをさす。金融によって、実在する貨幣以上のお金が世の中に回っている。

《資料》

○様々な国の通貨の写真

⑤ 銀行は、自分たちの生活でどのように関わっているのだろうか？ 【知】【思】

《見方・考えかた》分業と交換

《学習内容》銀行は、お金を預ける役割と、お金を貸し出す役割を担っており、返済には利子をつけて返済する。その差額が銀行の利益となる。

《資料》

○預金通帳の例

⑤ 景気はどのように変動するのだろうか？ 【知】【思】

《見方・考えかた》分業と交換

《学習内容》自由経済では、景気変動により、物価が上昇するインフレーションと物価が下落するデフレーションという2つの現象が繰り返される。物価が変動しすぎると、生活が安定しなくなるため、日本銀行による金融政策が行われる。

《資料》

○景気、不景気の新聞記事

①② 経済や金融のグローバル化は、自分たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか？ 【知】【思】

《見方・考えかた》協調、持続可能性など

《学習内容》経済のグローバル化が進み、国境を越えてお金や物のやりとりが進んでいる現代では、為替相場の変動が大きな影響を与えている。

《資料》○円安に関する新聞記事 ○日本の貿易額のグラフ

《単元を学び終えた時の生徒の振り返りの例》

物の価格は、需要（買う量）と供給量（売る量）のバランスによって決まる。需要量と供給量は、食べ物の旬や流行など、その時々で変わるため、市場価格も変動する。しかし、景気変動に完全に委ねてしまうと、国民の消費生活が安定しなくなるので、日本銀行が国内のお金の量を調整し、物価が過剰に変動しないよう管理している。グローバル化が進む現代においては、国内だけでなく、外国との為替相場も国の経済に大きく影響している。その時の景気を把握し、世の中の経済に関心を持つことで、自分たちの消費生活に何か生かせるのではないかと感じた。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

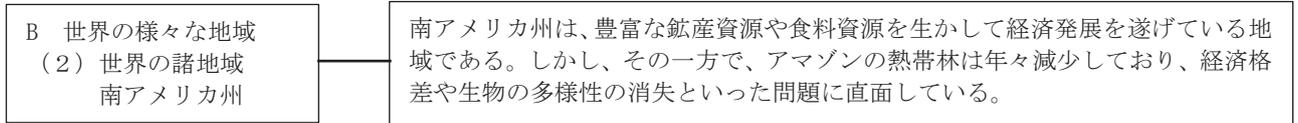
学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時の振り返りをする。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ 価格は需要量と供給量のバランスによって決まることを確認する。</p> <p>○ 歴史的分野で学習した好景気と不景気の例を提示し、学習課題へとつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦後のドイツ、世界恐慌、朝鮮特需、高度経済成長など
<p>景気（経済の調子）はどのように変動するのだろうか。</p>	
<p>3 物価の変動パターンが大きく4種類あることを確認する。</p> <p>(1) 需要量が増える、あるいは供給量が減ると、均衡価格は上昇する。</p> <p>(2) 需要量が減る、あるいは供給量が増えると、均衡価格は下落する。</p> <p>4 3のような変化が起こる要因を考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需要量が増えるのはどんな時か。 ・ 需要量が減るのはどんな時か。 ・ 供給量が増えるのはどんな時か。 ・ 供給量が減るのはどんな時か。 	<p>○ 黒板にグラフの拡大資料を掲示し、実際に需要・供給曲線が動くとうなるか、視覚的に捉えられるようにする。</p> <p>○ 生徒のワークシートにもグラフを用意し、自分で理解しながら作業ができるようにする。</p> <p>○ 4つのパターンに分けて、どのような時に需要量（供給量）が変動するかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需要量が増える：流行や新製品の開発 ・ 需要量が減る：流行が終わる、大勢の人がすでに手に入れている ・ 供給量が増える：技術革新、豊作 ・ 供給量が減る：作物の不作、資源の枯渇 <p>○ それぞれのパターンを考える際に、実生活と結び付けながら考えさせたい。これまでのヒット商品や、農作物の価格変動グラフを用いながら、できるだけ具体的に生徒に考えさせる。</p>
<p>5 本時の振り返りを行う。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>● 均衡価格の変動は、人々の需要と供給に依存するが、それは社会の様々な現象が要因となっていることが理解できたか。 [ワークシート]</p> <p>○ 導入部分で紹介した歴史的事例と、本時の学習内容を関連付けて考えるよう促す。</p>

三豊・観音寺

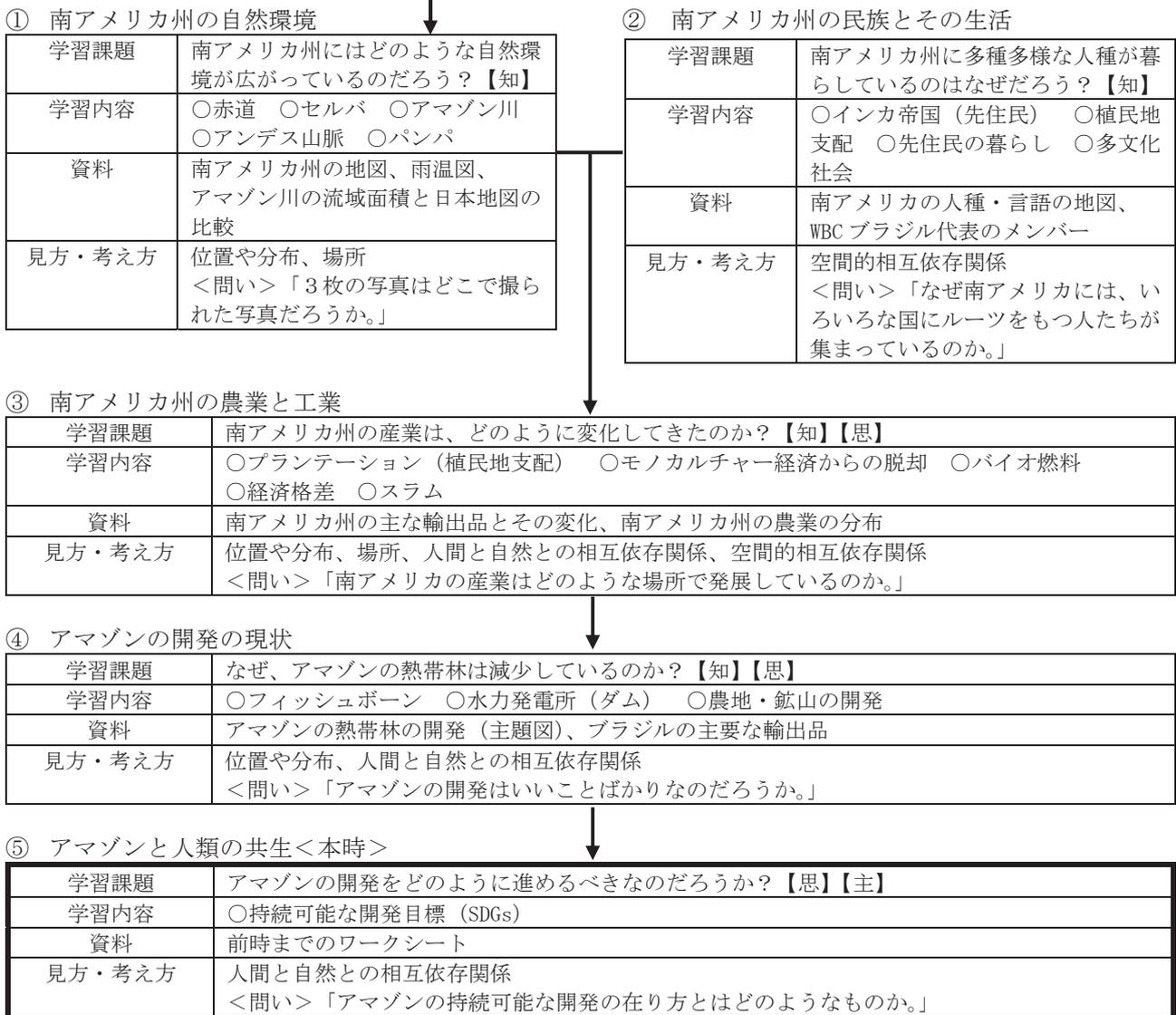
南アメリカ州 —アマゾンの熱帯林と持続可能な開発—

三豊市立仁尾中学校 指導者 豊島 雅大

I 単元の構造図



《単元を貫く問い》 南アメリカ州のよりよい開発とはどのようなものだろうか。



《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

南アメリカ州は、かつてヨーロッパ諸国に植民地支配されていた影響で、モノカルチャー経済になってしまい、経済的に不安定だった。しかし、近年では、広大な農地を利用した農業生産の拡大、豊富な鉱産資源を生かした工業の発展など、経済的な成長が顕著である。その一方で、農地獲得や木材の輸出、インフラの開発などの影響で、年々熱帯林が減少してきており、動植物の減少や、先住民の生活の破壊といった問題が生じている。こういった問題を解決しながら、開発・発展を行っていくことで、持続可能な社会の実現につながっていくはずである。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

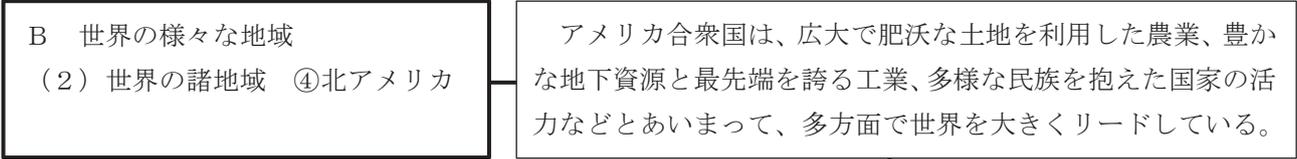
学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 前時までの復習をする。</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<p>○ この単元で学習してきた内容を確認し、本時とのつながりを確認する。</p>
<p>アマゾンの開発をどのように進めるべきなのだろうか？</p>	
<p>3 学習課題について、4つの立場（先住民・農園経営者・環境保護団体・農産物輸入国）に分かれて考える。（ジグソー法）</p> <p>(1) 同じ立場どうしが集まって、その人たちにとってよりよい開発とはどのようなものか考える。</p> <p>(2) 違う立場の人と意見交換をし、よりよい開発をめざして、合意形成をしていく。</p> <p>(3) 班ごとに発表し、全体で意見交換をし、考えを深める。</p> <p>4 単元の振り返りをワークシートに記入する。</p>	<p>○ 意見の対立やズレを生かして、その後の話し合いが活性化するようにしたい。</p> <p>○ なぜそのような開発がよいと思うのか、理由まで考えるように指示する。</p> <p>○ 他の立場からの反論や、それに対する策なども考えさせる。</p> <p>○ 話し合いが進まない班に対しては、これまでの授業の内容を振り返るよう指示する。</p> <p>○ まずそれぞれの立場の考えを主張することで、意見が対立していることを実感させる。</p> <p>○ どのような開発が、全員が納得できる開発なのかを考えさせる。</p> <p>○ 話し合いが脱線しないように、「環境と開発」、「地域と地球」という軸を意識して話し合いをさせる。</p> <p>○ 正解があるような問いではないため、班ごとに自由に話し合わせ、自分たちの着地点を見つけさせたい。</p> <p>○ 教師がファシリテーターとなり、生徒の考えをつなげていきたい</p> <p>○ グローバル化が進んだ現代において、持続可能な開発は、これから生きていくうえでは欠かすことのできない視点であることを押さえる。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>● これまでの学習をふまえ、南アメリカの発展と環境保全の取組について、ワークシートにまとめさせる。 [ワークシート]</p>

世界の様々な地域

ー北アメリカ州ー

三豊市立仁尾中学校 指導者 湯浅 雄貴

I 単元の構造図



《単元を貫く問い》なぜアメリカ合衆国の産業は、世界に大きな影響を与えることができるのか？

①② 北アメリカ州の自然、文化、産業には、どのような特色があるのか？【知】【主】
 《見方・考え方》北アメリカ州のどこに人口は分布しているのか？
 《学習内容》○ロッキー山脈 ○中央平原 ○五大湖 ○西経100度 ○ハリケーン 等
 《資料》○地図 ○雨温図 ○上空写真 等

③ アメリカ合衆国の人種・民族には、どのような特色があるのか？【知】
 《見方・考え方》なぜアメリカ合衆国には、多様な人種・民族がいるのか？
 《学習内容》○植民地 ○ネイティブアメリカン ○移民 ○奴隷 ○ヒスパニック
 《資料》○人種・民族構成や分布 ○アメリカ合衆国の歴史 ○公用語

④ 《本 時》
 なぜアメリカ合衆国は農作物を大量に生産し、世界に輸出することができるのか？【知】【思】
 《見方・考え方》
 アメリカ合衆国は、どのように農作物を生産・輸出しているのか？
 《学習内容》
 ○適地適作 ○大型機械を用いた農業 ○センターピボット ○アグリビジネス ○穀物メジャー
 《資料》
 ○日本とアメリカの農業比較 ○世界の農作物の輸出量 ○農業地域 ○写真

⑤ なぜアメリカ合衆国は世界最大の工業国になれたのか？【知】【思】
 《見方・考え方》
 アメリカ合衆国の工業を支えるものには、どのような特色があるのか？
 《学習内容》
 ○鉱産資源 ○大量生産方式 ○先端技術産業
 ○サンベルト ○シリコンバレー
 《資料》
 ○写真 ○年表 ○アメリカ合衆国の工業生産額 ○アメリカ合衆国の主な鉱工業



《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

○ アメリカ合衆国は、農業・工業・文化の面で世界のリーダー的な存在であり、世界に大きな影響を与えている。それができる要因は、広大な国土と豊富な地下資源、多様な民族による労働力、更には伝統的な重化学工業と新しい先端技術産業の共存が挙げられる。特に農業と工業の面では、大量に生産することができるだけの資源と国土がある。また企業型の農業や先端技術産業への投資など、企業の活動が非常に活発である。その結果、作り出したものを世界に輸出するという形で大きな影響を与えることが可能である。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 ペアで前時の復習をする。</p> <p>2 ある日の食事のメニューから、主な材料の産地を考える。</p> <p>3 本時の学習課題を知る。</p>	<p>○ 前時の流れを踏まえながら、要点を抑えた問題を出題する。</p> <p>○ 日本の主な農産物の輸入相手国と主な農産物の輸出国ランキングを確認させ、アメリカ合衆国からの輸入が多いことを捉えさせる。</p>
<p>日本より農業従事者が少ないのに、なぜアメリカ合衆国は農作物を大量に生産し、世界に輸出することができるのか？</p>	
<p>4 予想を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・日本より国土面積が広いから。 ・従事者一人ひとりが効率よく働いているから。 ・最先端の機械を用いているから。 </div> <p>5 資料から、検証する。</p> <p>(1) 個人で考える。</p> <p>(2) グループで話し合っ発表する。</p> <p>6 アグリビジネスについて知る。</p> <p>7 学習課題に対する自分の考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>日本より農業従事者の少ないアメリカ合衆国が農作物を大量に生産し、世界に輸出することができる要因は企業型の農業の仕組みを完成させており、その結果広大な土地を利用した大規模な農業を行えているからである。またそこで大型の機械を用いることで効率的に生産しているからである。加えて、その土地で気候に合った農作物を生産する適地適作を徹底しているからである。</p> </div>	<p>○ 個人で予想を立てる。その後、課題に対する想を周りと自由に意見交流させることで、多様な意見を引き出し、思考を深めさせる。</p> <p>○ 生徒の予想も踏まえつつ、課題解決に向けて、農業規模、大型機械、適地適作の3つの面から検証させる。</p> <p>○ 個人で考えさせた後グループになり、意見交流させる時間を確保する。資料の読み取りを深めさせるために、協同して読み取らせることで、多面的にアメリカ合衆国の農業の特色を考察させる。</p> <p>○ 机間指導を通じて、資料を読み取れない生徒に対して、注目すべき点について助言する。</p> <p>○ アメリカ合衆国で特定の農産物を大量に輸出できる理由について、「日本の農家とアメリカ合衆国の農家の大きな違いは何か」と問い、揺さぶることで経営方法などの要因があることも理解させる。</p> <p>○ 机間指導を通じて、文章が書き出せない生徒に対しては、板書や資料、ワークシートを振り返るよう助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>思考・判断・表現</p> </div> <p>● アメリカ合衆国の農業に関する資料をもとに、様々な農産物を大量に生産し、世界に輸出できる理由について、三つの資料を関連づけて説明している。</p> <p style="text-align: right;">[ワークシート]</p>

武士の政権の成立

— 貴族政治から武家政治への転換点 —

三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校 指導者 入谷 祐紀

I 単元の構造図

B 近世までの日本とアジア (2) 中世の日本 (ア) 武家政治の成立とユーラシアの交流	武士が中心となる背景から、鎌倉幕府が東国を中心に本格的な武家政権を樹立し、展開させていく過程を学習する。そのなかで承久の乱が武家長期政権となる大きな分水点だったことを理解させる。
--	---

《単元を貫く問い》 貴族から武士の世の中へ変わる必要はあったのだろうか？

学習課題	① 武士はどのように成長したのだろうか？（時期・推移）【知】
学習内容	在地領主が武装をはじめたり、武装した者を雇ったりすることで武士は成長していった。
資料	・粉河寺縁起絵巻・武士団の組織図・源氏と平氏の系図・中尊寺金色堂・天狗草子絵巻・荘園の仕組み

学習課題	② なぜ頼朝は敗北した2ヶ月後に4万人もの軍勢を集めることができたのだろうか？（変化・原因） 【思・主】
学習内容	源氏の棟梁である源頼朝は各地の武士を味方に付け、山口県の壇ノ浦でついに平氏を滅ぼした。
資料	・平治物語絵巻・源平の争乱・平家物語・吾妻鏡・鎌倉幕府の位置・腰越状・鎌倉幕府の仕組み

学習課題	③ なぜ鎌倉幕府は平氏政権より長続きましたか？（類似・差異・特色）【知】
学習内容	北条氏による執権政治が始まる。
資料	・鎌倉幕府の仕組み・鎌倉幕府の位置・坂東武士と西国の武士・源氏と北条氏の系図・平氏政権の概要・吾妻鏡

学習課題	⑤ 鎌倉時代の人々はどのような生活をしてきたか？（特色・変化）【知】
学習内容	鉄製の農具が広まり、二毛作や定期市が開かれるようになった。
資料	・伯耆国東郷荘下地中文絵図・二毛作・定期市・武士の生活・阿氏河荘の農民たちの訴状・一遍聖絵

学習課題	④ 《本時》讃岐武士は朝廷の味方をするべきか？幕府の味方をするべきか？（背景・影響）【思・主】
学習内容	承久の乱により、朝廷と武士の権力は逆転し、後に約680年に及ぶ長期武家政権につながる出来事となった。
資料	・吾妻鏡・鎌倉幕府側と朝廷側の勢力図・坂東武士と西国の武士・朝廷の戦績

学習課題	⑥ 武士の成長により日本の文化や宗教はどう変化したのだろうか？（背景・特色）【思】
学習内容	鎌倉時代には平安時代の文化を受け継ぎつつ、宋の文化や武士の好みを反映した写実的で力強い文化が生まれた。
資料	・平家物語・鎌倉時代の新しい仏教・金剛力士像・一遍の踊念仏（一遍聖絵）

《単元の学習を終えたときの生徒の振り返りの例》

私は貴族から武士の世の中へ変わる必要はあったと思います。平安時代の貴族の政治は、律令国家の仕組みがくずれ、国司の不正なども横行し、特に地方の政治は次第に乱れていきました。そのような世の中で、自らを守るために武装する人が現れることは自然だし、力がものを言う時代に、戦うことを職業にしている武士が時代の中心になることは当然だと思います。庶民にとっても武士の存在は混乱した時代を変えてくれる希望でもあったのかなと感じました。単元の中で特に印象に残ったのは、承久の乱の学習です。武士にとっては、官位よりも御恩と奉公の関係が強いことを知って驚いたし、もし私が当時の武士だったらどんな判断をするだろうととても迷いました。武士たちもとても悩んだと思います。このできごとをきっかけに、約680年間続く武士の世の基礎が鎌倉時代にできたことが分かりました。

II 学習指導過程

(○配慮事項 ●おおむね満足できると判断できる状況 [] 評価方法)

学習内容及び活動	指導上の留意点及び評価
1 鎌倉幕府の成立後、後鳥羽上皇により承久の乱が起こったことを復習する。 2 承久の乱における幕府側、朝廷側それぞれの勢力図を見て、讃岐武士はどちらに味方をするべきか考える。 3 本時の学習課題を把握する。	○ 1221 年に後鳥羽上皇の北条義時追討の院宣を発端に承久の乱が起きたことを復習させる。その際、パワーポイントを用いて理解の一助とする。 ○ 朝廷側、幕府側それぞれの勢力図の資料を提示し、多くの西国武士は朝廷側に、東国武士は幕府側に味方したことに気づかせる。
学習課題 讃岐武士は朝廷の味方をするべきか？幕府の味方をするべきか？	
4 学習課題に対する自分の予想を記入し、発表する。 幕府派の予想 ・幕府には御恩（俸禄）をもらうなど、これまでにお世話になっている ・幕府を裏切ると、その後が怖い 朝廷側の予想 ・西国のほとんどは朝廷の味方をしている ・天皇（上皇・法皇）の命令は絶対 5 資料追究を行う。 幕府側を支持する資料 ・新恩給与 ・本領安堵 ・北条政子の言葉 ・西国武士と鎌倉武士のちがいがい 朝廷側を支持する資料 ・朝廷に刃向かった者の末路 ・後鳥羽上皇についての記述 ・官位と朝廷 6 調べたことをもとに、学習課題に対する最終的な考えをまとめ、発表する。 7 承久の乱後、幕府の支配がどのように全国に及んでいったかを考える。 ・朝廷から没収した西国の土地に幕府側の御家人の守護・地頭を置く ・御成敗式目を定めた ・六波羅探題を置いた 8 本時のまとめを行う。	○ ワークシートに予想を記入させる。 ○ 予想することが難しい生徒には机間指導を行い、これまでの学習を振り返ってみるように声かけを行う。 ○ 全体で意見交流をすることで多面的・多角的な考えに触れさせる。 ○ 予想した結果、幕府側と朝廷側の人数に偏りがあってもいいので、生徒に自由に予想させ意見を発表させる。 知識・技能 ● 自分の考えをまとめるために幕府と朝廷の勢力関係や将軍と御家人の関係などの諸資料を追究している。[ワークシート・観察] ○ 資料の読み取りが難しい生徒もいるので、個人追究からグループワークに発展させる。 ○ 讃岐武士の新居氏や観音寺市の武士である柞田氏が実際にどちらの味方をしたかを伝え、承久の乱が武士にとって滅亡か繁栄かを分ける大きな出来事だったことに気づかせる。 ○ 「承久の乱の首謀者である朝廷や幕府に味方しなかった武士をどうするべきか？」と問い、承久の乱後の社会をどう治めていくかを生徒に考えさせ次時につなげる。 思考・判断・表現 ● 承久の乱により幕府と朝廷の関係がどう変化したかについてまとめ、その後の社会にどのような影響を与えたかを考察し、表現している。[ワークシート]
全国の武士たちや讃岐武士は、上皇に逆らうと朝敵になってしまうし、幕府に逆らうと、土地や位を認められなくなり生活できなくなるので、どちらにつくか相当迷ったと思う。迷いながらも武士たちは上皇の院宣よりも、幕府との御恩と奉公の関係を重視し、幕府側について戦ったことに驚いた。承久の乱は幕府側の圧勝に終わり、朝廷側から没収した土地に新たに守護や地頭を置いたため、幕府の支配は全国に広がったことが分かった。承久の乱は本格的に武士の世が始まるできごとだったと思った。	

四国社会科教育研究大会
令和6年度香川県中学校教育研究会社会科部会研究大会
坂出・綾歌大会

実践事例集

令和6年3月31日 発行

編集・発行

香川県中学校教育研究会社会科部会

制作者

○実践事例集の見方 宮脇紗代（綾川）

○坂出・綾歌

小亀新太郎（坂出） 藤川 晋（綾川） 宮武朋広（瀬居）

藤本達也（坂出東部） 伊井大輔（白峰） 池下 侑（坂出） 谷 優里（宇多津）

○高松・木田・香川

岩瀬寛明（香東） 檜下 滋（一宮） 尾野新児（高松北） 谷 洸希（山田）

川井将太（国分寺） 牧本剛典（山田） 稲毛未来（香南） 梶原直景（屋島）

中道昌子（太田） 山下遼輔（龍雲） 永井耀人（玉藻） 玉井 僚（三木）

○丸亀

阿川侑平（丸亀西） 嶋田博文（丸亀南） 阿部 靖（飯山） 内海明人（丸亀東）

川田和正（丸亀南） 櫻井余吏子（綾歌）

○小豆

藤塚拓海（小豆島） 小向久海（小豆島） 爲藤慎也（豊島）

○さぬき・東かがわ

村尾有里子（さぬき南） 六車謙太（志度） 上原匡弘（長尾）

○仲多度・善通寺

西浦功祐（多度津） 上村啓介（多度津） 安藤雄一郎（満濃）

○三豊・観音寺

豊島雅大（仁尾） 湯浅雄貴（仁尾） 入谷祐紀（三豊）

